12

カリメア
資本主義の諸問題

7 世界經濟叢書

經濟批判會譯編

叢文閣版

アメリカ資本主義の諸問題

經濟批判會譯

世界經濟叢書

(7)

叢文閣版

アメリカ獨占資本主義の諸問題　目次

四　アメリカ合衆國に於ける農民恐慌

手引き

一　今や世界經濟恐慌は、未曾有の深刻さを示し、これに關聯して多くの國々では××××××前提條件が成熟しつゝある。しかも一方では、あらゆる××××××××とデマにも拘らず、隆々として躍進するソヴェート同盟の社會主義的建設がある。帝國主義の總矛盾はやがて商品＝及び投資市場獲取と植民地××××のための第二次××××××××せんとしてをり、帝國主義諸國とソヴェート同盟の對立はあらゆる帝國主義內部對立の前に出て經濟恐慌をサヴェート同盟××××於て解決せんとする干渉××××××切られやうとしてゐるのだ。

アメリカ資本主義は帝國主義的諸矛盾と對立とのなかで最も中心的な地位を占め、最も重要な任務を帶びてゐる。アメリカ資本主義は第一次世界戰爭中及び戰後、資本主義史上前代未聞の大發展を遂げ、一聯の先進資本主義國を追越して世界一の大資本主義國となつた。その廣大な國內市場と殆んど無盡藏の經濟的資源とは恰も恐慌なしの資本主義經濟があり得るかの如き幻想をアメリカは勿論世界各國のブルヂョアジーの間に抱かせたのであつた。『恐慌を知らない國』とか『萬年繁榮の國』とかいふ贊辭または羨望の言葉はかうして生れて來たのである。一九二九年秋の取引所大動亂

はかういふ幻想に醉つてゐた人々にとつては正に晴天の霹靂であつた。資本主義の運動法則はアメリカだけを例外扱ひにしなかつたのだ。幻影は消え失せた。一度内部的矛盾を公然と爆發したアメリカ資本主義の景氣狀態は、加速度的に惡化した。大統領フーヴァーは必死となつて景氣恢復に努めた。彼が手を變へ品を變へ恐慌撲滅のために取つた政策はいかにもアメリカ人式の大げさなものであつたが、一つとして所期の効果をもたらさなかつた。せいぜい『フーヴァー景氣』といふそのはかなき泡沫の如き一時的好轉をもたらして、やがて一層の惡化を招來する位のものであつた。最近は金融統制會社を設立したり、自由金によるインフレーション政策を意識的に取り初めたりして、起死回生のカンフル注射を試みてゐるが、これによつて景氣はいくらかでも好轉してゐるか？しかも一方アメリカ資本主義はドイツの救濟に、イギリスの金融的援助に、×××××××世界資本主義體制の堤防を一手に引受けてこゝもと世界の救世主たる役割を演じてゐる。しかもこのアメリカ資本主義の墓堀人は昔の消極性を克服しつゝある。一千萬を超える勞働者大衆は街頭に投げ出され、就業勞働者も露骨な賃銀切下げの攻擊を受けてゐる。この資本の攻勢に對する逆襲、失業デモ、ストライキ件數に現れた彼等アメリカ勞働者×××を見よ。

二　本輯はヴァルガ編輯コムアカデミー『世界經濟と世界政治』一九三〇年及び一九三一年の各

號に掲載されたアメリカ關係の諸論文の主要なものを輯めた。（五の『アメリカの勞働者階級の狀態』だけは例外である。）その點の詳細については各論文の冒頭に掲げた譯註〔一〕を見て貰ひたい。アメリカ資本主義の基礎的研究として高く評價さるべきものと考へられるがまた新情勢を研究する際にも大いに裨益するところがあると思ふ。別にアメリカ資本主義最近の情勢については將來何かの形で紹介したいと思つてゐる。材料はたくさんある。

三　二三の論文には各章毎に要約と結論とがあつて、それを見ると全體の骨組が分るのであるが、今それをもつと要約した形で論文の主要點を述べ、その他讀書の際の注意を述べて見ると次のやうである。

四『アメリカ合衆國の獨占資本主義の基礎』　この論文ではアメリカ資本主義の基礎即ち工業部門の發達狀態から筆を起して、この產業資本と銀行資本の結合即ち金融資本の狀態で終つてゐる。本輯全論文のうち最も基礎的な最も廣汎な問題が取扱はれてゐる。トラスト――これは產業資本の最後の形態で、しかも金融資本の端初的形態である。トラスト化運動ではアメリカ・ブルヂョアジーの一方の旗頭ロックフェラーが最も素晴しい活動を示してゐる。筆者は彼を金融資本家といふよりも寧ろ產業資本家として特徵付けてゐる。ブルヂョアジーも荊棘の道を歩む。反トラスト法が頻出

J. P. morgan

する。けれどもこんな小ブルヂョア的反抗はトラスト防止に何の役にも立たないのみか、却つてトラスト化過程を促進してゐる。トラスト化は勿論金融資本によつて發展助長された。アメリカでは金融資本の具體的形態は巨大な個人銀行家であつて、これが聯邦準備銀行その他の金融機關を獨占的に支配してゐる。これは個人銀行のアンダーライターとしての役割がヨーロッパと違つて一種獨特な巨大な重要性を持つてゐるからである。なぜアンダーライターとしての個人銀行が巨大な重要性をもつてゐるかといへばそれはアメリカの銀行制度中にあるのだ。アメリカの銀行制度は所謂地方銀行主義と呼ばれるもので、少數の銀行が支店網その他を通じて一國金融の全活動を統制することができず、その代りに多數の獨立銀行が存在してゐるから、從つてこれを統制するためには銀行以外の銀行家即ち個人銀行(アメリカでは法律上これは銀行と認められてゐない)が必要となる所以である。この特殊な金融資本の形態には注意を要する。一聯の金融資本家としての個人銀行家の人的結合制度による寡頭政治、これがアメリカ獨占資本主義の心臓部となつてゐる。彼等が經濟的にも政治的にも事實上合衆國の全生活を支配してゐるのである。この中にはモルガン、ベーカー、ロックフェラー、ラモント、メロン、などゝいふ吾々日本人にもよく知られた名前が連つてゐる。(アメリカでは實にかういふ一握りの人間が政治及び經濟を獨占的に支配してゐる。この點について詳細

を知らうとする人はヴァルガ『世界經濟年報』第十一輯特殊的部分アメリカ合衆國『アメリカの支配者六十四人』を參照。外國貿易に關する章は論文三と併讀すべきである。

五『アメリカ合衆國に於ける銀行獨占と鐵道』　この論文は鐵道といふ特殊部門を取上げて、この部門の產業資本と金融資本との癒着狀態を闡明してゐるのだが、さういふ性質上可成り專門的局部的議論となつてゐるので、一般の讀者には興味が淺いかも知れない。だが例へば典型的な一工業部門で金融資本が具體的にどう支配を確立してゐるか、といふことの詳細を知るためには極めて有益な論文である。また前の論文にも出てゐるが、政府の產業統制機關『聯邦商業委員會』の無能振りとそのブルヂョア的正體を深刻に曝露してゐる點で興味が多い。

六『アメリカ合衆國の資本輸出』　この論文は國內狀態から一轉して對外經濟關係、アメリカ資本主義の世界資本主義體系上に占める地位、その變化を歷史的且理論的に追求してゐる。帝國主義の段階には商品輸出より寧ろ資本輸出が重要性を帶びて來る。この點からアメリカの資本主義を觀察すると戰前と戰後とに著しく差異がある。筆者はこれを三つの時期に分けてそれぞれ特徵付けをやつてゐるが、吾々にとつて興味深いのはアメリカをして債務國から世界の債權國へ變化させた世界戰爭の役割の評價と戰後の資本輸出上に生じた種々な變化である。世界戰爭は債務國から債權國へ

の轉化過程の單なる促進者であつて、決してそれ自身を生み出したのではないといふパリーの主張に筆者は注意を促してゐるが、吾々の間にも往々さうした誤つた觀念を抱いてゐる人々がある時、この注意は異常に大切である。資本輸出の源泉は結局國内蓄積にある。アメリカでは國内産業資本の活動は目ざましいものがあり、寧ろこの點では資本缺乏をさへ告げてをり、そこで外國から多額の貸付資本を吸收してゐた。アメリカは貸付資本の利子と産業資本の利潤との差額といふ形態で年々巨大な資本蓄積をやつてゐたのだ。これがたまたま世界戰爭によつて加速度的に促進されたに過ぎない。遲かれ早かれ大型債權者への轉化は實現されたのである。戰後の資本輸出についてはその地理的分布と投資形態との二方面から注意しなければならない。最大の投資市場はアメリカ大陸、次はヨーロッパである。前者は主として産業資本の輸出先であり、後者は貸付資本の輸出先である。産業資本輸出に伴ふ帝國主義的侵略、北アメリカ、中央及び南アメリカに於ける多數の國々の植民地化は注意すべきである。貸付資本の輸出はドーズ案採用後ヨーロッパに向つて行はれ、これまたヨーロッパの從屬變化の過程を作り出してゐる。この點の支配と對立は世界の帝國主義的諸對立の一つの根幹となつてゐる。だが資本を輸出すると共にアメリカは資本を輸入してゐる。この輸入資本が最近金融恐慌と共に本國に引き揚げられたので一時アメリカの金輸出禁止の噂さへ立てられた

が、それほどまたこの輸入資本は多額であり重要性をもつてゐるのだ。年々の純輸出額は少い。舊資本輸出に對する利子が巨額に達してゐるが、これは金利生活者國家への轉化、帝國主義の寄生的性質を示してゐる。しかも國内市場の狹隘化と恐慌の進展に伴つて資本輸出への迫力は益々高まつて來る。こゝからアメリカ帝國主義が資本輸出市場獲取のために他の帝國主義國×××惹き起す必然性が生じて來る。

七『アメリカ合衆國に於ける農民恐慌』　本輯ではこの論文だけが直接恐慌の問題を取上げてゐる。こゝではアメリカ農業恐慌が世界農業恐慌の最重要な一環として正しい見地から把握されてゐる。世界市場への依存性が益々高まつてゐること、從つて世界農業恐慌は最も深刻にアメリカ農業に打擊を與へてゐること、最近はそのために國内市場への復歸過程が生じてゐること、それは農業保護關税を要求するから、工業及び金融資本と決定的に衝突すること、かくて世界農業恐慌は一般にアメリカの經濟恐慌を尖鋭化する一つの重要なモメントであること、等々について述べられてゐる。なほ注意すべきは、アメリカ農業で行はれてゐる技術革命である。トラクター、コムバインの採用による農業勞働者一人當りの生産力の増加は一九〇九――一九一九年の間には工業勞働者の生産力増加を遙かに凌駕してゐた（工業七・五％、農業三〇％）。農業の機械化は不可能だとか一般に

工業よりも遙かに遲れてゐるとかいふブルヂョア的見解はこの實例によつてこつぱ微塵となつてしまふ。なほ次の論文中の『農民の狀態』をも併讀されんことを望む。

八『アメリカ勞働者階級の狀態』『繁榮の國』アメリカの勞働者階級の狀態はどうか？　勞働者の天國だなどゝ一部社會民主々義者の羨望の的だつたアメリカでは一千萬人からの失業勞働者が飢餓に瀕してゐる。就業勞働者は『スピード・アップ』といふ勞働强化と種々な方法による賃銀減額でやつと食つた切りである。それでも足りないから細君も子供も仕事に出る。そこにはかうした可憐な人類に對して假惜なき資本家の爪が磨かれてゐる。勞働立法も不完全だ。失業手當法はボスの親方アメリカ勞働總同盟會長グリーン等の反對で沙汰止みとなつた。注意しなければならないのは黑人勞働者に對する非人間的な苦役と賤視と差別待遇とである。勞働貴族の組合では黑人の加盟を禁じてゐる。彼等ボス共は選擧で、ストライキで、完全にブルヂョアジーの御用振りを發揮して、そのために有難い官職についてゐる。彼等の俸給は大統領の俸給にも等しい。勞働者の組織率は低い。だが恐慌の發展と共に大衆は左翼化し、眞劍な鬪爭が、資本への逆襲が展開されつゝある。勞働組合統一同盟（T・U・U・L）こそ眞の階級的勞働組合だ。なほこの論文だけは譯註にもあるやうに別な資料『勞働者事實書』から取つたもので、同書には極く平易な文章で簡單明瞭に、且要領よくア

メリカ資本主義の全面的研究が展開されてゐる。目下某氏が飜譯中で近日發刊されることゝ思ふ。

九　最後に各筆者を紹介すべきであるが、遺憾ながら詳細を知ることができなかつた。たゞこのうち二三の人の氏名は『世界經濟と世界政治』中に時折アメリカ關係の論文と共に見受けられるから、このことによつていづれもサヴェート同盟のアメリカ研究の權威者であることが分る。五の『アメリカ勞働者階級の狀態』は筆者の氏名がなく、たゞ吾が國の產業勞働調査所にも比すべき『勞働調査協會』とあるばかりであつた。同協會からはその他アメリカの產業別叢書が出てゐる由である。なほ殆んど全部の論文が尨大な著書の一部分であることは注意すべきである。今日サヴェート同盟ではあらゆる意味からアメリカ資本主義の研究が旺盛であつて、これに關する著書も續々發刊されてゐる。羨しい次第である。吾が國ではアメリカ研究の聲だけ高くして、いづれの側からも眞面目な著書が少ししか出てゐない現狀を鑑みて大いに反省すべきだと思ふ。プロレタリアート××××から言つても、アメリカ勞働者階級の理解と提携とは今後益々いろいろな意味で重要且緊切となるだらう。（一九三二・三・一五）

アメリカ資本主義の諸問題

一　アメリカ合衆國の獨占資本主義の基礎

ラ　ン

〔ヴェー・ラン『アメリカ合衆國の獨占資本主義の基礎』世界經濟と世界政治一九三〇年第四、六號〕

合衆國の國富は、既に十九世紀の末に他の如何なる國々の國富をも凌駕してゐたが、二十世紀に
は異常に增大した。國勢調査局ではこれを一九〇〇年には八百八十億弗、一九〇四年には千七十億
弗、一九一二年には千八百六十億弗、一九二二年には三千二百億弗（一九一三年の價格によれば一
九二二年にはこの富が僅か二千六十億弗と決定された）と評價したが、一九二六年の初には三千五
百五十億弗と評價した(1)。

(1)『世界の暦』(The World Almanac) 一九三〇年二九五頁。同所には他の諸國の國富に關して非公式統計が掲げられてゐる、即ちイギリス（一九二五年）——千百九十億弗、フランス（一九二五年）——六百億弗、ドイツ（一九二五年）——五百九十億弗、イタリー（一九二五年）——二百五十億弗、日本（一九二八年）——五百十億弗、インド（一九二二年）——四百五十億弗、ヨーロッパ・ロシア（一九二四年）——五百億弗である。

(一) 工業

〔一九〕二〇年代に於ける合衆國の銑鐵及び鋼鐵生産は世界生産の約半額に當り、石油採掘は世界採掘の約四分の三に當つてゐた。戰後動力源泉としての石炭はその意義をやゝ失つた。一九一三年に石炭は世界動力消費の八五%を供給し、一九二七年には僅か七一%しか供給しないが、合衆國ではこの數字が六四%まで低下した(2)。これと關聯して二十世紀に於ける石炭採掘は比較的僅かしか增加しなかつた(一九〇〇年の二億四千萬噸から一九二九年の六億噸に)。獨占資本主義の時代には電氣工業、化學工業、自動車工業、航空機工業等々の新らしい工業部門が發達し、これらすべての部門には合衆國が支配的地位を占めてゐる。

(2) 『合衆國に於ける最近の變化』(Recent Economic Changes in the United States) 第一卷七九頁。

二十世紀に於ける合衆國の製造工業發達の一般的指數は次の表から看取される(3)。

年	會社數 (單位千)	勞働者數 (平均數)	馬力數 單位千	投下資本 單位百萬弗	年賃銀	原料價總	總生産額	純生産額
一八九九	二〇八	四、七一三	一九、五八九	八、九七五	二、〇〇八	六、五七五	一一、四〇六	四、八三一
一九〇四	二六	五、四六八	一三、四八八	一三、六七五	二、六一〇	八、五〇〇	一四、七九三	六、二九四
一九〇九	二六八	六、六一五	一八、六七五	一八、四三八	三、四三七	一二、一四二	二〇、六七二	八、五二九
一九一四	二七五	七、〇二四	二三、四三一	二三、七九〇	四、〇七八	一四、三六八	二四、二四六	九、八五八
一九一九	二九〇	九、〇九六	二九、二九四	四四、四六六	一〇、五三三	二七、三七六	六二、四一八	二四、七四八
一九二一	一九六	六、九四六	—	—	八、二〇二	二五、三二一	四三、六五三	一八、二七二
一九二三	一九六	八、七六八	三三、〇五七	—	一一、〇〇九	二四、七〇五	六〇、五五五	二五、七七七
一九二五	一八七	八、三八四	三五、七七三	—	一〇、七二九	二五、九二五	六二、七一三	二六、七七八
一九二七	一九一	八、三五一	三九〇三	—	一〇、八四八	二五、一二八	六二、七一三	—

(3) 表は『世界の曆』一九三〇年三四五頁『統計拔萃』(Statistical Abstract) 一九二八年七四九頁を基礎として作つた。一九二一年までの統計は年生産額五百弗以上の工業企業を含んでゐるが、一九二一年以後は年生産額五千弗以上の工業企業を含んでゐる。一般に大戰直前には既に年生産五千弗以下の企業は同國工業で取るに足らぬ役割を演じてゐた。一九一四年には年生産額五百弗と五千弗との間の企業數は九萬七千であつた、これらの企業には全部で十三萬六千人の勞働者が働いてをり、これらの企業の年生産額は三億八千萬弗であつた。(『統計拔萃』一九二八年同所)。

(4) 一八九九年の馬力數は年生産五百弗以下の企業に關係してゐる。

鑛山業の年生産は一九二七年に五十五億二千萬弗であつた(一九二七年は不況年度であつた、一九二五年にはこの數字が六十六億七千七百六十三億弗に等しかつた)、しかも鑛山業に從事する勞働

者は約八十五萬人であつた。

鑛山業の基本部門――石炭採掘、鐵鑛採掘、石油採掘――の狀態は次のやうに示されてゐる(6)。

年	石炭採掘（單位千噸）	鐵鑛採掘（單位千噸）	石油採掘（單位千ガロン）
一九〇〇	二四〇、七八九	二七、五五三	二、六七〇
一九一四	四五八、五〇四	四一、四三九	二一、一六三
一九一九	四八七、四一〇	六〇、九六五	一五、八六四
一九二三	五七〇、三〇三	六九、三五一	三〇、八六一
一九二四	五〇三、五〇八	五四、二六七	二九、九八五
一九二五	五二八、二六九	六一、九〇七	三一、七四五
一九二六	六〇〇、二〇四	六七、六三三	三三、一九三
一九二七	五四三、四七七	六一、七七八	三七、五六六
一九二八	五六九、四〇八	六一、一〇二	三八、〇〇〇
一九二九	六〇一、九九八	—	四二、九四〇

(5) 表は『世界の暦』一九二九年三三六、三三八頁及び『アナリスト』一九三〇年一月十日を基礎として作

つた。

かうして合衆國の石油採掘は二十世紀に十四倍も增加した。鐵鑛及び石炭採掘の增加は遙かに緩慢である。しかし一九二九年に於ける合衆國の鐵鑛及び石炭採掘は世界採掘の四〇%以上に當つてゐた。

ヨーロッパの重要資本主義諸國に比較して二十世紀に於ける合衆國の銑鐵及び鋼鐵生産の發達は次の表から看取される（單位千噸）(6)。

年	合衆國 銑鐵	合衆國 鋼鐵	イギリス 銑鐵	イギリス 鋼鐵	ドイツ 銑鐵	ドイツ 鋼鐵	フランス 銑鐵	フランス 鋼鐵
一九〇〇	一三、七八九	一〇、一八八	八、九六〇	四、九〇一	八、五二一	六、六四六	二、七一四	一、五六五
一九一〇	二七、三〇四	二六、〇九五	一〇、〇一二	六、三七四	一四、七九三	一三、六九九	四、〇三二	三、三九〇
一九一三	三〇、九六六	三一、三〇一	一〇、二六〇	七、六六三	一六、七六五	一七、三四八	五、一三四	四、六二〇
一九一六	三九、四三五	四三、七七四	九、〇四八	九、一六三	一三、二八五	一六、一八三	一、四四七	一、九五二
一九一九	三一、〇一五	三四、六七一	七、三九八	七、八九四	六、二八三	六、七三二	二、三七六	二、一四八
一九二二	二七、二一九	三五、六〇三	四、八九九	五、八三一	八、四〇〇	九、一四四	五、一二八	四、四七一

一九二三……四三、三六一	四四、九四三	七、四四〇	八、四八一	四、八五八	六、一〇六	五、三四七	五、〇三九
一九二四……三一、〇六四	三七、九三一	七、三〇七	八、二〇一	七、六九〇	八、六三七	七、五七三	六、九〇〇
一九二五……三六、一一六	四五、三九三	六、二七四	七、三九六	一〇、一七六	一二、一七六	八、三〇六	七、二八九
一九二六……三八、六九八	四八、二九三	二、四四〇	三、五五三	九、四〇三	一三、一五〇	九、六四三	八、三五五
一九二七……三五、八五八	四四、九三五	七、二八九	九、〇八六	一三、一〇三	一六、三〇五	九、二九三	八、二五五
一九二八……三八、五〇〇	五一、八二七	六、七二〇	八、六六〇	一二、八〇〇	一四、五二〇	一〇、一〇〇	九、三八六
一九二九……四三、二八六	五四、一六四	—	—	—	—	—	—

(6) 同一資料による。

掲げられた表から看取されることは、既に世界戰爭の前夜に合衆國の銑鐵及び鋼鐵生産がイギリス、フランス及びドイツのこれら商品の總生産に等しかつたが、戰後はこれら三大資本主義國をひつくるめての全生産を著しく凌駕してゐることである。

二十世紀から初めてアメリカの國勢調査で取扱はれたところの工業部門はその發達のテムポが遙かに急速であつた。電氣技術工業から始めよう。電氣動力を得ようとする試みはそれよりも約百年も前に行はれて成功してゐるが、電氣が同國經濟の重要な要素となつたのは僅かに前世紀の末葉である。エヂソンが一八七九年に電氣ラムプを發明した頃は、電氣技術工業はまだその歴史の前期にあつた。一八八二年にはエヂソンが最初の發電所を建設したが、それは三千四百七十七個の電燈を持つ二百三十一人の消費者に役立つた。十二年を經てそのタービン發電機が五千キロワットの能力をもつ水力發電所をナイヤガラに建設する工事が始つた。なほこんな能力を持つタービン發電機は一九〇三年にもまだ記錄的なものとさへ考へられてゐた、しかるに十五年後には二十萬强キロワットのタービン發電機が建造されたのだ。二十世紀に於ける電氣の經濟的意義は偉大である、なぜならば一九〇五——一九二五年間の期間に一單位の電氣動力を得るために要する燃料の分量が二分の一以下にも減少したからだ、二十世紀の第一四半期の終りには合衆國の電氣技術工業の年生産額は十五億弗と評價された。電球だけでも合衆國では年々五億個も生産され、これは世界生産の約二分の一に當つてゐる。

二十世紀の電氣は合衆國の全工業生活で例外的な役割を演じてをり、アメリカの重要な機械動力となつてゐる。一九二八年の初には全原動力の七八%は電化されたことを指摘すれば充分である。合衆國工業の電化の一般的樣相は次の數字から看取される(7)。

年（一月一日當り）	原動力の總能力 百萬馬力	そのうち電化されたもの 百萬馬力	電化された馬力の%
一九〇〇	一〇	〇・五	五
一九〇三	一三	一・六	一二
一九一〇	一八	四・八	二五
一九一五	二二	八・八	二九
一九二〇	二九	一六・二	五五
一九二四	三三	二二・二	六六
一九二六	三六	二六・一	七三
一九二八	三九	三〇・四	七八

（7）『合衆國に於ける最近の變化』第一卷一二六頁。

この表は原動力の電化の發達がこれら動力の一般的發達を凌駕してゐることを示してゐる。だから新らしい企業が電力を基礎として建設されるばかりでなく、舊動力も亦電化されてゐる。工業電化の比率は合衆國では七八%、ドイツでは六六%、イギリスでは四八%に當つてゐる。一九二九年のアメリカ發電所の生産は九百七十五億キロワット（全電氣生産は一千億キロワットを凌駕してゐる）と評價され、これは世界生産の二分の一に當つてゐる。最近七ケ年間（一九二二——一九二八年）には電力生産は倍加され、しかも配電線は五萬哩も增加した。一八二八年の一ケ年だけでも電力消費は百四十萬キロワットも增加し、その全消費量は一九二九年初には二千三百二十一萬九千キロワットであつたが、一九三〇年一月には二千四百二十五萬七千キロワットにも等しかつた。一九三〇年には全タービン發電機の生産能力は四千萬馬力に當つてゐた。人口の六八%は電化された家屋に住んでゐた。電氣は人口五千人以上の全都市、人口一千人から五千人までの都市の九七%、人口二百五十人から一千人までの全人口集合地の五〇%、人口二百五十人以下の村落の二五%以上に供給されてゐた。一九三〇年には電氣事業に投下された資本は百十億弗を超え、一九二八年だけでもその總收入は十九億弗を超えた。フーヴァーのどえらい水利工事計劃と關聯して彼によつて合衆國の電化が猛烈なテムポで續行されるだらうことは期待しなければならない。聯邦動力委員會の資料によると、二千五百萬馬力の能力をもつ新動力設備の建設計劃が承認されてゐる。加ふるに先づ第一に一千萬力の動力をもつ發電所が建設されるだらう。殊に注目すべきは現在コロラドに建設中のボルデル・ダムであつて、その能力は百萬馬力に達してゐると稱されてゐる（8）。

(8) 註(7)以後の全數字は『世界の暦』一九二八年一六八頁及び一九三〇年一三九頁、『電氣界』(Electrical World) 一九二九年三月十八日九八二頁、一九三〇年一月四日三〇頁、及び『商業雜誌』(Journal of Commerce) 一九三〇年一月三日の附錄二〇頁から取つた。

化學工業も亦二十世紀に巨大な意義を獲取してゐる。化學工業は既に十九世紀の調査にのつてゐるが、合衆國の國民生活上重要な要素となつたのは僅かに今世紀殊に世界戰爭中に於てゞあつた。化學工業の狀態は最初一八三一年に調査された、當時の生產額は百萬弗であつた(9)。一八八〇年にこの數字は三千九百萬弗に增加し、一九〇〇年には六千三百萬弗に增加した。若しこれに化學工業と直接關係のある他の商品の生產を附加すると（さうしなければならない、なぜならば二十世紀の國勢調査は純粹に化學工業だけについての統計を與へないからだ）、一八八〇年及び一九〇〇年の當該數字はそれぞれ一億七千萬弗及び五億五千三百萬弗に等しいだらう(10)。しかしこの場合でさへ一九〇〇年の化學工業の總生產は十四の重要な製造工業部門の總生產の四%に當つてをり、しかも二十年間の當該比率は十倍も增加したのだ。二十世紀の第一四半期の間に銑鐵及び鋼鐵の年生產額は五倍、纖維工業は五倍半增加したが、化學工業は十二倍も增加した。二十世紀に於ける化學工業の狀態の一般的樣相は次の表が與へてゐる(11)。

國勢調査年度	會社數	勞働者數（平均）	投下資本	年賃銀	原料價額	生產額	純生產額
			單位 千弗				
一九〇〇……	五、四四三	一〇一、四八九	四九八、二八三	四三、八五〇	三五六、一五一	五五二、七九七	—
一九〇四……	九、八二六	二二七、三二六	一、五八八、三三八	一〇二、三八八	六三三、九一九	一、〇七五、五一九	四四一、六〇〇
一九〇九……	一二、〇六〇	二六七、二六一	二、一六七、四二五	一二九、〇〇三	九三一、〇四四	一、五二六、五六九	五九五、五五五
一九一四……	一二、三七四	二四九、一五四	三、〇三四、二〇九	一六七、四九四	一、二八九、三四六	二、〇〇一、六三五	七一二、二八九
一九一九……	一二、四〇五	四六〇、六四一	五、六一七、七三八	四九三、七四四	三、七四七、六七五	五、六一〇、二九九	一、八六二、六二四
一九二三……	八、八二三	三八〇、四九三	—	五〇一、二〇五	三、六八〇、四〇七	五、七〇六、八六六	二、〇二六、四五九
一九二五……	八、八七一	三八一、〇七三	—	五〇六、三八六	四、一八四、九二一	六、四三八、〇三七	二、二五三、一一六

(9) 『工業發達の一世紀』(A Century of Industrial Progress) 三五八頁。
(10) 『合衆國第十二回國勢調査拔萃』三〇五、三二四頁。
(11) 表は『第十二回國勢調査拔萃』三二四頁、『第十四回國勢調査拔萃』一、〇五四頁、『統計拔萃』一九二八年七五二頁を基礎として作つた。一九二三年及び一九二五年の統計は（各個の）年生產額五千弗以上の企業に關係してゐる。

右に揭げた數字は〔化學工業〕生產の巨大な絕對的增大を示してゐるばかりでなく、顯著な技術的發達、化學工業の猛烈な集中をも立證してゐる。集中については後程述べるだらう。今のところ

指摘する必要があるのは、一九二五年の總生産に關係してゐる六十五億弗の金額中には化學的加工品とも言ふべき商品のみが含まれてゐることである。だが化學工業に關係する(Which have a chemical interest) 全商品の生産は一九二五年に二百三十五億弗と評價された(12)。世界戰爭後合衆國は世界最大の化學工業を所有してゐるのだ。

(12) 『工業發達の一世紀』三五八頁。

化學工業は、電氣工業と同樣に、二十世紀に巨大な發達を遂げたが、既に古くから知られてゐただが航空機及び自動車工業部門は二十世紀の産物である。航空機は世界戰爭後初めて經濟的意義を得たのである。周知の通り、ライト兄弟が裝置力（それは壓搾空氣である）をもつ飛行機の最初の試みに成功したのは一九〇三年の十二月であつた。一九〇九年まではライト兄弟の發明には殆んど注意が拂はれなかつた。この年に至つてヨーロッパの軍事關係者達が初めて飛行機に注意を拂ひ出した。だが合衆國では航空事業は非常に遲々として進んだ。一九一三年までに合衆國では僅か五臺の飛行機が販賣されたに過ぎない。一九一三年にはやゝ隆盛となつた。飛行機の販賣數は四十四臺に增加した。しかし一九一七年にアメリカはドイツに宣戰を布告したが、この時決定的な轉換が行はれた。この年に聯合國はアメリカに二萬臺の飛行機を注文した。十八ヶ月のうちに合衆國は約一萬五千の飛行機と三萬四千個の航空機用發動機を製作した(13)。戰後航空機工業は數年の間衰微してゐる。一九二五年にフーヴァーは民間航空特別委員會を組織した、それ以來合衆國の航空事業は不斷に發展してゐる。一九三〇年には合衆國で二百七十八の會社が飛行機を生産した。一九二九年にニウヨーク取引所に上場された三十三の航空機會社の株券は十一億六千萬弗と評價された。(取引所恐慌の時にはこの額が二億八千四百萬弗に低下した)。この金額のうち約五億弗は合衆國最大の三つの航空機會社に屬してゐる、即ち『クルテック・ライト』が二億四千三百萬弗、『ユーナイテッド・エア・クラフト』が一億五千二百萬弗及び『エーヴィエション・コーポレーション』が六千一百萬弗。一九二八年に合衆國では四千九百臺の飛行機が製作され、そのうち一千二百十九臺は軍事用であつた。一九二九年には約六千臺の飛行機が製作された。

(13) 前掲書五四三頁。

吾々は航空機工業を二十世紀の工業の代表的部門として論及した。しかし飛行機はその素晴しい發達にも拘らずまだその發達の最初の段階にあるに過ぎない、その國民經濟上の比重は目下のところ僅かである。ところが自動車工業はまるで違ふ。自動車は飛行機よりも僅か數年前に現れた。しかるにたつた二十年間のうちに自動車生産は他の工業部門では見られないほどの發達を遂げた。世

界戰爭後自動車はあらゆる工業國殊に合衆國では非常に普及したのである。

最初の自動車は九十年代の初アメリカに現れた。一九〇〇年までに三千七百臺製造されたが、二十五年後には毎年の自動車販賣高は四百萬臺を越えた。次の數字は合衆國に於ける自動車生産を最もよく説明してゐる(14)。

年	生産された自動車數(單位千)	價格(總價格單位百萬弗)
一八九九	三	四
一九〇四	二一	三〇
一九〇九	一三〇	一六五
一九一四	五六九	四五八
一九一七	一、八六八	一、二七四
一九二〇	二、二〇五	二、二三二
一九二三	三、八九〇	二、六二一
一九二四	三、六〇六	二、三二八
一九二五	四、三二二	二、九五七
一九二六	四、四二八	三、一六三
一九二七	三、四〇〇	二、五七七
一九二八	四、六三〇	三、一六二
一九二九	五、六〇〇	三、四八四

(14) 自動車年生産に關する數字は『世界の暦』一九二九年三二五——三二七頁及び『アナリスト』一九三〇年二月七日から取つた。この數字のなかにはカナダの生産も入つてゐるが、カナダの生産は一九二一年の六萬臺から一九二八年の二十四萬二千臺に增加した。

一九二九年の自動車數及び他の工業部門に對する自動車の意義についての數字は自動車特輯號『ニウヨーク・タイムス』一九三〇年一月五日三二、三八頁から取つた。

一九三〇年の初合衆國には二千六百四十萬臺の自動車が數へられた。即ち五人毎に一臺所有してゐるわけである。カルフォルニア州は自動車數では最大の州であるが、こゝでは三人毎に一臺所有してゐる。一九二八年にイギリスでは各三十八人につき一臺づゝ所有してをり、フランスでは四十三人、ドイツでは百三十四人、イタリーでは二百六十六人につき各々一臺づゝ所有してゐるが、日本では一千百七人につき一臺所有してゐるに過ぎない。全世界では一九二七年に三千四百七十萬臺の自動車が數へられ、そのうち七六%は合衆國に割當てられてゐる。やはりこの年にアメリカ農

民だけで五百八十萬臺所有してゐた。合衆國はよく舗裝された自動車道路が一九二九年に約六十六萬哩の延長をもつてをり、しかも全自動車道路は三百一萬六千二百八十一哩もあつた。なほ他の重要な國民經濟部門の發達に對する合衆國の自動車工業を示すところの若干の數字を掲げる。一九二九年に自動車工業は同國で消費される護謨の八五%、硝子板の六七%、銑鐵及び綱鐵の一九%、銅の一五%、錫の二七%、及びベンジン油の八〇%を消費した。一九二八年には約三百五十萬の勞働者がアメリカ自動車工業に從事した。同年には自動車の價格が一九一三年の價格よりも七〇%も低かつた、しかるに此の工業品の價格指數は一九一三年の指數を一〇〇とすると一九二八年は約一五〇に當つてゐた。

一九二九年合衆國には二十以上の自動車コンツェルンがあつた。このうちで最大のものは『フォード會社』、『ヂェネラル、モーターズ』、『クライスラー』、『ハドソン』及び『オーバランド會社』である。『フォード自動車會社』は一九〇三年以來存在してゐる。同會社は十萬弗の資本金でその仕事を始めた。その發展振りは周知の通りである。次のことを示せば澤山だ。即ち近年フォード工場の一日平均自動車生產は約一萬臺である。『ヂェネラル・モーターズ』は一九〇八年に創立され、一九一七年に再組織された。同社は數個の自動車會社を合併してゐる。その統制下にある自動車會社は『ビューイック』、『カーデラック』、『シェボレー』等の會社である。その二十年間の存在のうちに『ゼェネラル・モーターズ』は世界に於ける大工業團體となることに成功した。一九二六——一九二八年に同社はその生產額の點で世界自動車會社中首位を占め、しかもその收入の點では（一九二八年の收入は二億七千六百萬弗に當る）合衆國鋼鐵トラスト〔ユー・エス・スティール・トラスト〕を凌駕した。『オーバランド會社』は『ヂェネラル・モーターズ』と同時に創立された。一九〇九年に同社は四千臺の自動車を生產した。二十年を經て同社は所屬工場の生產能力が日に自動車一千五百臺といふ點にまで達した。

自動車は鐵道との競爭で成功してゐる。合衆國交通上自動車が役割を演じ初めてからといふものは鐵道網の發達は停止した。最近は數千哩の鐵道線路が廢止されさへした。一九二八年の鐵道要具は一九一三年とほゞ同樣な狀態にあつた。鐵道による旅客輸送はひつきりなしに減少してゐる。鐵道會社の總收入は一九二〇年以來增加しない、尤も合理化と勞働者の搾取の增加とで純收入はやゝ增加してはゐるが。前世紀の最後の三十年間に合衆國の鐵道網は三八〇%も增加したが、二十世紀の最初の三十年間（二十九年）には、それが三〇%以上も少ない、しかもその增加は專ら戰前の時代と關係してゐる。二十世紀に於けるアメリカ鐵道の一般的狀態は次の數字によつて特徵づけられ

てゐる(15)。

年	數量 鐵道網延長 単位千哩	數量 蒸氣機關車 単位	數量 客車 単位	運送數 旅客 千	運送數 貨物 単位噸	從業勞働者數 単位千	年賃銀 単位百萬弗	總收入	純收入
一九〇〇……一九三	三七	一、三六五	三四	五七六、八三一	一、〇八一、九八三	一、〇一七	五七七	一、四八七	二五三
一九〇五……二八	四八	一、七三一	四〇	七三八、八三四	一、四二七、七三一	一、三八二	八三九	二、〇八二	三六四
一九一〇……二四〇	六〇	二、一四八	四七	九七一、六八三	一、八四九、九〇〇	一、六九九	一、一四三	二、八二二	五八三
一九一五……二五三	六六	二、三四一	五五	九八五、六七六	一、八八八、六八二	一、七〇〇	一、四五〇	二、九五六	三五四
一九二〇……二五三	六八	二、三八八	五六	一、二六九、九一二	二、四二七、六二二	二、〇二三	二、六八一	六、三一〇	四八一
一九二三……二五〇	六九	二、三七九	五七	一、〇〇八、五三七	二、五〇三、一一七	一、八五七	三、〇〇四	六、四一九	六三三
一九二五……二四九	六八	二、四一四	五六	九〇一、九六三	二、四八三、七二五	一、七四四	二、八六〇	六、二四六	七七一
一九二六……二四九	六六	二、四〇三	五六	八七四、五八八	二、六二七、四九一	一、七七九	二、九四六	六、五〇八	八八三
一九二七……二四九	六五	二、三七八	五五	八四〇、〇二九	二、五一〇、〇五四	一、七三五	二、九一〇	六、二四五	七四一
一九二八……二四九	六三	二、三四六	五四	七九八、四七六	二、五〇四	一、六九一	二、八七四	六、二一三	八五五
一九二九……二四九	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(15)『世界の暦』一九三〇年四二九——四三〇頁。

合衆國の鐵道網發達は停止してゐるが、それにも拘らずその延長の點では一九二八年には世界鐵道網の約三分の一にも當つてゐた。

運輸について言へば、二十世紀に於ける合衆國商船隊の發達を指摘する。一九〇〇年にその噸數は五百萬噸、一九一九年は一千三百萬噸であつたが、一九二九年には一千四百三十七萬七千噸にも達してゐた。

また二十世紀に特徴的なことは纖維工業の發達である。十九世紀最後の十年には纖維工業がやゝ金屬工業よりも遲れてゐるとすると、二十世紀にはその樣相が一變してゐる。これを例示するものとして十九世紀最後の二十年間と二十世紀最初の二十年間との全纖維工業の狀態についての統計を掲げる（單位百萬弗）(16)。

年	投下資本	年賃銀	原料價額	總生產額	純生產額
一八八〇……五九四	一九八	五六九	九七一	—	
一九〇〇……一、三六六	三四一	八九五	一、六七三	—	
一九〇九……二、五〇七	五九五	一、七六三	三、〇八六	一、三三	

一九一九……六、〇九六　一、四八三　五、三八三　九、二二六　三、八三四

一九二五……一　一、六五四　五、三四八　九、一二三　三、七七五

(16)『第十二回國勢調査抜萃』三二四頁、『第十四回國勢調査』一、〇五四頁、『統計抜萃』一九二八年七五二頁。

二十世紀に於ける繊維工業生産の異常な發達は世界戰爭と極めて密接な關係がある。しかしこの發達を專ら世界戰爭のせいにすることは如何なる場合にもできない。第一に、一九一九年に達した九十億弗臺の生産水準が二十年代にも維持された、一九二三年の繊維工業の生産額は九十四億六千萬弗、一九二五年には九十一億二千二百萬弗、一九二八年には約九十億弗に上つてゐた。第二に、二十世紀の繊維工業の生産は大量的に軍隊のために生産するやうなものでない織物によつて主として發達した。反對に紡績業はその發達テムポの點では十九世紀末に比べて遲れてゐる(17)。

年	全紡錘數(千)	運轉紡錘數(千)	綿花消費(單位千梱)
一八八〇	……	一〇、六五三	一、五七〇
一九〇〇	……	一九、四七二	三、八七三
一九一〇	二八、九二九	二八、九二九	四、六二二
一九一九	三五、四四三	三四、九三一	五、七六六
一九二三	三七、四〇九	三六、二六〇	六、六六六
一九二五	三七、九二九	三五、〇三三	六、一九三
一九二六	三七、五八六	三四、七五〇	六、四五六
一九二七	三六、六九六	三四、四一〇	七、一九〇
一九二八	三五、五四三	二八、三二一	六、五七二
一九二九	……	二四、八二九	七、〇五九

(17)『統計抜萃』一九二八年八〇一頁、『國際綿糸報告』(International Cotton Bulletin) 一九三〇年一月、『アナリスト』一九三〇年一月十七日。

上掲の數字は紡績業發達のテムポの緩慢化を示してゐるばかりでなく、二十年代に於ける休止錘數の增加、錘數の一般的減少をさへ示してゐる。もつともこゝには技術的完成の結果が示されてゐる。しかし消費の安定は錘數減少の原因を單に技術的進歩に歸することができないことを示してゐる。戰後合衆國の紡績業は與へられた條件の下では最大限度の限界につき當り、系統的不況の地帶へと踏み入つた。前世紀の末には合衆國の綿製品の輸出額は該商品輸入額を四〇——五〇%超過し

てゐた。二十世紀の第一四半期の末には合衆國は輸入よりも殆んど二倍も多い綿織物を輸出した。二十世紀に於ける後者の輸出は六倍も増加した、しかし輸入はたつた二倍半しか増加しなかつた、このことは次の統計から分る(18)。

綿製品(單位百萬弗)

年	輸入	輸出
一八九九	三三	三三
一九二五	九	一四〇

(18)『工業發達の一世紀』一四七頁。

二十世紀に遙かに大きな發達を遂げたのは羊毛及び生糸工業である。前者の生産額は、一九〇四年の三億三百萬弗から一九二五年の九億五千七百萬弗に増加した。しかし羊毛工業は戰後大きな困難に遭遇してゐる。目下不斷の繁榮に浴してゐる纖維工業の唯一の部門は生糸生産である。その生産額は一九〇四年の一億三千三百萬弗から一九二五年の八億九百萬弗に増加し、最近四ケ年間にも引續き増加した。合衆國では二十世紀に人造絹糸の生産が例外的な發達を遂げた。戰前——一九一三年——には人造絹糸の生産は僅か七十萬キログラムに過ぎなかつたが、一九二八年にはそれが四千萬キログラムに増加した。

合衆國に於ける生糸工業の繁榮は奢侈對象物の大需要者であるところの人口の『富裕』な層の福祉が未曾有に向上したことによつて説明される。ついでに指摘するが、一九二八年合衆國では奢侈對象物に二百十億弗も支出されたのだ(19)。もつともこのなかには高度に資本主義的なアメリカでのみ奢侈であるところの支出たとへば新聞、雜誌、書籍に對する十億弗の支出も入つてゐる。しかしたとへ奢侈對象物欄に完全には入らない若干の項目があることを見て右の額から數十億弗差引いたところで、やはり他の如何なる國にとつても空想的な數字が殘るのである。

(19)『ザー・リテラリー・ダイヂェスト』(The Literary Digest) 一九二九年九月七日七〇——七一頁。この金額は次の諸項目から成つてゐる(單位百萬弗)。

容用自動車	五、〇〇〇	ラヂオ	七五〇
娯樂即ちナイトクラブ等々	三、〇〇〇	博覽會、劇場、音樂會等	五〇〇
菓子、酒	二、〇〇〇	寄附	五〇〇
旅行	二、〇〇〇	寫眞、ピアノ	二五〇
映畫	一、五〇〇	電話(個人用)	一〇〇
煙草	一、五〇〇	社交クラブ	二五〇
博物館、動物園	一、〇〇〇	玩具	二五〇
新聞	一、〇〇〇	家内遊技即ち撞球、競技たとへば	

水泳用プール等	一〇〇
保養院	一〇〇
ダンスホール	一〇〇
散歩公園	一〇〇
旅行行進及び示威運動	五〇
樂器	五〇
賭博	五〇
スポーツ	八五〇
合計	二、〇〇五

前世紀八十年代に始つた紡績業南方移動過程は二十世紀にも引續き行はれた。一八八〇年に南方には合衆國の運轉紡錘の僅か五%しか集中されてゐなかつた。それが一九〇〇年には二二%、一九〇九年には三七%、一九一九年には四三%、一九二五年には約五〇%集中されるに至つた。南方の棉花消費率は一八八〇年には一二%に達してゐたが、一九〇〇年には三八%、一九一九年には五六%、一九二五年には六八%に上つてゐた。かうして南方には二十世紀の第一四半期の末には國内全運轉紡錘の約半分を所有し、合衆國に於ける全棉花消費の三分の二以上を消費した。南方に於ける紡績業發達の絶對數は次のやうに示されてゐる(20)。

年	運轉紡錘數(單位千臺)	棉花消費(單位千梱)
一八八〇	五六一	一六八
一八九〇	四、二六八	一、五六三
一九一〇	二、一四九	二、五三九
一九一九	一四、五六八	三、〇三三
一九二五	一七、二九三	四、四三七
一九二七	一七、八九四	五、一九四

(20)『統計拔萃』一九二八年八〇一頁。

織維工業は南方工業化上重要な役割を演じてゐる(21)。發達のテムポの點では、それは南方諸州の石油採掘に負けるだけである。南部では一九〇〇年には一千七百萬樽、一九一〇年には八千萬樽一九二五年には四億三千二百萬樽の石油が採掘された。

(21) 織維工業南方移動を促進してゐる重要な要素はそこに原料、低廉な勞働力及び低廉な電力が存在することである。この點について低廉な未組織の南方諸州の勞働力が例外的な役割を演じてゐる。イギリスの『現代評論』誌一九二九年十月號は『南方の覺醒』(四八三——四八四頁)といふ論文中で次のやうに書いてゐる。『南方工業の意義の增大についての觀念を得ようとするなら、マサチユセッツ州を見れば充分である。ニウ・イングランドの織維工業は臨時隨所で南方の競爭にぶつかつてゐる。ホル・リベルとボストンとの間にあるあらゆる工場は閉鎖され、所有者はその事業を清算し、または南方に工場を移した。このことはまたボストンに於ける數多くの破產が物語つてゐる。マサチユセッツはアメリカのランカシアーとなるだらう。北カロライナ州やヂョーヂア州やアラバマ州がランカシアーの地位を占めてゐる。アメリカで消費される全棉花の七〇

%が南方の諸工場で加工された。四カロライナ州チアーロッタから百哩四方には世界のそれと同じ面積のどの地方よりも多くの紡錘が存在してゐる。織維工業の偉大な變化は二つの原因によつて説明される、即ち電力の發達と勞働力の新源泉の發見これだ。この二つの原因のうち後者は最も重要である。ニウ・イングランドの工業家達は堅く組織された外國人勞働者によつて脅かされ、勞働組合的制限によつて刺戟されてゐる。若干の工場などでは餘儀なく十五字の書面形式を取つた。かうして抑へ付けられた企業者達はその負擔を輕減するために南方諸州の未組織の新しいアングロ・サクソン勞働者豫備軍に向つたのである。南方の勞働者は多くの賃銀を要求しない——その賃銀は北方の勞働組合賃銀の半分以下である——且一日十時間勞働ときまつてゐるのだ。』序ながら、當時南方に或る事件が起り、これが企業家達を失望させた、そして前記の雜誌の編輯者は次のやうな注意を述べた論文を提供しなければならなかつた。『かう言つたことが書かれた後、カロライナ州の工場地方には激烈なストライキが起つた、これは北方の共産主義者によつて煽動されたのである。南方勞働者の未組織時代などとは過去に屬してゐるかのやうだ。』(同書四八四頁。)

最後に二十世紀に於て合衆國産業生活上大きい役割を演じてゐる建築工業を指摘する。建築事業が法外な規模に達したのは世界戰爭後であつて、當時は都鄙の富裕な層が蓄積された戰時利益で一身の幸福を築き始めたのである。殘念なことにはアメリカの統計は全國に於ける建築について總括的統計を與へない。屢々それは或る州または大都會の建築事業の狀態を示すに止まつてゐる。しかし吾々の手許にある統計は合衆國に於ける建築業の發達と意義について一觀念を得るためには充分である(22)。

單位百萬弗

年	許可を與へられた百三十の主要都市の建築價額	東北二十七州に於ける建築契約に含まれた價額	三十七州に於ける建築契約に含まれた價額	社會的施設即ち河川工事道路等々の價値
一九一四	七四八	七二〇	—	一九三
一九一九	一、三五八	二、五七九	—	三九八
一九二二	二、四三七	三、三五一	—	五三一
一九二五	三、〇六八	三、八七九	四、四八五	六八五
一九二六	三、三三六	五、〇四三	五、八二二	七一九
一九二七	二、九九二	五、四二一	六、一五一	八一一
一九二八	—	五、四七三	六、〇八三	九三二
一九二九	—	五、六四八	六、六三六	一、〇四九

(22) 表は『統計拔萃』一九二八年八〇六、八一〇頁と『最近の經濟的變化』二四五頁とを土臺として作つた第一欄の統計中には人口五萬以上の都市が入つてゐる。建築許可が與へられた建物が必ずしも建築されるとは限らないし、建築中の建物の價格が必ずしも豫定價格に合致するとも限らない、從つて揭げられた數字はたゞ近似數である——それにも拘らずその異常な發達は充分特徵付けられてゐる。第三欄の統計のなかにはワシントン、アイダホ、モンタナ、オレゴン、ユタ、ワイオミング、ネバダ、カリフォルニア、アリゾナ、

北メキシコ、テキサス州を除いて全州が入つてゐる。合衆國で締結された全建築契約の八分の七は表中で觸れられてゐる三十七州に割當てられてゐる。第四欄では一九一四年の代りに一九一三年の統計が掲げられてゐる。一九二八年と一九二九年の統計は『アナリスト』一九三〇年一月十日六一頁から取つた。

一九二五年以後は建築事業の發達は殆んど達成點に固着してゐる。それは合衆國の建築工業のかうした素晴しい發達が一時的性質を持つてをり、單に戰時の致富の結果に過ぎないといふ事實を立證してゐる。一九二八年六月カンサスで開催された共和黨大會は建築部門に於けるアメリカ資本主義の成果を最も誇つてゐた。この大會の綱領演說中では次のやうに言はれてゐた(23)。

『最近八ケ年に合衆國では三百萬戸の新家屋が建築され、そのために全部で三百億弗（毎年約四十億弗）以上も支出されました。このなかにはたゞ住宅建築が含まれてゐるに過ぎないのであります。家屋は普通舊世界では知られないやうな住心地よくできてゐます――これらの家屋は僅か數年前まではそれを所有し得るやうな富裕な少數のアメリカ人にとつてさへも贅澤と思はれてゐたものであります。吾が國の勤勞人口の間には世界の他の大强國の如何なる階級の間よりも三倍も多い家屋所有者がをります。この家屋にはイギリスの當該數の家屋に住む人よりも五〇％も多い榮養をとり、その數が十倍も多い電話を使ひ、十二倍も多い電氣を消費し、三十倍も多い自動車を用ふ市民が住んでゐるのであります。』

(23)『ニウヨーク・タイムス』一九二八年六月十三日。

共和黨の綱領演說は疑もなく勤勞新世界の狀態を讃美してゐるのだ。だからそれは家屋所有者の社會的地位の分類を與へてゐない。けれども右の演說中に述べられた新建築に關する數字的統計は事實に符合してゐるのだ。

二十世紀には工業の集中過程が猛烈なテムポで行はれた。世界戰爭がこの過程を促進した。世界戰爭開始以來十年間には年生產五千弗以上の合衆國の企業總數は殆んど變りがなかつたが、これらの企業の生產額は三倍に增加した。しかるに年生產五千弗以下の企業數はこの期間に約半減したのである(24)。かりに一九一四年を一〇〇とすると、一九二五年の全工業企業數は一六四・八に等しく從業勞働者數は一二〇・九、主要動力の能力は一六〇・七に等しいが、生產額は二六一・二にも等しい。

(24)『統計拔萃』一九二八年七五〇頁。一九一三年の國勢調査では生產額が僅か二倍しか增加しなかつた。

この生產の巨大な發達は、吾々が直ぐ見る通り、大企業のおかげで行はれたのである。左の表は大企業に於ける生產集中の一般的樣相を與へてゐる(25)。

年生産額による企業の分類	企業 數(單位千)	企業 全企業に對する%	勞働者 平均數(單位千人)	勞働者 全企業に從事する勞働者總數に對する%	生産 價額(單位百萬弗)	生産 全企業の生産額に對する%
五千乃至二萬弗						
一九〇四年……七三	三三		四一九	八	七五一	五
一九一四年……八七	四九		四二九	六	九〇六	四
一九一九年……八七	三九		二五〇	三	九四五	二
一九二五年……五五	三〇		一五六	二	六二八	一
二萬乃至十萬弗						
一九〇四年……四八	二三		一、〇二七	一九	二、一二九	一四
一九一四年……五七	二三		七九九	一四	二、五五〇	一〇
一九一九年……七八	三五		七九三	九	三、五七一	六
一九二五年……六九	二七		六六〇	八	三、二七二	五
十萬乃至百萬弗						
一九〇四年……二二	一〇		二、五一五	四六	六、一〇九	四一
一九一四年……一七	三三		三、〇二二	四二	八、七六二	三六
一九一九年……四九	三三		二、八三四	三一	一五、三三二	二五
一九二五年……五二	二八		二、八〇七	三二	一六、四四六	二六
百萬弗以上						
一九〇四年……二	一		一、四〇〇	二五	五、六二八	二八
一九一四年……四	二		二、四七六	三五	二、七九四	四九
一九一九年……一〇	五		五、一七二	五七	四二、三〇一	六八
一九二五年……一一	六		四、七六〇	五七	四二、三六六	六八

(25) 表は『合衆國第十四回國勢調査拔萃』一、〇二〇頁及び『統計拔萃』一九二八年七五〇頁を土臺として作つた、一九二一年以來年生産五千弗以上の企業については統計家は統計を與へてゐない。一九一四年にかういふ企業は九萬七千と推算され、それに從事する勞働者數は十三萬人に當つてゐるが、生産額は二億三千三百萬弗に當つてゐた。一九一九年の當該數は次のやうになつてゐる、六萬五千企業、四萬五千人、一億六千七百萬弗、だが一九二一年には五萬四千企業、四萬一千六百人、一億三千六百萬弗〔訂〕。

この表は大企業に於ける資本主義的生産の急速な集中過程を一見明瞭に示してゐる。二十世紀の二十年間に年生産五千弗乃至二萬弗の企業はその生産が五分の一も絶對的に減少し、相對的には

（全工業に對する比率關係では）五倍も減少した。年生産二萬弗以上十萬弗以下の企業はその生産が一倍半も絶對的に增加したが、相對的にはその數が約三倍も減少した。本當に絶對的增加を示してゐるのは、その年生産が十萬弗以上の企業のみである。しかしこの場合にも最大の發達を遂げたのは年生産百萬弗以上の企業であつて、その生産額は同一年度に約八倍を增加した。しかるにそれと照應して年生産十萬弗以上百萬弗以下の企業は僅か三倍しかその生産を增加しなかつた。最後に若し最後の範疇の企業を二つの集團に分けて、年生産十萬弗以上五十萬弗以下の企業と五十萬弗以上百萬弗以下の企業とすると、吾々は次のことが分る、即ち主要な發達を遂げてゐるのは第二群であつて、第一群の企業は一九〇四年から一九二五年までにその生産額を一倍半絶對的に增加してゐるが、相對的には約三倍も減少してゐること(27)、即ちそれは年生産二萬弗以上十萬弗以下の企業とほゞ同樣な地位にあること。

(27)『合衆國第十四回國勢調査拔萃』及び『統計拔萃』一九二八年同所。〔原文註26なし〕

二十世紀に合衆國には極めて巨大な生産が發達してゐる――新らしい各大企業の年生産額は五十萬弗を下らない。年生産十萬弗以上五十萬弗以下の中企業は二十世紀の第一四半期にその生産高を僅か一倍半しか增加しなかつた。中以下の企業（年生産五萬弗以上十萬弗以下）と同じく苦境に遭遇してゐる。なぜならばこれらの年の間に工業品の一般的價格指數は約二倍も騰貴したからである――年生産二萬弗以下の企業はいふまでもない。これらの企業は獨占資本主義時代には文字通り萬人の眼から消え去りつゝある。

比較的繁榮してゐるのはその――各個々の――年生産額が百萬弗以上の範疇の企業ばかりである。これらの企業は同時期に同國の製造工業に於けるその生産比重を殆んど二倍も增加し、二十世紀の第一四半期の末には合衆國全工業生産の三分の二以上の生産をしてゐる。しかるに殘餘の範疇の企業の比重はこれらの年の間に確實に減少した。

㈡ トラスト

生産集中と並んで工業トラスト化過程が引續き行はれてゐる。

その掌中に大企業を集中した株式會社の發達がトラストの發達を促進してゐる。世界戰爭終熄後はコーポレーションの掌中にある企業が合衆國製造工業生産の約九〇%を生産した。このことは次の表から分る(28)。

企業の所有者	企業 數（單位千）	企業 全企業に對する％	勞働者 平均數（單位千人）	勞働者 全工業に從事する勞働者數に對する％	生産 價額（單位百萬弗）	生産 全工業生産額に對する％
個人						
一九〇四年	一二三	五三	七五六	七	一、七〇二	一二
一九一四年	一四二	五二	七〇八	五	一、九二五	八
一九一九年	一三八	四八	六二三	四	三、五二六	五
コーポレーション						
一九〇四年	五一	二四	三、八六三	七六	一〇、九〇四	七四
一九一四年	七八	二八	五、六五〇	七三	二〇、一八三	八三
一九一九年	九二	三一	七、八七五	八六	五四、七四四	八八
自治市その他						
一九〇四年	五一	二四	八五〇	二	二、一八七	一五
一九一四年	五五	二〇	六七九	一三	二、一三八	九
一九一九年	六〇	二一	五九八	一〇	四、一三七	七

（28）『合衆國第十四回國勢調査拔萃』一、〇二一頁。コーポレーション企業數中にはあらゆるトラスト化された工業が入つてゐる。株式會社の發達は疑もなくトラスト化過程を容易化し促進してゐる。株式會社は個人會社よりも一層その『主權』を無視してゐる。

右に掲げた數字から分ることは、コーポレーションの掌中に最大の工場が集中されてをり、全企業の三一％が全生産の八八％を生産し、工業に從事する勞働者總數のやはり同一比率（八八％）をもつてゐることだ。各工業の年平均生産額は一九〇四年には一萬五千弗、一九一四年には一萬三千五百弗、一九一九年には二萬五千六百弗に當つてゐた。コーポレーション企業の當該數は二十一萬三千弗、二十五萬八千弗、五十九萬八千弗であつた。

二十世紀の工業結合はその形式の點から言つても、またその巨大な規模から言つても、十九世紀のトラストとまるでちがふ。二十世紀の初頭に當つて工業コーポレーションの同國經濟生活に對する統制は非常に擴大され、合衆國は獨占資本主義の典型的國家となつてゐる。

非常なセンセーションを捲き起した反トラスト法も單に廣汎な大衆の抑壓と不滿とに對する欺瞞と策略でしかない。最初に現れた一八九〇年の聯邦反トラスト・シアーマン法は事實上はトラストの發達に大いに拍車をかけたのだ。既に吾々は前章で指摘したやうに、一八六〇——一八九〇年の間に合衆國には四億三千六百萬弗の資本を擁する僅か二十四の工業結合が組織されたに過ぎなかつ

After anti-trust Law.
< Coporation
Holding Company.

た。しかるにシアーマン法發布後十年には三十一億五千萬弗を擁する百五十七の新結合が發生したのだ。だが最大の工業結合が發生したのは十九世紀末二十世紀最初の數年である。運命は意地惡く皮肉にも、トラストとの『闘爭』十年間に世界にも有名なトラスト巨人『合衆國鋼鐵コーポレーション』(United States Steel Corporation)が發生してゐるのだ。

シアーマン法發布後『トラスト』といふ文字は『大コーポレーション』とか『持株會社』(Holding Company)とかいふ言葉にとつて代られてゐる。本質的には新らしい名稱の結合はより強力に強固に且つ獨占的になつた。『持株會社』をトラストから外面的に區別するものは、組織の首腦となるものが評議員(Trustees)會議の代りに重役會議であつて、この會議は舊結合形態の場合に機能してゐたところのトラスト證券の代りに株券を自己の統制下においてゐるといふことに歸着する。本質的には新形態の結合は金融資本と産業資本との急速な癒着過程の結果である。それは銀行のヘゲモニー時代が現れつゝあるといふ事實を確證してゐる。大銀行の統制下にある新工業結合の具體的例證としては一九〇〇年から一九〇四年の間に發生した巨大なトラスト、『ユー・エス・スティール・コーポレーション』、『アメリカ・カン會社』(The American Can Co.)、『國際農具會社』(The International Harvester Co.)、及び『國際ニッケル會社』(The International Nickel Co.)が役に立つことができる(29)。

(29) この期間には以前のトラストが再組織された、煙草トラスト、鹽トラスト、石炭トラスト、肉類トラスト等が。

鋼鐵トラスト「ユー・エス・スティール」は合衆國に於ける最も典型的な現代的工業結合である。それは二大コンツェルン即ち聯邦鋼鐵會社とカーネギー鋼鐵會社とから組織された。前者の會社は一八九八年に創立され、一億弗の資本金を所有してゐた、後者は一九〇〇年に發生し、一億六千萬弗の資本を擁してゐた。やがて右の會社の重役達即ちゲーリー、カーネギー及びシュワップは彼等のコンツェルンが合衆國の諸條件の下ではその價格市場を統制するためには力が不充分であるといふ確信に達した。彼等は融合して、新らしく十億弗の資金を擁する强力な結合を創立することを決意した。しかしこの計劃を完成するためにはカーネギーや聯邦鋼鐵會社やその他當時の鋼鐵會社が所有してゐないやうな巨額の貨幣を必要とした。そこでゲーリー、カーネギー及びシュワップは同國の大銀行家——モルガン——に救を求めて、同銀行家をして計劃中の新企業に金融を與へさせるべくもくろんだ。かうして一九〇一年にヂェー・ピー・モルガンは新らしい巨大な鋼鐵トラストの首腦者となつた、このトラストは聯邦鋼鐵會社、カーネギー鋼鐵會社及びその他のコンツェルンが合併

して出來上つたのである。一九〇二年に鋼鐵トラストの全資産は十五億四千六百五十四萬四千弗に等しかつたが、一九二九年にこの數字は二十四億四千二百萬弗に增加した。鋼鐵トラストはその鋼鐵生産の點では世界最大のコンツェルンである。もつとも國民鋼鐵生産に對するトラストの割合は漸次減少してゐるが――その生産は擴大してをり、しかもその收入は增加した。鋼鐵トラストの發達を示す若干の數字を揭げる(30)。

年	鋼鐵トラストの生産 銑鐵 (單位百萬噸)	鋼鐵トラストの生産 鋼鐵 (單位百萬噸)	合衆國全生産に對する% 銑鐵	合衆國全生産に對する% 鋼鐵	純收入 (單位百萬弗)
一九〇二	七	九	四三	六六	一三三
一九一〇	一三	一四	四三	五四	一四一
一九二〇	一五	一九	三九	四六	一七七
一九二三	一七	二〇	四一	四五	一七九
一九二六	一六	二〇	四〇	四五	一九九
一九二八	一五	二〇	四〇	四〇	一九三
一九二九	―	―	―	―	二五九

(30) 『ウォール街雜誌』(Wall Street Journal) 一九二九年六月一日、『アナリスト』一九三〇年一月三十一日三二〇頁、『商業雜誌年評』(Annual Review of Journal of Commerce) 一九三〇年一月三日二三頁、『株式取引所年鑑』一九二九年二、〇〇八頁また『ニウヨーク・タイムス』一九三〇年三月十七日。

吾々は異常に發達した時――戰時――を表から除いた。だが同樣に不況や恐慌の年度も除いた。一九一六年の吾々の表の當該數は一八、二一、四五、四九、三三三、(一九一六年に鋼鐵トラストについて記錄がある限りでは)、一九二一年には九、一一、五二、五五、九三、一九二四年には一三、一六、四〇、四五、一五三、だが一九二七年には一四、一八、三八、四二、一六四である。

鋼鐵トラストの純收入とはこの場合純收入(Netincome)を意味し、租稅も含まれてゐる。租稅をふくまない收入(純利益 Netprofit)は一九二八年に一億一千四百萬弗に等しく、一九二九年には一億九千八百萬弗に等しかつた。ピフレーム・コーポレーションの純收入は『純利益』となつてゐる。

鋼鐵トラストは自分自身の鑛山、炭坑、セメント工場及びその他の會社をもつてゐる。同トラストに屬してゐるのはオーバランド地方及びアラバマの鑛山、種々な州の鐵道、ペンシルヴァニヤ及び西ヴァヂニアの石油及び瓦斯企業、ブラジルのマンガン鑛山、約二千哩の鐵道、三十四隻の大洋汽船及び五百隻以上の內國航路船である。一九二八年の初に同トラスト所屬企業には百九個の熔鑛爐、三十二個のベッセマー式轉爐、三百三十五個の『開放式熔鑛爐』、五百七十一個の鍛練工場、七十五個の製線工場及び五十一個の製管工場等が算へられた。一九二八年には鋼鐵トラスト所屬會社の鐵鑛採掘は二千七百萬噸、石炭採掘は二千九百萬噸に當つてをり、しかもセメント生産は一千五

百萬樽に當つてゐた。その存續中に鋼鐵トラストは他の幾多の小企業を併呑した。一九二九年十月三十一日には『コロンビア鋼鐵コーポレーション』を合併したが、その會社の生産能力は年約三十五萬噸の鋼鐵に當つてゐた。

二番目に大きい鋼鐵コンツェルンは『ベスレヘム・スティール・コーポレーション』(Bethlehem Steel Corporation)であつて、合衆國全鋼鐵生産の約一五%を生産してゐる。このコーポレーションの總收入は一九二九年には一九二八年の一千八百五十八萬五千九百二十二弗に比べて四千二百二十四萬二千九百八十弗に當つてゐた。一九二九年十二月には同會社はその年生産能力鋼鐵三十八萬噸の二つの會社即ち『大平洋岸鋼鐵會社』(The Pacific Coast Steel Co.)と、『南カリフォルニア銑鐵及び鋼鐵會社』(The Southern California Iron and Steel Co.)とを合併した。

第三の地位を占めてゐるのは一九二九年の末に發生した新鋼鐵トラストである。それは『共和國銑鐵及び鋼鐵會社』(Republic Iron and Steel Co.)、『セントラル・アーレー鋼鐵コーポレーション』(Central Alloy Steel Corporation)、『ドナー鋼鐵會社』(Donner Steel Co.)及び『バーン・フラー鋼鐵會社』(Burne Fuller Steel Co.)から形成され、『共和國鋼鐵會社』と名付けられた。同トラストは原料から完成品に至るまでの種々な生産段階を包括してゐる一聯の企業を結合してゐる。新鋼鐵トラストの資本金は三億五千萬弗に等しく、年生産額は約二億五千萬弗、しかも年生産能力は鋼鐵四百萬噸、銑鐵二百四十萬噸に當つてゐる。鋼鐵トラスト、ベスレヘム鋼鐵コーポレーション及び共和國鋼鐵會社は合せて合衆國全鋼鐵生産の約三分の二を生産してゐる。

なほ他の大コンツェルンに簡單に論及しやう。――『國際農具會社』、これは鋼鐵トラスト結成後數年間に形成された。農具の國際會社所謂『ハーヴェスター・トラスト』は一九〇二年にニウヂァーヂーに設立された。このトラストの構成員には合衆國に於ける全農業用機械の八五%を生産するところの五つの大會社が入つてゐた。『ハーヴェスター・トラスト』の株式資本はその組織當時一億二千萬弗と評價されてゐた。一九〇七年にはその半額が優先株に變つた。一九一〇年に同トラストは平株の配當がその額面價格の三分の一に當つてゐると闡明した。この時期に『ハーヴェスター・トラスト』は農業用機械を生産する他の諸々の會社を合併することに成功した、即ち一九〇三年にオスボーン會社、一九〇五年にミニー會社、オートマン・シェーラー會社及びケーイストーン會社その他の會社これである。『ハーヴェスター・トラスト』はその商品輸出を世界の津々浦々にまで擴大するために懸命に努力を拂つた。しかし外國の關稅障壁はやがて同トラストをして外國に於ける農業用機械生産の組織に着手させるに至つた。この任務は外國會社の買收と外國に當該工場を建設すること

によつて達成された。一九〇三年に『ハーヴェスター・トラスト』はカナダに大農業用機械工場を建設した。最近はまたフランスにドイツにロシアにその他の諸國に工場が建設された。

大コンツェルンのうちまた砂糖トラストを指摘しなければならない、この株式資本は一九〇〇年に九千萬弗に當つてゐた。このトラストは合衆國で巨大な政治的役割を演じてゐる。

『スタンダード石油』については前章で述べた。こゝではたゞ、二十世紀の初にはその資本が約一億弗に當つてゐたことを指摘しやう。『スタンダード石油』が發生した時(一八八二年)から一九〇六年までの間のその純收入は八億三千八百七十八萬三千七百八十二弗に等しかつた。一九〇六年に先立つ十年間に『スタンダード石油』の利益は會社資本總額を四八乃至八四%も增加し、その額年平均六千萬弗に當つてゐた(31)。

(31) イー・ローンズ『合衆國に於けるトラスト問題』(The Trust Problem in the United States) 八九——九〇頁及び『ニウヨーク・タイムス』一九二九年五月十日。

一九一一年の『スタンダード石油』の公式解散後その收入は更に激增した。一九一二年から一九二九年までのその收入は三十五億九千萬弗に等しく、これは年平均二億弗に當つてゐた。一九一二年に『スタンダード石油』の株式は約十億弗であつたが、一九二九年には四十億弗以上になつてゐた。

吾々は前章でまたシアーマン法が鐵道結合に與へた好影響を指摘した。一九〇〇年に合衆國の鐵道の半分以上は六つの金融會社によつて統制化された。空虛な反トラスト法案と並んで鐵道及びその他の會社を統制すべき聯邦商業委員會も無爲無能であつた。合衆國が交戰國に加盟した時アメリカの政府は鐵道會社の機能に對する統制を確立した。この場合鐵道所有者に前三年間の平均純利益に等しい賃借料を支拂つた。事實上この統制は鐵道を單一國民經濟體系に統一することを意味してゐた。單一運賃率の確立によつて反大鐵道結合法は無効を宣告されたのだ、なぜならば、この法津の意義は歸するところ個々の鐵道線間の競爭を激化することにあつたからである。國家が鐵道統制をやつた時(一九二〇年)法律を發布して、聯邦商業委員會にその過去の公式的目的と任務とに全く相反する諸々の機能を課した。聯邦商業委員會は運賃率を確定して、鐵道所有者に投下資本に對する六%の配當を保證しなければならなかつた、しかもこの配當は個人的線路には保證されないで地理的原則に基く團體的結合的線路に保證されたのである。

合理化の名の下に鐵道集中の强化が始つた。一九二四年にバン・スヴェリンゲン兄弟はモルガンの金融を得て次のやうな重要鐵道を合併して一團とした、即ちニウヨーク・シカゴ・セントルイス、イーリー、チェズピック・オハイオ、『ペル・モルケット』。この團體は十二億五千萬弗と評價された九

千哩以上の鐵道線路を持つてゐた。集中は引續いて行はれた。一九二七年の初(二月)に『ニウヨーク・ヘラルド・トリビューン』紙は、モルガン・ベーカー銀行が三萬五千哩の鐵道線を結合し、その價格三十六億五千萬弗と計算した。この場合右の新聞はかう指摘した、『結合の構成部分はニウヨーク・セントラル、バルテイモア・オハイオ、所謂バン・スヴェリンゲン線である。この鐵道團はミシシッピと北大西洋岸との間にある各重要工業中心地を貫通してをり、廣漠たる土地と豐饒な領土の重要な水路とを結合してゐる。』

最後に一九二九年十二月に聯邦商業委員會はアメリカ鐵道を結合する新計畫を許可した。この計劃は既存の結合を大いに強化し、南方鐵道に對する北方會社の統制を強化する目的を持つてゐた。

大自動車コンツエルンの規模については前に論及した。なほ合衆國の電話會社の九九%以上を統制してゐるアメリカ電話電信會社(American Telephone and Telegraph Co.)を指摘しなければならない。一九二八年にこの會社の資産は約二十億弗に當つてをり、しかもその收入は一億四千三百萬弗に等しかつた(32)。この大結合はまたやがて見るやうにモルガン・ベーカー銀行團に統制されてゐる。

(32)『アメリカ電話電信會社四期報』一九二八年及び『聯邦準備報告』一九二九年三月。

最後に、戰後合衆國の動力會社が國内でもラテン・アメリカ諸國の領土でも途方もない侵略振りを發揮してゐる。このうち最大の地位を占めてゐるのは有名な『ヂェネラル・エレクトリック』である。動力社會は最近二十年間の産物である。しかしすでに現在合衆國の經濟並びに政治上巨大な役割を演じてゐる。一九二七年に合衆國には四千三百六十二の動力コーポレーションが數へられ、そのうち三千百八は四十一の『持株會社』によつて統制されてゐた。後者は全電力生産の八二%をその掌中に收め、人口の八三%に電氣を供給してゐた。三十五の最大コーポレーションが結合されて六つの巨大動力コンツエルンとなり、それは電力の六三%を生産し、合衆國人口の六八%に電氣を供給した(次表參照)(33)。

六動力結合名	統制會社數	生産キロワット數(單位百萬)	一九二六年に供給を受けた人口數(單位千人)
ヂェネラル・エレクトリック	八	一三、四七四	一九、一三五
インスル	七	七、七三四	一一、三三六
モルガン	四	四、一三一	一四、一九七
メロン	二	二、四〇九	二、七九〇
バイリスビ	一	二、一五八	二、四七二

(33)『歴史の潮流』(Current History) 一九二九年四月四日四〇——四二頁。

最近三年間に大動力會社による小動力會社合併過程はなほ一層進んだ。一九二九年に鋼鐵トラストを指導してゐるその同じモルガン銀行家の指導の下に新らしい巨大な動力トラストが形成された。一九二九年十一月に『明日の世界』(The World Tomorrow) 誌は次のやうに書いてゐる。

『最近アメリカのどの工業部門にも動力工業ほど合併過程が急速なところはない。つい昨日までは電力會社の活動領域が數十の獨立會社の間に分割されてゐた。しかるに今日はこの工業を研究してゐる人々はモルガンの東部に對する利益だとか、インスルの中央大陸に對する利益だとか、第三團體の大平洋岸に對する利益だとかを口にしてゐる。動力トラストの發達は本年七月資本金四億五千萬弗を擁し、ヂェー・ピー・モルガン商會に統制されてゐるナイヤガラ・ハドソン動力コーポレーションが組織されて以來新たに拍車を加へられた。モルガン商會はバアハロー、ナイヤガラ、東部、東北部及びモホ！ク・ハドソン動力會社を合併した。かうして國際銀行家ヂェー・ピー・モルガンはウエストチエスター伯爵領以北の大多數の電燈力會社に對する支配力となつた。同時にモルガン統制會社はセント・ラブレンティア會社を合併した。これらと關聯してニウヨーク州にはナイヤガラ・ハドソンを除いては少數の會社しか殘つてゐない。』ニウヨーク州知事ルーズヴェルトの言明によると、州の全水力の約八〇%はこの大銀行コンツェルンによつて統制されてゐる。事實——『ニウヨーク・タイムス』が示してゐるやうに——モルガンの影響はモッスル・ショールスを除いて東部及び西部の至るところで著しく強く感じられてゐる。廣大なモルガン體制はニウヨーク・ペンシルヴァニヤ、ニウヂアーヂー、南方及び東南諸州を結合してゐる。ペンシルヴァニヤ及びニウヂアーヂー州では瓦斯その他の會社を通じて統制が行はれてゐる、しかるにモルガン家の統制下にある『ユーナイテッド・コーペラチォ』及び巨大な社會的利用株式會社は多方面の株主を通じてその影響力を擴大してゐる……特徴あることは大個人銀行と利益のあがる電氣會社との間の密接な同盟であつて、それはモルガンとメロンと國内の種々な地方に於ける社會的利用會社の結合との間の協働を促進してゐる。』

反トラスト法は事實はトラストを合法化したのだ。一八九〇年のシアーマン法並に後で抹用されたこの問題に對する法案はアメリカ工業のトラスト化過程を促進したに過ぎない。ハミルトン協會

々長エレミー・イエンクスはこの問題に對する專門家であり、しかもトラストとの醜關係などゝいふ疑は全然かけられてゐない人であるが、彼は一九二八年に書いた。

『獨占反對のために採用された諸方策を概觀すると、反トラスト政策がこつぱみじんとなつてゐるのを見るのである。』(34)事實シアーマン法は言ふ、『トラスト又はその他の形態をとつた各契約、結合或は秘密會社にして苟も個々の州間或は外國との商業を制限する目的をもつものは不法と宣告される。』かういふシアーマン法の定式化は獨占を減少しなかつたばかりか、對勞働者階級との鬪爭のために新らしい切札を大資本の掌中に與へたのである。最初シアーマンの反トラスト法は一八九四年の鐵道ストライキ反對のために利用され、デーヴィスその他の歷史的ストライキの指導者達はストライキが合衆國の國內商業及び外國貿易を制限するといふ理由で捕縛されたのだ。丁度一年を經て裁判所は合衆國の全精糖事業の九八%をその掌中に收めてゐる砂糖トラストを是認した。同トラストはその工場生產物に對して獨占價格を設定したといふことで非難された、——吾々がやがて見るやうに——砂糖トラストの社長自身はそれを否定しなかつた。しかし裁判所の決定に曰く、充分な調査の過程に於て精糖生產に獨占が存在することは闡明されたが、砂糖商業には獨占の存在が證明されなかつた、從つてこの場合シアーマン法は効力をもつてゐないと。

(34) 『工業發達の一世紀』二九〇頁。

裁判所がシアーマン法に基づいて形式的に獨占團に判決を下した時（一八九五年の交通運賃協會事件、一九〇四年の『ノーザン擔保會社』事件、その他）でさへも、會社は本質的には何の損傷も受けなかつた。それらの會社はたゞその形態を變へたゞけであつた。この點についての良い例としてはスタンダード石油が役に立つことができる。一八九二年にオハイォ州高等法院は同會社を不法なりと宣告した。しかし同トラストは依然として存續してをり、たゞ一八九九年に持株會社に改造したゞけである。一九一一年にスタンダード石油は再び合衆國高等法院の攻擊を受けた。その時トラストは形式的には三十八個の獨立會社に解消したが、事實上は今日までも存續してゐるし、しかもその活動と勢力範圍は爾來著しく擴大されたのだ。

有名なクレートンの反トラスト法もこれと同じ運命を辿つた。一九一二年の大統領〔選擧〕カムパーニアに獨占の問題が大きい地位を占めた。政權を握つてゐる民主黨は小ブルヂョア大衆に形式的にでも代償を與へなければならなかつた。彼等は小ブルヂョア大衆に選擧中非常に大まかな約束を與へたのだ。この結果一九一四年十月にクレートン法が發布された。この法律はシアーマン法の正當性を主張した。その上同法は、この點に關する國策は舊トラストを清算し、新トラスト發生を

防止することにあらねばならぬと附言した。最後に前に論及した聯邦商業委員會の監視の下にコーポレーションを統制する特別機關が創設された。だが實際は當時の民主黨政府はトラストの行動を露骨に促進する方針を取つたのだ。世界戰爭と關聯してやつて來た高景氣は獨占に對する小ブルヂョアの反對を中和させた。ヂァーナリズムやクラブ、劇場や映畫、學校や大學は大工業結合の社長を產業の大將(Captain of Industry)と賞讃し、大事業(big business)の指導者を繁榮アメリカ主義の天才と賞め出した。政府もやがてシァーマン法やクレートン法はたゞ『不名譽』なトラストに係り合ふだけだと言明した。同じ政府の間接の指導の下に、相互に競爭し合つてゐる個々の鐵道會社が社會的國民的規模の結合に變化させられた。工業結合は漸次合法化された。一九一八年に高等法院は、機械製靴トラストをそれが特許をもつてゐるといふ理由から合法的なりと宣告した。一九二〇年に法院は鋼鐵トラストの行動が『合理的』(in the light of reason)であり且商業を制限しないと判決した。かうして大トラストはウィルソンによつて『名譽ある會社』の欄に並び、法律の保護を受けるやうになつたのである。民主黨は『名譽ある會社』を擁護するといふ形で今日までトラスト保護綱領を遂行してゐる。一九二八年六月ゴーストンに於ける最近の國民會議で採用された民主黨の綱領に曰く(35)。

『名譽ある事業はその規模と數量の如何を問はず民主黨政府によつて迫害されはしない。民主黨は常に非合法、不名譽な事業を迫害するだらう。しかもそれと同時にあらゆる合法的な有利な企業を奬勵するだらう。』

(35)『世界』(The World)一九二八年六月二十九日。

共和黨の選擧スローガンは『大事業』といふことであつたが、この共和黨が一九二〇年の大統領選擧に勝を制した時『名譽ある事業』などといふ假面の下に隱れる必要がなくなつた。共和黨員にとつてはあらゆる大事業が名譽ある事業であつた。一九二三——一九二六年の間に合衆國では反トラスト法違反にかゝる三十三件の訴訟が行はれた。すべてこれらの事業は比較的少さいものであつた。右の訴訟のうちどの一つにでも前に述べたトラストにも比較することができるだらうやうな大コンツェルンが被告として現れなかつた。その上、これらの訴訟のうち二つは勞働組合に關聯してゐた。大トラストは合法的なりと宣告された。一九二七年六月に裁判所は合衆國農業用機械の生產及び販賣の半分以上を統制してゐる『ハーヴェスター・トラスト』が社會の利益に對しても『合法的に活動してゐる』と聲明した。大會社との鬪爭はせいぜいのところ形式的性質しかもつてゐない。吾々が少し前に言及したハミルトン協會の同じ會長は一九二八年にそのトラスト概觀の終りで

次のやうに書いた(36)。『現代のトラストは恐らく社會的反抗のおかげで古い事業を新しい名の下に續行してゐるのだ。支配的實踐はその存在の立證が容易でないやうな結合や非形式的コーポレーションに有利である。』

(36)『工業發達の一世紀』二九六頁。

トラストは、何よりも先づ、獨占價格を確立する。既に前世紀の末砂糖トラスト會長ヘップマイヤーは上院で言明してゐる。『吾々は合衆國の砂糖價格を統制する任務をもつてゐる。このことはつきり言明しなければならない。』そして更に、合衆國の砂糖消費者はどれだけ過剰に支拂ふべきかといふ問題に對してヘップマイヤーは答へた、『私は言ふだらう――この三年間に二千五百萬弗と。』(37)十九世紀の末はこの金額が問題となつた。二十世紀の二十年代に吾々はもつと著大な金額をもつてゐる。アルミニュームの獨占的生産はアルミニューム會社によるのだが、マック・カンバー關稅採用（一九二二年九月）後一年にアルミニュームの價格はニウヨークで四五％も騰貴した。鋼鐵トラストは新關稅の効力發生後その生産物の價格を非常に釣上げたので合衆國に於ける銑鐵及び鋼鐵生産物の年消費額は十億弗も增加した(38)。

(37) ピー・ペテグルー『勝誇る詐欺師』七八――七九頁。

(38) エル・ヘーンズ『上院に於ける貴下の召使』七八――八五頁。

經濟的至上權を握つてゐるトラストは合衆國の全政治生活を統制してゐる。彼等は聯邦及び地方の立法部、知事及び裁判所、高等學校及び大學をその掌中に握つてゐる。各大コーポレーションはワシントン及び個々の州の立法的會合に自分の代表者 (lobbies) を持つてをり、國の津々浦々にゐる公式非公式の派遣員の巨大な國家をもつ大きい宣傳機關を維持してゐる。この問題については既に吾々は破産に關する章で特に論及した。たゞ若干の大トラストの政治的活動と影響とを示す具體的事實をあげるに止める。一九二九年九月に上院議員ノーリスは動力會社の宣傳活動を研究する委員會の勞作の結果を發表した。この委員會は全國津々浦々、學校にも大學にも動力會社の宣傳網が張られてゐることを確認したばかりでなく、議會で個々の法案が採用されまたは否決するためにどれだけの金がばらまかれたか、殊に『モッスル・ショールス』及び『ボルデル・ダム』の維持に關する法案を否決するに當つて四十萬弗の金が政府筋の掌中にばらまかれたことをはつきりと暴露した(39)。

(39)『國家』(The Nations) 一九二九年九月十八日。

ノーリスの暴露も動力會社の侵略的行動を決して弱めはしなかつた。すべてが自然の成行きであ

る。破産――これが獨占の不可避的航路だ。アメリカの住民はこの事實を既に古くから知つてゐた。

トラストは議會や高等法院や合衆國のすべての國家機關によつて保護されてゐる。上院議員ペテグルーはトラストに對する抗爭の無駄なことを示しながら、次の結論に達してゐる(40)。

『一八九〇年シアーマンの反トラスト法が採用された瞬間から現在までの全立法を注意深く概觀して、私は次の確信に達した、即ち議會は結局トラストの破壞よりもむしろその保護に努めたこと、議會の政策はアメリカ國民を搾取するこの强力なシンヂケートを發展助長したこと。私が上院を出る前そこではトラストを「有益な施設」だと話してゐた、今やトラストを吾が文明の防塞と見てゐる。一八八七年の法律に含まれてゐるかも知れないあらゆる可能性は高等法院の所謂「理性的」説明と共にけしとんでしまつた。高等法院の説明によると、法律の制定者は「營業の制限」などは考へてをらず、たゞ「不合理な營業の制限」を考へてゐるばかりであるさうだ。最後に一九二〇年には國策がそれを要求するといふ理由から鋼鐵トラストの生命を維持することが決定された。釀し出された狀態を紹介するためには裁判所の判決を説明した後ハーリー判事が與へた會見談よりもよいものを見出すことはできないだらう。曰く、「下された判決は私有權の確實性と工業的イニシアティーヴの自由な發展の可能性に對する無限の確信といふ感情を作り出してゐる」と。』

(40) ピー・ペテグルー『勝誇る詐欺師』七八――七九頁。

三　銀行

巨大な工業コンツェルンの發生は合衆國の信用體制の結合問題と密接に癒着してゐる。獨占トラストに結合された大工業資本は强固な安定ある金融的支持者を要求した。工業獨占を指導する銀行家は銀行體制が個々に分離し分散してゐたのでは、トラストに必要な資金を動員することも、不斷に供給することもできない。二十世紀の初合衆國には約三萬の獨立銀行が數へられた。その銀行券は流通手段として作用したが、銀行券の發行は甚だ伸縮性を缺いて行はれてゐた。發行は屢々市場の需要に順應しなかつたが、それはそれで物價の異常な變動を惹き起した。合衆國の信用體制が不完全なことは殊に工業恐慌の時期に感じられた。一八七三年及び一八九三年の恐慌、一八八四年の不況は一聯の大小銀行の破産を伴つた。一九〇七年の恐慌年度には取引所恐慌が一層大きい力を振つた。その結果銀行狀態の强化といふことが緊急に日程に上つた。一九〇八年にオールドリッチ法が議會を通過した。この法律の意義は次のことにある、即ち不況期に信用界で異常な强化を要する時には、州及び市貨幣證券によつて保證された充分な銀行券を發行することを銀行に許可すること

これである。この領域でもう一歩進めたのはウィルソンの時である。一九一三年十二月に聯邦準備制度の組織に關する法案が通過した。この法律は合衆國の金融資本の經濟的政治的權力を強化するといふ目的を持つてゐた。この法律は銀行券發行に關して廣汎な權力を結合された銀行資本に與へた。それはこの點についてどの議會も長い間個々の銀行に對して拒絶して來たやうな權利を彼に付與したのだ。

聯邦準備制度は十二の地方銀行から成つてゐる。それらはニウヨーク、ボストン、フィラデルフィア、クリーヴランド、リッチモンド、アトラント、シカゴ、セントルイス、ミネアポリス、カンサス、ダーラス及びサンフランシスコに所在してゐる。各準備銀行は九人から成る重役會議によつて管理され、そのうち六人は銀行から選出され、他の三人はワシントンにある聯邦準備會議によつて指名される。聯邦準備會議は七人から成つてゐる、即ち財務長官、貨幣流通統制官及び合衆國大統領によつて指名された他の五人。各準備銀行は銀行の銀行たる役割を演じ、聯邦準備制度の加盟員となつてゐる該地方の全銀行を結合し、彼等の準備金を保管し、信用を供給する。かうして全國の資金の高度な集中が達せられたのだ。

聯邦準備制度は金融資本の世界最大の組織である。一九二九年の末同銀行及び三十五ヶ國の大藏省の金保有高は約百億弗に當つてゐた。最近二ヶ年間にアメリカの金保有高は減少したが、それにも拘らず四十三億六千六百萬弗といふ金額は合衆國に割當てられてをり、しかもそのうち三十億弗は聯邦準備銀行の所有に屬してゐた。一九二七年に合衆國の金保有高は四十五億八千七百二十九萬八千百五十三弗に等しかつたが、一九一三年には僅か十八億七千萬弗に過ぎなかつたのである。聯邦準備制度に加盟してゐる全銀行の總資金はその成立後最初の十五年間に四倍も增加した。それは一九二七年に四百五十億弗に等しく合衆國銀行の全資金の五分の三以上に當つてゐた。同國全銀行の債權及び投資は一九二九年十月に五百八十八億三千五百萬弗に等しかつたが、そのうち三百五十九億一千四百萬弗は聯邦制度加盟銀行に割當てられてゐる(41)。こんな手段を握つてゐる聯邦準備銀行は常に活動することができ、恐慌時には長く持ちこたへることができる。他面に於て、預金者は準備銀行の力を非常に確信してゐるから、恐慌時にも彼等は以前ほどその預金を引き出さない。一九二一年の恐慌年度には聯邦準備制度の加盟員でなく殆んど例外的に小さい銀行が破產した。一九〇七年の恐慌には百三十二の銀行が破產し、その資本二億三千三百萬弗であつたが、それに比べて一九二一年には四百四の銀行が破產したが、その資本は僅か一億七千三百萬弗に過ぎなかつた。

(41)『聯邦準備報告』一九三〇年一月四十五頁及び『商業雜誌』一九三〇年一月の附錄。

聯邦準備銀行はその金庫に八千七百行の準備金を集中してをり、巨大な單一動員資金の助をかりて諸機關の信用業務を調整し援助する機能を根本にもつてゐる。誰が彼等の援助を享有してゐるのか、どんな人間どんな團體にそれは奉仕するか？　この問題に答へる前に、聯邦準備制度の加盟員たる銀行を一瞥しなければならない。

合衆國の全銀行は聯邦政府の恣意の下にある國立銀行と個々の州法によつて組織された州立銀行（この中に信託會社も入る）と聯邦農業信用會議の指導の下に活動してゐる農業銀行と準備銀行とに分れる。聯邦準備銀行の加盟員は全國立銀行と個々の州の大銀行とである。

一九二九年七月一日同國で業務を營んでゐた二萬五千三百二十個の銀行のうち準備銀行加盟員は僅か八千七百行であり、しかも非國立銀行はたつた約千行であつた。準備制度外に最少銀行の大多數が殘されてゐた。準備制度加盟銀行のうち二百五十行はその資金が三十三億四千萬弗に等しく、合衆國銀行の總資金の半額よりもあまり少くないものに當つてゐた。この二百五十行といふ數字の中にはその預金だけでも一九三〇年一月一日に二百十八億三千九百萬弗に等しいといふ百個の銀行が入つてゐる。しかもこの百行のうち十行は九十一億五千萬弗の預金を擁してゐると推算された。全銀行の預金總額（千四百行の貯蓄銀行の百五億弗といふ預金を除いて）は一九二九年に四百七十億弗に當つてゐた。かうして二萬五千のアメリカ銀行の全預金のうち半分よりもあまり少なくない部分が百行の掌中にあり、その約二〇％は十大銀行の掌中にあるのだ。合衆國の十大銀行は一九三〇年の初に次のやうであつた(42)。

銀行名	所在地	一九三〇年一月一日の預金高（單位百萬弗）
一、ナショナル・シティー	ニウヨーク	一、六五〇
二、ギアランティー・トラスト	ニウヨーク	一、三〇九
三、チエーズ・ナショナル	ニウヨーク	一、二四八
四、イタリー銀行	サンフランシスコ	八九四
五、コンティネンタル・イリノイ銀行	シカゴ	八七九
六、エクイタブル信託會社	ニウヨーク	七六五
七、アーヴイング信託會社	ニウヨーク	六六〇
八、バンカース信託會社	ニウヨーク	六〇六
九、セントラル・ハノーバー銀行	ニウヨーク	五九八
十、セキユリティー・フアスト・ナショナル銀行	ロスアンゼルス	五四一

(42)『商業雜誌年評』一九二九年三頁。

その資金が（各個に）一九三〇年の初十億弗を超えてゐた十三の世界最大の銀行のうち六行は合衆國に割當つてゐた(43)。

世界大銀行

	所在地	資金（單位百萬弗）	預金
一、ナショナル・シティー	ニウヨーク	二、三〇六	一、六五〇
二、ミッドランド	ロンドン	二、一六九	一、八三三
三、ロイズ	ロンドン	二、〇九八	一、七一一
四、ギアランティー・トラスト	ニウヨーク	二、〇一七	一、三〇七
五、バークレース	ロンドン	一、八七六	一、六四二
六、チェーズ・ナショナル	ニウヨーク	一、七一五	一、二四八
七、ウエストミンスター	ロンドン	一、六一八	一、三八八
八、ナショナル・プロヴインシアル	ロンドン	一、四九二	一、三二一
九、ドイチェ・ディスコント	ベルリン	一、三三七	一、一四三
十、コンティネンタル・イリノイ	シカゴ	一、一七七	八七九
十一、イタリー銀行	サンフランシスコ	一、〇五五	八九四
十二、エクイタブル信託	ニウヨーク	一、〇一四	七六五
十三、ローヤル・オヴ・カナダ	モントリオル	一、〇〇一	七七二

(43)『アナリスト』一九三〇年一月三十一日三〇八頁。

最近合衆國に於ける銀行資本集中過程は強化された。一九二九年七月以前の一ケ年間に同國所在の銀行總數が八百八十三行も減少し、最近八年間に五千行も減少した。これら閉鎖銀行の八八・六％は十萬弗以下の資金を擁してゐる銀行に屬してゐる。しかもこれらの銀行のうち八七・七％は人口五千以下の都市に所在してゐた。小銀行はその財産を維持する目的で大銀行若しくは『銀行組織チェーン』(Chain banking organisation) に合併された。メロンの計算とアメリカ銀行家協會の經濟政策委員會の委員長の聲明とによると、一九二九年七月には合衆國に二百三十の團體的銀行體制があり それが百三十億弗以上の資金を擁する約二千の銀行を結合してゐた(44)。しかし最も強力な集中が大銀行間に起つてゐる。最近五ケ年間に合衆國の十最大都市で五十二の銀行合併が行はれ、その結果三つの銀行（この三つの銀行のうちどの一行も十億弗以上の預金をもつてゐる）と五億弗を超えない十二行と五千萬弗を超えてゐる百八行とが形成された(45)。一九二九年四月に『ナショナル・シ

ティー銀行』は二億五千萬弗の資本を擁する『農民貸付信託會社』(Farmers Loan and Trust Co.)を合併した。同年には『ギアランティー・トラスト』が『國立商業銀行』を合併した。最後にニウヨークからの最近の報道は一九三〇年三月十八日に『チェーズ・ナショナル銀行』は『エクイタブル信託會社』を合併し、かうして『ナショナル・シティー銀行』の代りに世界第一の地位を占めたと傳へてゐる。だが同じ報告は次のやうにも言つてゐる、即ち新銀行は金融力の王座を長い間占めることができない、なぜならば『ギアランティー信託會社』は『ニウヨーク信託會社』と『バンカース信託會社』とを合併しやうとかゝつてをり、それは三十億弗の資本を擁する合衆國最大の銀行を作り出すからだと。

(44)『商業雜誌年評』一九二九年三一頁。

(45)『世界の暦』一九三〇年一五六頁及び『月刊大西洋』一九三〇年二月、二一七、二一九頁。

誰がこの大銀行を指導し、誰がこの合併をするのか? 『ナショナル・シティー銀行』の重役の一人はアメリカ十億長者のマフサイル・ロックフェラーその人だ。彼は長い間世界最大の富豪であり、今日も恐らくさうである。既に一九二一年に最初のニウヨーク政府委員ヘンリー・クレーの作つた計算によると、ロックフェラーの財産は二百七十四億弗と推算された。長い間『ナショナル・シティー銀行』はスタンダード石油の銀行と考へてゐた。一九一一年ニウヂァーシー・スタンダード石油が解散後ロックフェラー資本の著しい部分が最大銀行に移つた。特徴あることは、屢々ロックフェラー銀行と言はれてゐる『ナショナル・シティー銀行』が一九一一年後非常に發展したことだ(46)。右の銀行の預金は一九〇一年に一億六千萬弗、一九一一年に二億三百萬弗、一九一五年に五億四千四百萬弗、一九一九年に七億六千七百萬弗、一九二四年に九億一千三百萬弗、一九二八年に十三億四千九百萬弗であつたが、一九二九年には十六億五千萬弗に等しかつた。また興味あることは一九一一年に『ナショナル・シティー銀行』の下に娘會社『ナショナル・シティー會社』が形成されたことである。大銀行の下にあるこの種の會社の役割と意義とについては後程述べるだらう。目下のところはロックフェラーが『ナショナル・シティー會社』の重役であることを指摘してをく。一九一一年にロックフェラーは合衆國の全石油會社の株の二五%以上を所有し、しかも一九二八年には全部でこれらの資本の約一五%が彼の息子と共に彼の所有と歸した。老ロックフェラーはニウヂァーシー・スタンダード石油が公然解散した後既に形式的には彼の全事業を息子に讓つた。この見せかけをやつたのは相續財産税を輕減するためであつた。事實はどうしてもこの古い現代的クレーズス〔古代の富豪〕を隱居所に閉ぢこめることができない。一九二九年秋の取引所恐慌期に彼はまた

積極性を發揮した。親子の年收入は千五百萬弗と評價され、しかも彼等の支拂ふ稅金は百五十萬弗に等しかつた(47)。『ナショナル・シティー銀行』頭取ミッチェルを通じてロックフェラーはフォードと關係を結んだ。ミッチェルはニウヂアーシー・スタンダード石油及びフォード自動車會社の社長と共に『アメリカン・アイ・ヂー化學コーポレーション』(American I. G. Chemical Corporation)の重役である。ロックフェラーは『エクイタブル信託會社』(こゝでは一九三〇年の前夜彼の女婿が社長に任命された)及び他の大銀行にその影響が強い。

(46) 『ホス新聞』一九二九年三月三十一日及び『鑛山新聞』一九三〇年三月十九日。

(47) 『大英百貨辭典』第十四版第十九卷三六四——三六五頁及び『世界の曆』一九三〇年五五六頁。

しかしロックフェラーは現代のウォール街金融王の集中的權力の權化でも何でもない。戰後のマンハッタン銀行家寡頭政治の無限の權力が彼の財産と關係があるわけでもない。いかにも彼は諸々の大銀行に決定的勢力を持つてをり、『ナショナル・シティー銀行』の權力の巨大な發展を促進するために途方もない役割を演じてはゐる。しかし所詮ロックフェラーは工業家であつて、銀行家ではないのだ。石油工業から引き揚げられた彼の資本は主としてミネソタの鑛山にコロラドの炭坑と鐵道に注ぎ込まれた。その上若いロックフェラーは親父の道を辿らなかつた。彼は勢力も少く、實際的でもなかつた。ウォール街の熱狂よりもエヂプトの考古學の方が彼を常にひき付けた。彼の資産は巨大ではあるが、モルガン銀行家の戰鬪的な噴火山式積極性の前には頭が上らない。

ジョン・ピヤポント・モルガン——彼は世界ブルヂョアジーの偶像だ。政府も帝王も、市長もブルヂョア教授も彼を物神崇拜する。全國のヂアーナリストもおべつか編輯者も彼の前ではお世辭たつぷりである。他のどんな富豪もこのウォール街の無冠の帝王に割當てられたやうな經濟的政治的權力を曾て持つたことがない。一度話題が合衆國資本の權力とかニウヨーク諸銀行の百萬長者とか萬國に對するアメリカの投資とかに落ちると、きつとモルガンの名前がでゝ來る。いつもどこでも彼の噂でもち切りだ。

それにも拘らずモルガンの財産はロックフェラーと違つて評價を許さない、彼の收入さへ殆んど誰もなんとも言ふことができない、彼の會社はその計算を公表しない(48)。しかも彼の泥棒行爲は非常に辛辣苛酷であるやうにまた秘密でもある。

(48) 『ニウヨーク・タイムス』一九二九年十一月三日。

ウォール街やブロード・ウエーにあるニウヨーク摩天樓のうちでヂエー・ピー・モルガン商會の建物は比較的小さい。アメリカの週刊『金融商業時報』の第二頁に組織的連續的に出る廣告を除いて

は同商會はあまり吹聽もしてゐない。この廣告の中には小さな字でニウヨーク、フィラデルフィア、ロンドン及びパリーにあるモルガン商會の四支店の宛名が示されてゐる。これらの支店は有價證券を買つたり、種々な金融的職能をやつてゐる。右の雜誌の第二頁には十七の場所があり、その各號には一見モルガン商會と同じやうな仕事をやり、同じやうな金融的職能を遂行してゐる會社から出す類似の廣告が百もある。しかし事實これらすべての會社はモルガンの金光の前で皆打ち凋んでゐる。ウォール街及びブロード・ウェーのつゝましやかな建物はその所有者の名前で一千萬弗とも稱されてゐるマンハッタンの最高摩天樓を蔽ひかぶしてゐるのだ。ニウヨーク取引所大動亂の日に『ニウヨーク・タイムス』一九二九年十一月三日は書いた、『この十日間全世界の注意は「ウォール街」にむけられ、しかも「ウォール街」の視聽は頻々としてモルガン商會に參集する一團の人々に注がれた。』

しかし蒐集することができた統計的計算的材料を考察すると、屢々非常に喧傳されたモルガンの富は一つの神話ではないか？　といふ問題が生じて來る。事實一年十萬弗以上の個人租稅に關するニウヨーク納稅者目錄の中にはモルガン一家が記錄されてゐない。これは何も意味してゐない、モルガン資本が投下されてゐる銀行やトラストや種々の會社はそれ相當の租稅を支拂つてゐる、と考へるかも知れない。しかし問題の本質は次の點にある、即ちモルガン系と見られてゐる工業及び金融會社の公表された統計はこれらの會社資本に對するモルガンの割前が大でないことを示してゐる一例としてモルガン系大結合として知られてゐる鋼鐵トラスト及びアメリカ電話會社を取らう。一九二八年の末取引所の有價證券が激しい變動にさらされなかつた時、モルガンは鋼鐵トラストの平株一千二百六十一株と優先株百五株とを持つてゐた(49)。當時平株は約百六十弗してをり、優先株は四十弗してゐた、從つてモルガンの持株の價額は僅か約二十二萬弗にしか當つてゐなかつた。この額を鋼鐵トラスト優先株のもつ十億弗と比較するとどうか？　殆んど取るに足らないのだ。しかしモルガンが鋼鐵トラストに對して途方もない勢力をもつてゐたし、またもつてゐることは疑を容れない。彼はこのトラストの專務取締役であり、しかも一九二九年には代表者とさへなつたことを指摘すれば充分である。アメリカの電話電信會社ではモルガンは公然と役目をもつてゐない、それにも拘らずこのコンツェルンでの彼の世間周知の大きい役割は、アメリカ電話電信會社の廣告には先づ第一番にヂェー・ピー・モルガン商會の署名が麗々しく掲げられてゐることによつても充分明瞭である。しかしこの大會社にはモルガン資本が著しく大きいか、または少いかに關しての判斷の根據は公式報告は與へてゐない。といふのは一人の株主もアメリカ電話電信會社株の一%以上は所有してゐないからである(50)。

(49)『ウォール街』(Walls treet) 一九二八年四月十七日。
(50)『アナリスト』一九三〇年一月一〇五頁及び『アナリスト』一九三〇年一月十七日一六四頁。

吾々は引用した例によつてモルガンの富を過少評價しやうとは少しも思はない。たゞ吾々はこれでもつて個々の會社の公式報告ではモルカンの財産を判斷することが如何に困難であるかを示したに過ぎない。資本主義アメリカに於ては商業上の秘密が『神聖』であり、觸れることを許さないといふのだから、モルガンとその使用人とが種々の銀行及び會社の統制株を幾束所有してゐるかを確定することは全く不可能である。父モルガンの財産は一億弗と評價された。しかるに彼が一九一三年に死んだ時息子に僅か六千九百萬弗しか殘さなかつた、しかも一千七百萬弗は彼の親戚に遺言した。モルガンがどれだけ相續税を脱税したか今までのところ誰も分らない。

一般にアメリカ大銀行家の財産について近似的にも判斷を下すことは甚だ困難である。しかしそれは左程重要なことではない。遙かに重要なことは彼の影響の大いさと範圍とを闡明することである。吾々の手許にある材料が許す限りそれをやつて見よう。個々の銀行の影響範圍を決定するについての種々な材料に矛盾があるからそれが吾々の任務を複雜にする。『ナショナル・シティー銀行』は、既に述べた通り、ロックフェラー系の銀行と考へられてゐる。しかるに一九二八年ドイツでア

メリカ銀行に關する健實な著書が出版されたが、その著者は、尤もそれ相當の證據こそないが、この銀行をモルガン・コンツェルンに歸屬させてゐる(51)。商業上の秘密が嚴格だといつても、どちらも正しいと言ひ得る、即ち或る時は該銀行の統制株束はモルガンとロックフェラーとの共同所有に屬し、或はそのうちの一人に屬してゐたといふことが許される。しかしそれと共に、或る場合には『ナショナル・シティー銀行』の『支配者』としてモルガンとロックヘラーとをごつちやにしてゐるといふことがあり得ることも排除しない。吾々はこんな詳細には立入らないだらう。吾々は合衆國經濟に對する小集團の金融寡頭政治のもつ的確な影響を闡明すれば充分だ。勿論吾々がモルガンについて語る場合には彼の會社とこれらの會社と結びついてゐる大銀行とを考慮に入れてゐるのである。吾々が何故モルガンに論及するかといふと、彼は大銀行家であるからばかりでなく、彼及び彼の諸會社は、やがて吾々も見るやうに、合衆國の經濟的至上權をその掌中に收めてゐるからでもある。

(51) アール・ヘルウイッヒ『アメリカ合衆國に於ける銀行制度』(Das Bankwesen in den Vereinigten Staaten von America) 一六〇頁、

何よりも充づ、モルガンは何から始めたか? 彼の父の勢力と權力とはどうか? 彼は事實上何

をその息子に殘したか？　一九〇二年にジョン・ムーディ（John Moody）は書いた(52)。『モルガン系と見られてゐる五萬五千哩の鐵道線は商業鐵道、石炭地域、終點、統制線、航路、合併鐵道等々を支配下に置いてゐる。』他の場所には死沒前年のモルガンを説明したものが見出される(53)、『モルガンの權力は銀行、保險、工業及び交通企業並びに會社にまで擴大された。そして彼は、一九一二年の貨幣トラスト研究議會特別委員會が確認した諸事實から判斷すると、少なく見積つても二百二十二億四千五百萬弗の資本を所有することができた。』さてその父の死後モルガンは何から始めたか？

(52)　ジョン・ムーディ『トラストに關する眞理』(The Truth about Trusts) 一〇七頁。
(53)　グスタフ・マイエルス『アメリカ富豪史』一六六頁。

世界戰爭の時期及び戰後に於けるモルガンの行動を説明し始める前に、合衆國の銀行制度と銀行實務とにざつと觸れる必要がある。

イギリスやフランスやドイツやオランダやその他の國の中央集權的銀行制度と違つて合衆國には從來少くとも理論的公式的には、所謂地方主義が支配してゐる。イギリス本土には數千の支店を持つと言はれてゐる十七の銀行が存在し、カナダには四千四十個の支店をもつ十一の銀行が存在してゐるといふのに、合衆國には今日まで無慮二萬五千の獨立銀行が營業を營んでゐる。最近までアメリカでこの點について支配的な理論家は言ふ、各銀行は資金を地方預金者から吸收し、その金融的資源でもつて地方企業及び會社を援助する地方的施設でなければならないと。先進資本主義アメリカにこんな後進的制度が存在するのには歷史的根據があるのだ。過去數十年間に亘る合衆國の工業家と農業家との爭ひは中央集權的國立銀行といふ問題をめぐつて集中されたことを想起せよ。合衆國の最初の銀行は新興大西洋資本主義の觀念的代表者ハミルトンによつて一七九一年に創設された。同銀行は當時の合衆國の八つの都市にその支店を開設した。ハミルトンは百四十年前に今日ヨーロッパの大銀行がそれに從つて建設されてゐるところの嚴格な中央集權的原則に從つてその銀行制度を建設した。間もなく栽培園主達は中央集權的銀行が事實は專ら東北地方の金融家及び工業家の經濟的政治的權力を伸長する點ですばらしい役割を演じてゐることを確信したので、同銀行に假惜なき鬪爭を宣告した。栽培園主達は一八〇一年に政權を握つた時初めて彼等は銀行から政府資金を得たが、十年を經て、一七九一年の議會の確認によつて銀行が設立されたその期間が終了した時、彼等は銀行を閉鎖し、一聯の地方獨立銀行を開設した。イギリスとの第二回の戰爭の時及び戰後生じた金融困難は當時支配的な農業家をして東北部の資本家たちと若干の妥協を餘儀なくした。一八一四年に中央銀行の創設者アレキサンダー・グーラスは財務長官としてペンシルヴァニヤ州から選

出された、しかも一八一六年の初には第二合衆國銀行の組織に關する法案が議會を通過し、それは合衆國のあらゆる重要都市に支店を設け、數行の地方銀行の倒壞を招いだ。一八二八年の選擧にヂェクソンを首領とする農業家急進分子が勝利を占めた時、再び中央集權的銀行反對運動が開始された。一八三三年にヂェクソンは聯邦預金を合衆國銀行から二十三の地方銀行に移した。合衆國銀行は政府から國立銀行としては存續する許可を受けないのだが、なほ數年間ペンシルヴァニヤ州銀行として存在してをり、一八四一年に終局的に解散した。たゞ工業家が武裝的鬪爭で栽培園主たちを打ち負かした後一八六四年に始めて國立銀行法が現れたのである。そしてその議會は當時この問題に甚だ用心深く近付いて行つた。人口の廣汎な大衆の間には、國立銀行がそれでもつて東部、ニウヨーク、フィラデルフィアの金融家が國民を搾取するところの道具である、といふ確信が支配してゐた。一つの國立中央銀行の代りに多くの國立銀行を設立することが許可された。しかし第一及び第二合衆國銀行と違つて新國立銀行は支店設置權をもたなかつた。その權限と行動とは次第に組織的に擴大されたとはいふものゝ、國立銀行は爾來農民と都市小ブルヂョアジーに利子を支拂つてゐるかの觀がある。彼等は州政府の不斷の統制と監督の下にある、だが一九一四年以來彼等は準備銀行側からの組織的修正を受けてゐる。嚴格な定款の規定によると、國立銀行の營業範圍は制限されてをり、伸縮性を缺いでゐる。殊に同銀行はその全資本の一〇%以上の金額を一個人に貸付けることが禁じられてをり、銀行券ばかりでなく預金をも準備金で保證する義務が負はせられてゐる、これはヨーロッパ諸國の銀行實務には見られないことである。合衆國の複雜な銀行立法を避けるためには普通大國立銀行の許に所謂『娘會社』がある(54)。巨大銀行の業務が一番困つてゐることは支店がないことである。この點について若干の州立銀行はより良い狀態にある、なぜならば州の範圍内ならばその支店を持つ權利を持つてゐるからである。但しかういふ權利はたゞ小數の州の地方銀行のみが享受してゐるといふことは指摘しなければならない。しかし地方銀行の合法化されてゐる都市では國立銀行の行動はこれと類似の特權を持つてゐないので每年益々大きい障碍につき當つた。その結果最近多くの國立銀行は州立銀行と改名した。一九二七年のマック・ハーデン法は聯邦準備制度加盟員に地方的關係から支店を許されてゐるやうな地方には支店を設置することを許してゐるが、この法律のみが改名運動をやゝ阻止した。しかしマック・ハーデン法も決して國立銀行を滿足させなかつた。多くの州では今日なほ支店が禁止されてをり、支店の存在するところでも、それが屢々狹隘な制限された地方的利益から出る地方的立法と關係してゐる。

(54)『ナショナル・シティー銀行』には『ナショナル・シティー會社』が、『チェーズ・ナショナル銀行』には『チェ

ーズ擔保コーポレーション』が、シカゴの『大陸商業國立銀行』には『大陸商業會社』が、『イタリー銀行』には『イタリー國立銀行』がある等々。

銀行組織にこんな伸縮性を缺いた制度があるから、公式的法律と關係の薄い最も伸縮自在な個人銀行業が例外的な役割を演じてゐるのである。前に吾々が銀行の個々の種類について述べた時個人銀行には觸れなかつた、なぜならばそれは同國銀行制度中には公然と入つてをらず、商事會社の一般法によつて設立されてゐるからである。若干の州では『銀行』といふ名をもつことが個人銀行業には禁じられてゐる。古くから個人銀行には銀行券發行法を利用することが許されてゐない。その預金は取るに足らない、なぜといふとアメリカの預金者はその資本を殆んど專ら國立或は州立銀行に預け入れるからである。彼等の資產は同國銀行資產の僅か四分の一%にしか當つてゐない。二十世紀の第二四半期の初め合衆國には一億三千二百萬弗の預金と一億七千四百萬弗の資產を持つ全部で四百九十五の個人銀行が數へられた（實際はもつと多い、といふのは若干の州では個人銀行が商事會社として統計にのつてゐるからである）(55)。この貧弱な資產に拘らず個人銀行は普通國立及び州立銀行の業務活動を指導し統制してをり、しかもそのうちの最も有名な一行は合衆國の大銀行をその掌中に收めてゐるのだ。

(55) エル・ヘルウイッヒ『アメリカ合衆國に於ける銀行制度』二〇——二一頁。

合衆國の發券銀行が企業及び會社に金融を與へる技術は普通『アンダーライタース』Underwriters〔證券引受人〕と呼ばれる特殊な保證人制度の力によつて行はれる。『アンダーライター』とは若干の手數料で或る會社の株券及び社債券の販賣を銀行に保證する自然人または法人を意味する。假りに或る新らしく組織された會社が額面一億弗の株券を發行し、しかも、たとへば、二%の手數料でその株券を『ナショナル・シティー銀行』を通じて賣出さうとする、その時は『ナショナル・シティー銀行』は手數料の或る割合を得る條件で賣殘りの全部または一部の株券を引受ける義務を負ふといふ信用ある第三者の救けでそれを保證する。『アンダーライター』制度はヨーロッパ諸國の銀行實務でも知られてゐる。その職能の點で『アンダーライター』は種々な國で特殊性を持つてゐるが、殆んどどこでもアンダーライターは個人銀行である。ロバート・リーフマンは『アンダーライター』一般について述べながら次のやうに書いてゐる(56)、『これは——個人銀行或は資金供給に從事する『商人』であるが——危險ではあるが、それと同時に非常に儲かる仕事である——自分の資本を犧牲にするか、自分の親友、自分の得意先と協同するか、二つに一つだ。』ヨーロッパでは銀行が普通廣汎な多部門の支店網を持つてをり、公式的立法が彼等の行動を束縛することが少いから、個人的

『アンダーライター』はアメリカほど廣く普及してゐない。だがアメリカでは支店設置が制限されてをり、國立及び州立銀行は禁止されてゐるので、『アンダーライター』は個人銀行業のために廣汎な活動の分野を開いてゐる。しかしこの可能性はあらゆる個人的銀行會社が利用してゐるのでは決してない。反對だ。これらの銀行の主要な部分は二十世紀にその資本不足から系統的な倒産に見舞はれてゐる。一九二〇年から一九二七年までに個人銀行數が四〇%も減少してをり、しかもその預金は三〇%も減少してゐるといふことを示せば澤山だ。然り、全國にちらばつて營業を開いてゐる數百の個人銀行は小さい地方的仕事をやつてをり、取るに足らない銀行業務で保證の役割を演じてゐる。大きい業務を營んでゐる大銀行は非常にしつかりした『アンダーライター』しか信用できない。普通の銀行家、將來のアンダーライターは金の必要な時に始めて銀行を設立することができるばかりだ。だから最大のトラストや會社やに金融を與へてゐる合衆國の大銀行は一人または數人の常設專屬の『アンダーライター』をもつてゐる。從つて若し或る大會社が銀行の融資を受けやうとすれば、彼は何よりも先づしつかりした個人銀行家の支持を得なければならない。換言すると、工業會社は資金を得るためには銀行ではなく、これらのしつかりした個人銀行家に向はなければならない。この個人銀行家は『アンダーライター』として前に述べたやうな合衆國の最大銀行の行動を統

制し指導してゐるのである。だからこそ『第一ナショナル銀行』、『ギアランティー信託會社』、『バンカース信託會社』、『ニウヨーク信託會社』、その他はモルガン＝ベーカー銀行團に屬し、『ナショナル・シティー』『エクイタブル會社』はロックフェラー團に、『ユー・エス・モートゲーヂ・アンド・トラスト會社』はクーン・ロエブ團に、『ナショナル・パーク銀行』及び『セントラル・ユニオン』はデイロンリード團に屬してゐると言はれてゐるのだ(57)。

(56) ロバート・リーフマン『基礎資本』七七——七八頁。

(57) 『ホス新聞』一九三〇年三月三十一日。

合衆國で最もしつかりした『アンダーライター』といへばモルガン銀行商會である。彼は或る株式の販賣を保證しやうと思ふ時は當該銀行に電話で許可すればそれでよい。どの銀行もモルガンに手數料を豫定しない、しかもモルガンは銀行に或る手數料を指定する。ヘルウッヒは書いてゐる(58)。『會社は全能モルガンの恩惠を非常に高く評價してゐるから、彼等はいつもモルガンの指定には少しの變更も加へないで承認する。』

(58) 『アメリカ合衆國に於ける銀行制度』一四八頁。

ヂェー・ピー・モルガン商會は『アンダーライクー』として前世紀の七十年代及び八十年代にも特

色を持つてをり、長い間この仕事では大きい履歴を持つてゐた。當時アメリカ工業殊にアメリカ鐵道がヨーロッパ資本家の金融を受ける仕事の上で彼のやつてゐた仲介的役割は途方もなく大きかつた。父の沒後息子は反對の方向でこれと似た仕事を繰返した。即ちアメリカがヨーロッパに金融を與へ初めた時彼は主要な仲介者となつた。一九一七年にイギリス及びフランス政府はモルガンに聯合國のために食料品及び軍需品を合衆國で調達することを委任した。この目的でモルガン商會がやつた買付は數十億弗と評價されてゐる。モルガンが合衆國の參戰までに設定したクレデットだけでも十五億五千萬弗に當り、しかもその後十年間にイギリス、フランス、ベルギー、イクリー、オーストリア、スイス、日本、アルゼンチン、オーストラリア、キューバ、カナダ、ドイツのために彼が發行した債券は十七億弗に等しかつた(59)。ヘルウッヒは次のやうな特徴ある事實を掲げてゐる。ドーズ案が採用された時、モルガンは豫めこの問題を全然彼等と協議することなく、ドイツの借款を大ニウヨーク銀行の間に割當てゝゐた(60)。戰爭終末に於けるイギリス磅から始つて一九二七年のイクリーのリラで終つた外國爲替の安定化に於けるモルガンの役割は世間周知のところだ。一般にアメリカの對外投資は個人銀行會社の手を通ずる方法でやつてゐる。多くの人はこの事實を國際的規模の金融的職務の遂行に適しないアメリカ國立及び州立銀行の地方的性質でもつて說明してゐる。合衆國政府でさへ戰時磅と弗のクロスを安定化するのに準備銀行を設立してやらないで、モルガン家の助力を借りてやつたが、これは特徴あることだ(61)。

(59) 『大英百貨辭典』十四版第十五卷九〇二頁。
(60) ヘルウイッヒ『アメリカ合衆國の銀行制度』一五八頁。
(61) 同書一五八——一五九頁。

實際『アンダーライター』の行動は多種多樣で複雜である。屢々それは吾々が『アンダーライター』に與へた定義の中に入らないことがある。吾々の定義はたゞ個人銀行が合衆國の銀行業務上演じてゐる巨大な役割を理解するための出發點に過ぎない。他面に於て、大個人銀行家はどんな場合でもその行動を金融を與へる會社と金融を受ける會社との間の仲介に制限しない。彼等自身は大工業及び金融企業に直接參加してゐる。モルガンは最もしつかりした『アンダーライター』である。なぜならば彼は諸々の重要工業部門に、鐵道に、大銀行にその巨大な財產を持つてゐるからである。しかし『アンダーライター』としてのモルガンの地位は例外的な意義を持つてゐる。それはあらゆる事業を促進し、國內及び國際的規模に於けるその活動領域を無限に擴大し、最後にその統制下にある會社に於ける事實上機能しつゝある資本と擬制資本との間の差異を異常に增大する可能性を彼に與へてゐる。

ヒルファーディングは既に二十年以上も前にアメリカに於ける銀行の株式會社に對する金融實際の非常に特色ある事實を掲げてゐる(62)。彼は當時次のことを示した、即ちどうして大工業會社は市場で優先株を發行してそのおかげで必要な資金を調達したか、そして彼に當該會社の企業統制を把握する可能性を與へるところの、彼にとつてはちつとも値打のない平株をどうしてそのまゝにしてをくか。同所にはまた、投機の恰好な對象であるところの平株がどうして結局は安値で事業に關係してゐる金融團の手に落ちるか、が示されてゐる。

(62) エル・ヒルファーディング『金融資本』一五五——一六一頁。

過剰に資本を投下された鋼鐵トラストやその他の株式會社に關するヒルファーディングの例は二十世紀の初頭に屬してゐる、當時は反トラスト闘爭は少しばかりではあるが外的效果を持つてゐた一九〇一年の工業コンツェルンの大投機に關する工業委員會の報告は合衆國内外の輿論の注意を惹いた。それ以來大トラストの投機的行動は本氣にできない程增加した、しかし公衆は戰時及び戰後金融寡頭政治の支配の事實にすつかりなれ切つたので、彼等はウォール街の思ひ付きな陰謀に關するどんな報道にも一向無頓着である。

モルガン及びその會社は現在大企業を組織することができ、種々な結合を作り出すことができ、

大した自己の投資もいらず、また取るに足らない自己資本額を支出しさへすれば如何なるコンツェルンをも形成することができる(63)。大會社が或る事業を組織する時には自分が市場で發行した優先株及び社債を買却すればその目的のために多額の資金が集まる。彼はそれと同時に創立株式を發行する、それは額面價格に大した打歩も支拂はないで同僚の間に分配される。この株式は屢々割當株と言れてゐる。その所有者は當該企業の統制を掌中に收める。なぜかといへば優先株は票決權を與へないし、たかだか制限付の票決權を持つてゐるに過ぎないからである。

(63) エル・ヘルウイッヒ『アメリカ合衆國の銀行制度』一四四——一四五頁。

大コンツェルン創立者といふ幸福な特權を享受する人は優先株及び社債券の賣却權を持つてゐる銀行がその後楯となつてゐる人だけである。合衆國の實際でこれが一體何を意味するかといふと現代のトラストの主人公となり得る人はモルガン、ロックフェラー、クーン・ロエブ、ディロンリード商會の關係者であるといふことだ。『かういふ方法で——とヘルウッヒは言つてゐる——大個人銀行會社殊にモルガン家は途方もない巨富を搾取したのだ。』(64)

(64) 前掲書一四五頁。

モルガンの權力を判斷するためには、彼が大工業及び金融結合の平株をどんなに澤山持つてゐる

かといふことをあげるだけでは全く不充分だ。それは多くの場合何も言つてゐないばかりか、屢々混亂にさへ導く。既にモルガンはいつもその掌中に平株さへ持つてゐないのだ。平常彼はそれを種々な投機のために成行きに委してをく、だが適當な時機が來ると彼はそれを非常な安値で買ひ戻す。かういふ適當な時機は、後で見るやうに、一九二九年秋の取引所恐慌であつた。モルガンは彼の所有する株式數とは關係なしに、人的結合（Personal Union）のおかげで諸々の大銀行及びトラストの行動を統制することができる。

○モルガンの人的結合について吾々はヒルファーディングが次のやうに注意してゐるのを發見する(65)、『一九〇六年にヂェー・ピー・モルガン商會は五つの銀行、五十の鐵道、三つの汽船會社、八つの信託會社、八つの保險會社、及び四十の工業會社の重役であつた。』それ以來二十五年も過ぎた。吾々の手許には一九三〇年にモルガン家によつて代表された會社數に關する確實な統計はない、それでもこの二十五年間にウォール街の人的結合制度が更に一層强化されたことは疑ふことができない。吾々の考の正しいことを確めるためには、大銀行や大トラストや鐵道やの重役名簿をめくつて見れば充分である。ヘルウィッヒは書いてゐる、現在支配的銀行の監査役會議の役目を個人銀行商會團の間に分配することが實際に行はれてゐる、そしてモルガン一家だけでも約二十のかういふ役

目を持つてゐると(66)。

(65) ヒルファーディング『金融資本』一六八頁。

(66) 前掲書一五三頁。

説明のためにモルガンやモルガンと密接に協働してゐる最大銀行やの若干の團體を取りどんな役目を占めてゐるかを考察しやう。モルガン自身は役目については比較的つゝしみ深い。彼の家族はトラストや銀行の重役としてよりも種々な慈善團體、スポーツ團體等々の理事として活動してゐるが、それが彼には得のやうに見える(67)。しかも彼はヂェー・ピー・モルガン商會の首腦者であり、鋼鐵トラストの重役會議の代表者であり、國際商船會社、プリマン會社、ニウヨーク・ディスカウント・コーポレーション、ニウヨーク第一擔保會社、『エトナ』鋼鐵會社等々の社長である。

(67) 『アメリカとはどんなものか』一九二八年一九二九年一五——一六頁。

ヂェー・ピー・モルガン商會で大きい役割を演じてゐるのはトーマス・ラモントであつて、彼は十九年間もモルガンの相談相手である(68)。ラモントは『バンカース信託會社』『ファースト・ナショナル銀行』の副社長、對獨ベルサイユ商業條約締結代表者中の合衆國金融代表、支那救援國際シンヂケートのアメリカ團頭腦者、メキシコ對外債務整理國際銀行家委員會代表者、ヤング案採用の際の

パリーの専門家等々であつた。現在ラモントは鋼鐵トラスト、『ギアランティー信託會社』、『インタナショナル農具會社』及びその他の大會社の重役である。

(68)『ニウヨーク・タイムス』一九二八年十一月三日。

ヂェー・ピー・モルガンの他の二人の相談相手――ユニース・モルガン及びヂョーヂ・ウイットネー――は『ヂェネラル・モーターズ』の重役である。そのうちの一人はまた『ギアランティー信託會社』、プリマン會社、ケネコット銅コーポレーション、ユター・エンド・ブラーデン、メーリーランド石油會社、アーリア海運資源開發會社等々の重役である。

銀行家の人的結合について最もはつきりした觀念を與へるのは、恐らく、一九三〇年三月二十七日にその誕生九十年祭を擧行した故ヂョン・ピャポント・モルガンの同僚であり、親友であり且相談者であるところのヂョーヂ・ヒイッシアー・ベーカーである。一九〇七年の恐慌の後モルガンが外遊した時、彼はベーカーに言つた(69)。『若し私に何事かあつたら、私は貴下との協働が私を最も滿足させ、私の生活の最も愉快な部分であり、しかも私の生活は多くの愉快な事を知つたといふことを貴下が了解されることを希望する。私は貴下が常にこのことを思ひ出すことをお願する。』長年の後息子モルガンは父の命令をその相談相手に傳へた、『若し貴下が何をしてよいか分らない時、狼狽した時はベーカーの許へ行つて、彼の言ふことを實行せよ。』既に私は前に、モルガン銀行をモルガン＝ベーカー團體銀行と呼んでゐることを述べた。二人の僚友のやる仕事は次のやうに分れてゐた。即ちモルガンは多くの國際的仕事を受持ち、ベーカーは國内事業の首腦者となつてゐた。老年にも拘らずベーカーは積極的に働き續けてをり、諸々の大銀行及びトラストで指導的役目に就いてゐる。彼は『ファースト・ナショナル銀行』の頭取、鋼鐵トラスト、『ヂェネラル・モーターズ』、『ヂェネラル・エレクトリック』、プリマン會社、アメリカ電話電信會社、鐵道會社、『ニウヨーク・セントラル』及びその他多くの會社の重役である。近年は彼の『若い』息子（といつてもはや五十あまりの年輩だが）がベーカーの役目をいくらか引き繼いだが、それによつて事態は少しも變らない。ベーカーの誕生以來九十年目に彼の『ファースト・ナショナル銀行』の持株は一億一千四百萬弗に當つてゐた。彼はまた鋼鐵トラストの大株主であつて、彼が所有してゐる株は七萬七千株、息子は一萬株である。彼はアメリカ電話電信會社に六萬三千四百三十三株持つてをり、しかも『ヂェネラル・モーターズ』、『ヂェネラル・エレクトリック』、『ニウヨーク・セントラル』、『ヂァーゼー・セントラル』、プリマン會社、『ソリダリテーテッド瓦斯』及びその他多くの會社では大株主の間に彼も數へられてゐる。モルガン＝ベーカー銀行といふ木はこんなにも枝を張つてゐるのだ。

(69)『ニウヨーク・タイムス雜誌』一九三〇年三月二十三日。同所の祝文中には吾々が今日ベーカーの生活とその『ファースト・ナショナル銀行』に於ける彼の行動からあげられる他の材料も引用されてゐる。

吾々はベーカーをモルガン銀行團の最も有名な大活躍者として論及した。この團體の人的結合は右にあげた關係に止まらない。大銀行や最大トラストや重要鐵道の重役名簿中でモルガン銀行團の代表がどんなに勢力があるかを知りたければ、取引所年報の頁を一瞥すればよい。たとへば一九二九年に『ギアランティー信託會社』と合併したモルガン系の國立商業銀行の財務官ファーレルは鋼鐵トラストの會長であり、しかも『バンカース信託會社』の重役會々長である。プロッセルはアメリカ汽船會社、國際ニッケル會社、『ケネコット』及び『ブラーデン』銅會社、『大平洋海岸會社』、『ヂェネラル・モーターズ』及び『ヂェネラル・エレクトリック』の重役である。近年世界的名聲を博した『ヂェネラル・モーターズ』の重役會々長オーエン・ヤングは數千の糸でモルガンと關係してゐるが、彼も亦人的結合の一見明瞭な例として役立つことができる。ヤングはアメリカ・ラヂオ會社の重役會々長、國際電氣會社、アメリカ及び外國動力コーポレーション、『ヂェネラル・モーターズ』その他の重役であり、しかも重要なことは――ニウヨーク聯邦準備銀行の重役會々長の役目があることだ。

人的結合はもつと進んでゐる。モルガン自身五年間聯邦準備會議の議員であつた。メロンが財務長官に任命された後はモルガンは右の役目を勤めることが不必要となつた、なぜならば財務長官は聯邦準備會議の議長にもなるからである。モルガンとメロンの關係は甚だ明瞭である。ピッツバークのメロン系『ナショナル銀行』の頭取、アメリカ・アルミニューム會社の重役であるビー・ビー・メロンはそれと共にモルガン系の『ギアランティー信託會社』の重役であることを示しさへすれば充分である。

類似の人的結合がロックフェラー團とその他の銀行團にも見受けられる。一九三〇年三月『チェーズ・ナショナル銀行』が『エクィタブル信託會社』と合併した時ロックフェラーの女婿オールドリッチ(インディアナ・スタンダード石油で長い間ロックフェラーを代表してゐた)は新らしいギアランティー銀行の頭取の役目を仰せ付かつた。この銀行の他の重役中には『バキューム石油』のボーレーやニウヨーク『スタンダード石油』のブラットやロックフェラー系デラベル＝ハドソン鐵道社長ローリアの顔も見える。

モルガンとロックフェラーとの利益は多くの點で交錯し合つてゐる。殊にこの新らしいロックフェラー系銀行の指導の點でモルガンは『ヂェネラル・モーターズ』のメロンによつて代表されてゐる。

反對に――吾々は多くのモルガン系企業にロックフェラーの利益代表者を見受ける。それと共にこの二つの銀行團は最大銀行を支配するために互に鎬を削つてゐる。大銀行の合併(これについては前述した)それ自體が主としてこの競爭の結果起るのだ。合衆國最初の銀行名だけでも銀行にとつてよい廣告である。ロックフェラーは最近まで合衆國最大銀行に支配的勢力を獲取して來たが、何の鬪爭もなくしてその地位を空け渡さうとはしない。『ギアランティー信託』が國立商業銀行と合併の後『ナショナル・シティー銀行』の第一位的地位を脅威し始めた時、ロックフェラーは『チェーズ・ナショナル』を『エクイタブル・トラスト』に合併した。しかしそこでまたモルガンは『ギアランティー信託』、『バンカース信託』、『ニウヨーク信託會社』を三十億弗の一大銀行に統一することに着手した。勿論廣告には目的がでゝゐない。廣告は新らしい幾百萬幾十億といふ預金を引き付けてゐる發達しつゝある工業集中はさらに一層强力な銀行集中を要求してゐる。

合衆國の地方銀行制度は數十年間銀行團に巧に利用されて來たが今や既にウォール街にとつて缺くことのできない道具となつてゐる。該制度は既にその使命を果したのだ。モルガンとロックフェラーとは戰後の『繁榮』期には自己の地位が强固なことを痛切に感じ、彼等は大國立銀行で思ふ存分仕事をやつてゐるので、農民や都市の小ブルヂョアジーには『利子』を澤山やらないことを決定したほどである。一九二九年十月サンフランシスコに開催された最近のアメリカ銀行協會々議で貨幣流通統制官ボールは銀行支店について聯邦法規を熟考する必要を公言した(70)。

(70) 『月刊大西洋』(The Atlantic monthly) 一九三〇年二月二一九頁。

しかしモルガンとロックフェラーとの間の競爭は小有價證券所有者を收奪する目的で一致の行動を取ることをさまたげない。一九二九年十月取引所恐慌の眞最中にモルガン家で五銀行家會議が開かれた。この五人のなかにはラモント、ベーカー(息子)、ミッチェル、ブロッセル及びペッテル(『ギアランティー信託會社』社長)が入つてゐた。既に吾々は前にこの會議がウォール街及び全事業界の視聽を集めたことを指摘した。その時フーヴァーはワシントンに事業界の多くの人を集めて會議を開いたが、それよりも五銀行家會議の方が多くのものが期待されたのである。ウォール街及びブロード・ウェーの五頭會議は一九三〇年二月二十日まで續いた。すべての對策が嚴重な秘密裡に練られた。一八八二年にはモルガン家で鐵道有力者の秘密な『安全化同盟』が作り出されたが(71)、それと全く同樣に丁度四十年後にヂョン・ピャポント邸では大銀行家の安全化陰謀が企てられたのだ。これらの銀行家五人が恐慌の前夜に市場に投げ出した有價證券が幾百萬あつたかは誰も知つてゐないし、また取引所恐慌の後、半値で株をどれだけ買つたかは誰も示すことができない。何時も五頭會

議はラモント一人の出席だけで行はれた。彼は報告した、固有の資金の外に五人がなほ一億弗をその活動のために得たが、この金は利用されなかつたと。最後に二月二十四日にモルガンの友人ウィットネーが、五銀行家會議はその仕事を終了したこと、この問題に關するどの報告も大した効果をもつてゐなかつたことを聲明した(72)。

(71)『安全化同盟』についてはヂー・マイエルス『アメリカ富豪史』第二卷一一〇——一一四頁參照。

(72)『商業雜誌』一九三〇年二月二十五日。

『ニウヨーク・タイムス』はウォール街及びブロード・ウェーに於ける會議の目的と任務とを說明しながら、モルガン、ベーカー、プロッセル及びペッテルの傳記を簡單に述べるに止めなければならなかつた、そして最後にこれらの銀行家は巨大な潛勢力を持つてをり、自分がいるだけの金を聯邦準備銀行から得ることができることを付言した(73)。

(73)『ニウヨーク・タイムス』一九二九年十一月二日。

然り、事實彼等の力は巨大だ、準備銀行の金庫は常に彼等のために開かれるのだ。

聯邦準備制度は國內大銀行家の重要な支柱であるばかりでなく、合衆國の外國に對するウォール街のかけがへのない道具でもある。

戰前までアメリカ銀行は合衆國の輸出入に金融を與へる上に極めて僅かしか參加してゐなかつた合衆國とラテン・アメリカ諸國との間の貿易決濟は大部分ロンドン銀行の助けで行はれた。聯邦準備制度形成後ロンドンの仲介からの解放といふ問題が提起された。この目的のために一九一九年に合衆國に特殊な機關『アメリカ引受會議』(The Amerian Acceptance Council)が創設された。戰後ニウヨークの割引歩合はヨーロッパの取引所よりも一般に低かつたので、合衆國は本來の外國貿易と關係した銀行業務を獨立にやることに成功したばかりでなく、外國の類似の仕事に參加することにも成功した。

戰前は外國に殆んどアメリカ銀行の支店がなかつた。聯邦準備制度は一百萬弗以上の固定資本を持つ各國立銀行に聯邦準備會議に從つて外國にその支店を開設することを許してゐる。一九二八年にはアメリカ銀行は十八ケ國に百九個の支店を持つてゐた。

世界戰爭の時代に合衆國の輸出は帝國主義史上未曾有の額に達した。この時期の間に合衆國は債務國から債權國となつた。一九一四年に合衆國はヨーロッパから約五十億弗借款してゐた。同時にアメリカの對カナダ、メキシコ、キューバ及びその他の隣接諸國投資は二十五億弗に達してゐた。一九三〇年には合衆國の對外投資は百六十六億四百五萬二千弗に當つてをり、しかも外國の對合衆國

投資はその時四十億弗にも達してゐなかつた。一九三〇年一月のアメリカの對外投資は一九二九年及び一九一四年の初めに比べて次のやうに分配されてゐた(73a)。

（單位百萬弗）

	一九三〇年	一九二九年	一九一四年
ヨーロッパ	五、一〇七	四、七九八	三五〇
カナダ	四、三八九	四、一三〇	七五〇
南アメリカ	二、七八六	二、五二三	一〇〇
中央アメリカ（メキシコ及び西印度諸國を含む）	二、九三六	二、九五四	一、〇〇〇
オーストラリア	九二七	八四一	一七五
その他	四五九	三七五	五〇
合計	一六、六〇四	一五、六〇一	二、六三五

(73a)『商業雜誌』一九三〇年一月三日附錄。

右の數字は說明を要しない。アメリカの在外資本の例外的な發達は聯邦準備制度に多くの恩惠を蒙つてゐる。戰時には聯邦銀行はアメリカ帝國主義の坩堝として役立つた。彼等は資本を動員したり、聯合國の注文で苦しんでゐる工業に信用を與へたりする點ですばらしい活動を展開した。その外彼等は勢力的に戰債を調達した。最後に有名な上院議員ペテグルーの筆に成る特色ある數行を引用して聯邦準備制度を終らう(74)。

『聯邦準備銀行法のおかげでアメリカ三萬の銀行の巨大な力はウォール街にその本部をおく一小クラブの掌中に集中されてしまつた。このクラブは合衆國の任意の工業の死活權をその掌中に握つてゐる。その掌中には金融施設の運命が握られてゐる。彼は恐慌を作り出すこともでき、信用劵いや貨幣をも發行することができる。金融といふ蛛蜘の網の眞中に立つてゐる銀行家は實際政府的權力をもつてゐる。貨幣發行法は最も重要な意義をもつてゐる。この法律は『聯邦準備會議』の名でうまく隱蔽されてゐるニウヨーク銀行家クラブによつて制定されてゐる……貨幣及び信用支配のおかげで銀行家は合衆國法典の制定者となつたのだ。誰も彼等を選擧しなかつたのだ誰も彼等を召還することができない。彼等に社會的毀譽褒貶を與へる術がない。彼等は一九一四年前のドイツのウィルヘルムのやうに社會的活動には手を觸れてゐない。彼等はアメリカ生活の自稱獨裁者であつて、創造したり××したりする。彼等は打倒したり管理したりする。彼等はアメリカの事業の心臟であり、××××中心であり、國民の××××××××××××××。』

(74) ピー・ベテグルー『勝誇る詐欺師』四四——四五頁。

四　外國貿易

資本の輸出は商品輸出を刺戟する。イギリスの對外投資は一八九五年の十六億磅から一九一四年の四十二億磅に增加したが、これはこの期間のイギリス商品輸出の二倍の增加を伴つた。勿論資本輸出は商品輸出の根本的原因ではない。しかし工業國では普通資本輸出が商品輸出の增加に先行するものだ。戰時合衆國の債務國から債權國への變化のテムポを促進した一般的要因——合衆國に於けるヨーロッパの投資のアメリカ人への移渡、ラテン・アメリカ及び極東からヨーロッパへの資本の逆流、合衆國の戰爭への信用授與及び荒廢したヨーロッパ經濟の復興に對する信用授與——はその外國貿易に異常な影響を與へた。二十世紀に於ける合衆國の外國貿易の一般的發達は次のやうに示されてゐる(75)。

（單位百萬弗）

年	輸出	輸入	合計
一九〇〇	一、三九四	八四九	二、二四四
一九一〇	一、八〇四	一、六三九	三、三〇一
一九一八	六、〇五四	一、一五〇	七、八〇五
一九二五	五、〇八三	四、四五五	八、六八八
一九二七	五、〇五六	四、四三一	九、三三一
一九二八	五、〇三〇	四、〇九一	九、一二一
一八二九	五、二四八	六、四〇〇	九、六四八

(75)『統計拔萃』一九二八年四六二頁及び『アナリスト』一九三〇年一月十七日二五〇頁。一九一八年の輸出は特徵的でない、といふのはその中に特殊な軍需品が入つてゐるからである。この理由から吾々はわざと一九一九年と一九二〇年をさけた。その輸出はそれぞれ八十億五千九百萬弗、八十四億三千九百萬弗に當つてゐる。その外一九一八—一九二〇年の輸出は通貨インフレーション年度に行はれたので特徵的でない。

一九一五年以後の十年間に合衆國の外國貿易は倍加した。表から見る通り、このテムポは二十世紀最初の十年間に於ける外國貿易發達のテムポを非常に凌駕してゐる。この時期は世界戰爭の結果と關聯してゐた。これらの年には絕對的に發達した外に世界外國貿易に對するアメリカの比重が變化した。一九二八年に合衆國は前世紀の間絕えず世界外國貿易の首位を占めてゐた國——イギリス——に僅か一〇%しか負けてゐなかつた。次の數字はその地方で最大な國の外國貿易の總觀である(76)。

國	一九一一—一九一三年平均 価額(單位百萬弗)	一九一一—一九一三年平均 世界外國貿易に對する%	一九二八年 価額(單位百萬弗)	一九二八年 世界外國貿易に對する%
合衆國	四、〇六八	一〇・三	九、三三〇	一三・六
イギリス	六、四六三	一六・三	九、九三一	一四・六
ドイツ	四、六三一	一一・七	六、二六三	九・二
フランス	二、八五六	七・二	四、一〇八	六・〇
イタリー	一、一四八	二・九	一、九二四	二・八
ロシア	一、四〇三	三・五	八八五	一・二
ベルギー	一、五八八	四・〇	一、七一〇	二・五
カナダ	九七二	二・七	二、五九六	三・八
アルゼンチン	八九二	二・四	一、八六二	二・七
日本	五七三	一・四	一、九三五	二・九
その他の諸國	一四、九九七	三七・六	二七、六〇二	四〇・八
合計	三九、五九〇	一〇〇	六八、〇三五	一〇〇

(76) 表は『商業年鑑』一九二九年第二卷七六九——七七二頁の統計を基礎として作つた。世界の外國貿易の物理的分量はその弗價額よりも遙かに少い程度で增加した、なぜならば一九二八年の物價指數は一九一三年の指數よりも殆んど半倍も上昇したからである。しかし世界貿易に於ける個々の國の比率的相互關係上の變化ははつきりと示されてゐる。一九二八年のロシアは今日の國境をもつサヴェート同盟のことである。

特徴的なのはまた二十世紀に於ける合衆國外國貿易の地理的分布に於ける變化である。二十世紀の初にはアメリカの輸出に對するイギリスの割合は三八%、輸入は三七%であつたが、一九二七年のこれらの數字はそれぞれ一七%及び九%に等しかつた。一九〇一年には合衆國の輸出の七五%以上がヨーロッパに向けられ、一九一四年には六三%、一九二八年には四六%であつたが、一九二九年には四三%であつた。對ラテン・アメリカ及びアジア輸出は二十世紀に始まり、次の表から見る通り三倍以上も增加した(77)。

年	北アメリカ 北部	北アメリカ 南部	南アメリカ	ヨーロッパ	アジア	大洋諸國	アフリカ
	總輸出に對する比率(%)						
一九〇一	七・三	六・〇	三・〇	七六・四	三・六	二・一	一・七
一九一四	一四・八	七・五	五・三	六三・九	六・〇	二・四	一・二
一九二八	一八・一	七・七	九・四	四六・三	一三・八	三・四	二・三

一九二九(九ケ月)…	二九・五	八・四	一〇・九	四二・七	一二・一	二・六	三・三

總輸入に對する比率(%)

年	工業原料	粗製食料品	精製食料品	半加工品	加工品
一九〇一	五・二	一三・四	五二・二	一四・八	〇・八	一・一
一九一四	八・六	一四・〇	一一・八	四七・三	一六・一	一・三	一・〇
一九二八	一二・二	一一・三	一三・九	三〇・五	二八・六	二・二	一・三
一九二九(九ケ月)	一一・五	一一・三	一四・五	二九・八	二九・〇	二・六	一・四

(77) 表は『統計拔萃』一九二九年四八八頁及び『商業報告』四七、四八號一九二九年を土臺として作つた。

この表は合衆國の帝國主義的發展をあますところなくはつきり示してゐる。一九三〇年には合衆國の全外國貿易の約三分の二は植民地及び半植民地諸國と行はれた。しかるに二十世紀の初には後者の割合は全合衆國貿易高の三分の一以上を超ゆることあまり多くはなかつたのだ。この點を立證するのはまた當該期間に於けるアメリカ輸出上に起つた構成的變化である(78)。

總輸出に對する比率(%)

年	工業原料	粗製食料品	精製食料品	半加工品	加工品
一九〇一	二八・三	一六・八	三三・一	一〇・三	二一・八
一九一四	三四・三	五・九	一二・六	三一・一
一九二七	二五・一	八・八	九・七	四一・七
一九二八	二五・七	五・八	九・三	四四・九

總輸入に對する比率(%)

年	工業原料	粗製食料品	精製食料品	半加工品	加工品
一九〇一	三〇・九	一三・四	一五・五	二五・〇
一九一四	三四・三	一三・一	一二・〇	一六・九	三三・七
一九二七	二八・三	一三・一	一〇・八	一七・九	二一・〇
一九二八	三五・九	一三・四	九・九	一八・六	三三・二

(78) 表は『統計拔萃』一九二九年四八四頁及び『商業報告』一九二九年六號を基礎として作つた。

かうして合衆國の工業品(工業原料も含む)輸出は一九二八年に六〇%に達し、しかも同國輸出に對する加工品の比重は二十世紀に二倍以上にもなつた。加工品輸出の三〇%はヨーロッパに行きその他は植民地に向けられた。

一九二九年前の七年間に加工品の輸出額は七五%も增加した。合衆國の對南アメリカ及びアフリカ加工品輸出は最大の隆盛に達してゐる(79)。

地方	合衆國加工品輸出額（單位百萬弗） 一九二二年	一九二八年	七年間の發達率（%）
北アメリカ	一〇四	六七四	六七
南アメリカ	一六六	三六五	一二
ヨーロッパ	三九	六八四	八〇
アジア	三三〇	二九四	二八
大平洋諸國	九	一四六	八四
アフリカ	三五	九七	一九六
合計	一、二九二	二、二六〇	七五

（79）『歴史の潮流』一九三〇年二月八六六——八八七頁。

最後になほ自動車及び工業用機械の點で重要な國に對するその輸出增加について若干の數字を掲げよう(80)。

國	合衆國の輸出（單位千弗） 客用自動車 一九二二年	一九二八年	工業用機械 一九二二年	一九二八年
イギリス	三、二九五	七、七一五	一三、七九二	三五、五八九
フランス	三七七	三、三九〇	四、七一六	八、七九二
ドイツ	四八	一〇、八〇三	五六六	六、五七一
イタリー	一三三	二、〇五四	五五九	二、六八三
日本	七六六	五、九九七	一四、三五六	七、八九一
アルゼンチン	二、三〇七	二六、二六三	三、五八三	九、四九六

（80）『歴史の潮流』一九二〇年二月八八六——八八七頁。

合衆國の工業輸出の增加、新世界の諸外國に對する百億の投資と共にラテン・アメリカ及びアジアに對するその急速な侵略は現代アメリカ帝國主義の基礎と力とを示してゐる。一九二八年の一年間に合衆國の對カナダ輸出は八%、對支那輸出は五〇%、對全アジア輸出は一七%も增加した。しかるに世界全國に對する合衆國の輸出は右の年間に僅か三%しか增加しなかつた。近年合衆國はラテン・アメリカに專ら注意を差し向けてゐる。一九二八年にリオ・ブランド以南に位する諸國への合衆國の輸出は一九二二年に比べて倍加した。この點を示して餘溫のないものはフーヴァーの『暖羅』（"goodwill"）がラテン・アメリカを遊行してゐることで、これは彼が大統領選擧で勝利を博するや

否や行はれたのである。『ニウヨーク・タイムス』は諸々の論文をフーヴァーの遊行に捧げてゐるが次のやうな事實でラテン・アメリカに於けるその競爭者に對するアメリカ帝國主義の勝利を指摘してゐる(81)、『一九二七年に合衆國はその三つの主要な競爭者――イギリス、フランス、ドイツ――を一しうにしたよりも多くの商品をラテン・アメリカに賣つた。類似の現象はラテン・アメリカの輸出にも見受けられる……ラテン・アメリカで競爭してゐる三つの主要な競爭者のうち合衆國だけが一九一三年に比べてその輸出を著しく增加した。この時期に於ける吾が對ラテン・アメリカの輸出は一五〇%以上も增加した。しかるにイギリスは一四%その輸出を增加し、しかもドイツは四%であつた。右の期間に於けるラテン・アメリカの對合衆國輸出は一一七%も增加し、對英輸出は七一%、對獨輸出は四五%增加した。』

(81)『ニウヨーク・タイムス』一九二八年十一月二十四日。同所にはラテン・アメリカに於ける合衆國の一聯の特權が報道されてゐる。『南アメリカ大陸の西部には吾々は吾が競爭國に比べて若干の特權を持つてゐる。何よりも先づそれに屬してゐるのは交通の容易なことである。吾々の主要輸出中心地――ニウオールレアンス、ニウヨーク、サンフランシスコ及びロスアンゼルス――と南アメリカ西部海岸との間の距離は大平洋のラテン・アメリカの諸州間の距離よりも遙かに少い。バルパライソ――チリーの門戸――はニウヨークから五千三百三十五哩、ニウオールレアンスから四千六百三十七哩、サンフランシスコから五千九百十九哩の距離にある。しかるにバルパライソからハンブルグまでは八千九百哩、リバプールまでは八千二百九十九哩である。汽船はニウヨークからチリーまで二十一日、ニウオールレアンスからは二十三日、ロスアンゼルスからは二十三日、ハンブルグからは三十日、リバプールからは三十四日もかゝる。

合衆國はなほラテン・アメリカとの貿易上一つの特權を持つてゐる。ラテン・アメリカはその延長四萬九千哩の電信で合衆國と通じてゐる、だがヨーロッパとは僅か一萬九千哩の電信しかない。』

二　アメリカ合衆國に於ける銀行獨占と鐵道

ドクーキン

〔ヴエー・ドクーキン『アメリカ合衆國に於ける銀行獨占と鐵道』世界經濟と世界政治一九三〇年第七、八、九號〕

一　〔鐵道資本と『聯邦商業委員會』〕　アメリカの鐵道交通は現下の合衆國の經濟で特に重要な役割を演じてゐる。二百四十億弗に達する巨額の鐵道建設への投資は、交通業とその技術的發達とに力強い拍車を加へた。アメリカ合衆國の嵐のやうな工業化の過程、集約的工業生活への新地域の編入は、交通網とその勞働能率の增大の媒介とならざるを得なかつた。現在の時期はアメリカの鐵道交通發展に於ける轉換期である。急激な鐵道建設期は終りを告げて、アメリカの交通經濟の技術的＝經濟的體制が一般的經濟恐慌によつて搖り動かされてゐる。かういふ事情の下で、交通業界への最も强力な銀行の進出と、恐慌が發展しつゝある情勢の下で『計畫化』をやらうといふ銀行側のあらゆる試みが失敗したことを詳細に研究することは、理論的にも實踐的にも非常に興味のあることだ『組織化された資本主義』といふ理論の完全な破産は、資本主義的經濟のこの部分に於いて、極めて明瞭に曝露されてゐる。

現在ではアメリカの鐵道はニウヨークの證券取引所――ウォール・ストリートに非常に重要な銀行團を形成してゐる。ペンシルヴァニヤ鐵道、ニウヨーク・セントラル鐵道、アッチソン鐵道、ユニオン・パシフィック鐵道、イリノイス・セントラル鐵道のやうな大鐵道の株式は、確實な投資物件となつてゐる。先般のウォール・ストリートの金融大動亂は直接には鐵道會社に影響しなかつた――鐵道會社に影響を及ぼしたのは金融恐慌と一般市場恐慌との發展である。私は偶々あのアメリカの全經濟組織にとつて記念すべき日にニウヨーク・セントラル鐵道の社長と會談する機會を得たのであるが、彼は誇らしげに次のやうに斷言した。自分の鐵道會社と綱鐵トラストとは公定配當より一弗だけ高い配當をやると。〔この〕鐵道は、暴れ出した資本主義的要素に計畫的な影響を及ぼさうと試みてゐるフーヴアー會議の決議の結果、景氣を蘇らせ産業を袋路から救ひ出すべき强大な資本投下の上で首謀者とならねばならなかつた。この興味ある實驗とそれが鐵道事業に及ぼした影響とを次に論及することにしやう。

過去の大多數の鐵道の金融は、社會の資本と信用との甚だしい濫用によつて豐富にされてゐる。」

二　銀行獨占と鐵道

鐵道は屢々投機的企業の高度の段階に見るやうにその必要もないのに建設された。資本投下に缺くことのできない貨幣は、ありとあらゆる方法でまた異常に高い利率を保證しておびき出された。多くの場合鐵道は無能な管理者の手中にあつた。この管理者自身はその利用を委任された財産を蕩盡してしまつたのである。建設期に於ける多數の鐵道會社の慢性的な破産は、その組織の投機的性質を誠によく特質づけてゐる。

鐵道の再組織即ち强大な銀行の掌中へのその集中過程は、鐵道金融業者の言ふところによれば、鐵道の資本金から『水割り』を追ひ出し、明白に收益がないと認められるだけの金額を正味財産額から削除した。これは一つの要素だ。第二の要素は鐵道收入の釣り上げである。ランデ教授の言ふところによれば、一九〇〇年以來鐵道會社は『たこ配』政策を押し進めて來た。換言すればその營業總收入の大部分を純收入に繰り入れて來た。かういふ事情のために技術的改善をやることができなくなり、ついに政府の監督法規の要求に應ずることが困難になつたほど新投資を收縮したのである。資本家がその地位をあまり濫用するのを避けるために、一九二〇年に鐵道金融に關する政府の新監督組織である交通條例が發布された。

『聯邦商業委員會』は各會計年度の初めに各鐵道の會計計畫を檢閲して、鐵道の豫想收入を多かれ少かれ均等に分配させるやうな手段を取る。もしより薄弱な鐵道が重大な金融狀態に陷つたと認めた時は、この委員會は運送品の一部を一線から他の線に移すことができる。純收入の割合（六%以下）と新投資額とは確定されてゐる。

右に述べたやうな『聯邦商業委員會』の高度の『計畫的』諸機能は、鐵道の私有制度と和解することのできない矛盾に陷つて、充分な効果をあげてゐない。この委員會自身が事實上政府の官僚的な裁判所になつてしまつて、これをうまくごまかし得ることが必要となり、そのためにはまた各鐵道の代表者が多數この委員會に出てゐるといふわけである。

各鐵道會社の多くの破産と、それらの會社による破廉恥な株式資本詐欺の時以來、各州には新株式發行の規準と擔保とを監督する特別の委員會が設けられた。この課題の解決が後に『聯邦商業委員會』の機關に集中されたのだ。一九二〇年の交通條例によつて鐵道側のあらゆる新株式及び新社債の發行に對する監督がこの委員會に移された。この際制定された非常に複雜な規則は、格別新資本金の分配に對して避けることのできない障碍にはならなかつたとはいへ、大多數の鐵道の金融業務の實際と方法とには不適當な監督形式であるといふ鐵道側の不平を呼び起した。

他の産業部門に於けると同樣に、『聯邦商業委員會』は二種類の基本的な鐵道金融業務を監督す

る。一、株主に對する配當の支拂、二、新資本を得るための追加株式の發行。

これらの問題は鐵道のすべての種類の金融政策を包括してゐたし、また鐵道の株式及び社債を公衆に賣り出し得る價格に關する問題や鐵道資本化の形式に關する問題といふやうな問題の洗練過程中に解決された問題であつた。これらの問題の各々についてもつと詳細に論及することにしやう。株式發行の監督は次の通りである。即ち一九二〇年の鐵道條例によれば二年以上の通用期限の株式の發行は、上院委員會の承認を要する。それ以下の期限の株式は、その發行額が株式資本全額の五%を超えなければ『聯邦商業委員會』の正式の承認を要しない。新株式の發行を承認するに先立つて、委員會はその新發行がどの程度まで實際必要缺くべからざる目的に出たものか、またその發行から豫想される收入の點から見てどの程度まで公衆の利益に合致してゐるかを決定する。もし新株式發行が『聯邦商業委員會』の正式の承認を得ずに鐵道會社が勝手にやつた場合には、それは違法行爲と見られ、取締役とその發行に携はつたおもてむきの代表者とは一千弗乃至一萬弗の罰金と一年乃至三年の禁錮に處せられる。委員會の承認があれば、現存の公益事業局（Department of Public Utilities）の特別の檢閲を得なくとも、それで充分當該州の行政官廳がその株式の新發行を登記したことになるのである。

新株式資本の分配に關する鐵道會社の上申書には、その株式新發行の目的とその限界についての説明、及び株式を賣り出す銀行またはブローカー商會の名前が記入されてゐなければならない。その外に委員會は補足としてなほ次のやうな資料を要求する。

一、會社の狀態。
二、〔監督〕官廳の決定及び決議、鐵道會社及び主要株主の指令。
三、新株式の發行が法律に違反しないといふ重役會議の意見。
四、その鐵道會社の本線及び支線の地圖。
五、新發行株式の謄本。
六、最近の貸借對照表の謄本。

新株式發行に關する申請を受理したときから三十日以内に、その問題はワシントンに於ける委員會で決定されなければならない。『聯邦商業委員會』の正式の承認を受けないうちにも株式を賣り出すことはできるが、この賣り出しは後になつて承認されることを要する。承認されない場合には株式買受人に貨幣を返濟しなければならない。通常、銀行が新株式の分配に着手するのは『聯邦商業委員會』の正式の承認が出た後である。だが市況の關係で有利な分配が期待される場合には、正式

の承認が出る前に賣り出しが始められる。

委員會は鐵道の資本金と水割りと株式の新發行とが、果して鐵道會社が手に入れる新財産の價値額に正確に一致してゐるかどうかをしらべる。取引所投機の方法で利潤を增大させる目的でやる株式新發行の試みは、工業會社の間に極めて廣汎に行はれたところであるが、これはナショナル・コール鐵道の破産以後鐵道市場では禁止された。だがこのことはこのやうな投機的な『水割り』が今日では行はれてゐないといふことを意味するものではない。

重要な鐵道網の大部分をその掌中に集中した强力な鐵道會社は、今や新發行株式の分配及び追加貨幣資本の受納の領域を獨占してゐる、鐵道建設期の教訓に鑑みて聯邦商業委員會は大多數の新鐵道建設計畫には許可を與へることを好まず、たゞ金融關係が最も强力で確實である會社にだけ許可を與へてゐる。

委員會は大多數の株式買受大衆の利益とその株式を賣り出す銀行の利益とに相應して、株式價格を決定するやうに注意してゐる。會社と銀行とは株式を額面よりも著るしく高いプレミアムつきで賣つて、新發行から最大の株式〔發行〕利潤が得られるやうに有利な市況を利用する。例へばアトランティック・コースト・ライン鐵道は、百弗で追加株式を發行したが、市場の申込價格は二百弗以上であつた。ニウヨーク・セントラル鐵道も南部鐵道も同樣であつた。

鐵道株式及び鐵道社債の賣り出しによる銀行の收入も、同樣に形式上は委員會の監督を受ける。委員會は銀行の受取る利潤がべらぼうに高くならないやうに注意することになつてゐる。だが實際はやゝ違つてゐる。ジェー・ピー・モルガン銀行のやうな最も强力な銀行家は、二千五百萬弗のニウヨーク・セントラル鐵道の株式發行を引き受けて、七十五萬弗の株式發賣收入に加ふるに十一萬八千五百二十五弗の手數料を手に入れた。手數料の平均率は二%乃至三・五%の間にある。ニウ・ヘーヴン鐵道の追加株式の發行に際して、モルガンはそれを引受けて平均二%即ち百萬弗を手に入れた薄弱な二流鐵道會社は株式資本發行に際してもつと高率〔の手數料〕を支拂つてゐる。例へばバルティモア・オハイオ鐵道は發行引受け銀行に約三%の手數料を支拂つた。この手數料を支拂つたゝめに各一株の平均價格は銀行の仲介を經ずに發行した場合に比して五・二五弗だけ高くなつた。

上院の委員會は金融統制上銀行と鐵道會社の相互關係を確實にしやうと努力してはゐるが、それからは何の効果も得られない。アメリカ合衆國の最も强力な銀行と最も重要な鐵道との間には密接な金融上の結合、正しく言へば、銀行側からの確實な指導が行はれてゐて、どこまでが銀行の政策でどこからが鐵道會社の政策であるかを決定することが非常に困難であるほどである。不況期には鐵

道に金融してやりながら、銀行はそれだけ自己の地位を強化して、鐵道の監理上にも鐵道の實務上にも決定權を得るのだ。新社債の發行額と價格とは形式上鐵道監督官廳の同意を要することになつてはゐるが、實際上は大多數の場合鐵道の發行する新社債の發行期、種類及び價格はそれに關係してゐる銀行によつて決定される。鐵道金融がウォール・ストリートの最も强力な銀行の手に集中されてしまつたゝめに、薄弱な鐵道や金融組織は苦境に陷り、投機的な目的から各鐵道會社の株式價格の釣り上げが行はれた。鐵道金融の獨占的支配權を手に入れやうとする銀行間の競爭は、『聯邦商業委員會』の席上でも交通新聞紙上でも果しのない論爭を惹き起した。競爭に對する贊否兩論を要約すれば次の通りである。

從來通りの競爭條件を維持することに贊成であり、どんな統制であるにせよそれは望ましくないと考へる人々の意見は簡單に次のやうに要約することができる。

一、鐵道はできるだけ高い株式價格を受取り、そのために金融關係上利益を得る。

二、競爭の結果鐵道は分配される株式の價格を增大させるための最も廣汎な能力のある優良な强力な銀行から金融を受けることゝなる。

『聯邦商業委員會』と若干の銀行の反對は次の點にある。

一、銀行はそれに對して何の要求をしてもならないところの鐵道の資本を犧牲にして自分の利潤を高める。

二、競爭は個々の發行株式の價格を高め、結局株式の分配を縮少させる。

三、各株式發行の投機的性質、それは鐵道に害を及ぼし、鐵道の資金を同一の銀行が金融してゐる他の產業部門に注ぎ込む。

最大銀行の獨占に反對するすべての議論は全く机上の空論であつて、株式證券の形態で鐵道所有權が頻繁に且目立つて一銀行團から他の銀行團の手に移る不況期にこの議論は特に鋭いものである。上院の委員會の指導者は次のやうに述べてゐる。即ち、個々の銀行の競爭と獨占の組織とには缺陷があるにはあるが、自分達はこの現在の狀態を變更することができるやうなことは何も考へてゐないと。

二　資本化の諸形態　聯邦商業委員會は資本化の形態に統制を加へ、あらゆる機會に株式の新發行があれこれの鐵道の資本額構成に及ぼす影響を明かにする。鐵道會社の總資本に對して借入金額が一定の割合を保つてゐるやうに統制が加へられる。それは會社の任務が自己資本を全く勘定に入れないでできるだけ多く公衆から貨幣をかき集めることになつた舊式な金融＝取引所的行爲を繰り

返す餘地を與へないやうにするためである。

鐵道資本はその大部分が擬制資本即ち社債及び株式の形態をとつた有價證券から成つてゐる。鐵道の資本が增大してゐるにも拘らず、この擬制資本の割合が增加する傾向がある。このやうな資本金構成の結果、運送の減退以後自己の營業收入の大部分を失つた金融關係の薄弱な鐵道は、不況期には破產することになる。薄弱な鐵道はその取引所價格の破局的瓦落を防止することができずに自己資本の大部分を失つてしまう。總鐵道資本は一九一四年から一九二八年までに、百九十五億弗から二百二十億弗に增加し、全資本に對する借入資本の割合も五五%から五九・六%に高まつた。

右の數字は平均的な割合を示すものだ。だが個々の鐵道（チェサピーク・オハイオ鐵道）について見ればこれより惡いのがある。そこで委員會は自分の資本金構成について注意の足りない鐵道の追加株式資本の發行はこれを周旋することを避けてゐる。かういふ鐵道は通常薄弱な鐵道であつてそれは最初の金融難の結果すぐに强力な鐵道會社の支配下に移つて行くのである。交通に關する文獻や定期刊行物を見ると吾々は屢々、鐵道は交通上の公共の必要を充すといふ特殊の地位を持つもので、公衆の利益に害を及ぼす憂のある金融業務に携ることは許されないといふことを指摘してあるのにでくわす。たとへ工業會社には額面だけの價値のない株式を發行することが許されてゐるとしても、鐵道會社には、聯邦商業委員會の決議によると、同樣なやりくちに訴へる權利がない。既に發行した株式をきちんと滿株にもせず總資本を增加させることは、公共の利益を害するものと認められる。

屢々發行される株式の額面價格を引き下げる〔訂〕ことが行はれる。これは議決權はないが商議決はあるやうな株式の所有者を獲取すること〻關聯してゐる。監督官廳に於ける一金融團體によつて會社業務の完全な統制が行はれるやうにするために、ビッツバーグ・ウエスト・ヴァージニア鐵道は株式の額面價格を百弗から五十弗に切下げ、無議決權株式を發行しやうと試みた。他方吾々は價格騰貴に對する取引所投機の方法によつて追加資本を引き出す目的で、株式價格を五〇乃至一〇〇%膨張させる場合を目擊することができる。多くの鐵道の株式は一九二八年には二百弗で賣られてゐる。だがその一二年前にはそれには百弗の呼値がついてゐたに過ぎなかつた。取引所投機即ち鐵道資本を增大させるための金融＝投機的方法は、無條件に鐵道監督機關の注意を銀行業務の方面に向けてゐるが、生產發展過程に於ける鐵道勞働能率の增大と現金資本の漸次的增大の方面には向けてゐない。

上院の委員會のすべての禁止とそれによつて鐵道の金融業務を監督しやうといふ試みとは、資本

主義體制そのものゝ支配的な生產諸關係と分配諸關係との現世的性質からプラトーン的願望（あだな望み）に終つてゐる。所謂『無議決權株式』（Non-voting stock）即ち株主が議決權を持たない株式の發行に關する事情を明かにすることは興味がある。形式的には『聯邦商業委員會』は鐵道會社が『無議決權株式』を發行するのを防止し禁止する政策を取つてをり、同樣にニウヨークの證券取引所もまた、事業に赤字が生じた場合又は不正が行はれた場合に無議決權株式の所有者に彼等の代表者が會社の業務執行を補助する權限を與へながら、機會ある毎に『無議決權株式』の金額を制限しやうと試みてゐる。『聯邦商業委員會』の形式上の禁止にも拘らず、鐵道會社は寧ろ『無議決權株式』の方を發行してゐる。トレドー、セントルイス・ウエスターン、レークイーリー・ウエスターンの諸鐵道は、七千八百九十六萬七千九百弗の資本のうち三千四十二萬弗以上の『無議決權株式』を持つてゐる。

×

クリーヴランドを通過する三大幹線、ニウヨーク・セントラル鐵道、ペンシルヴァニヤ鐵道、バルティモア・オハイオ鐵道の資本投下總額は九億五千萬弗に達してゐるが、その半額は『無議決權株式』である。クリーヴランド宣言の結果議決權のない鐵道株式の所有者のうちから代表者を選出する權利と、代表者を鐵道監督官廳に送る權利が與へられることになつた。このことは一方の資金吸集手段と鐵道の先頭に立つてゐる少數の指導的金融團體側の新資本蓄積行爲上の獨占との姿容を一目で十分判るやうに說明してゐる。

株式に對する配當の支拂は個々の鐵道が上院の委員會に相談せずに行ふ。上院の委員會がこの問題に關係するのは、追加資本を新たに發行するその條件を研究する場合だけである。配當步合は前年の鐵道業務の收益率によつて決定され、個々の鐵道によつて異るが四%乃至七%の間を上下してゐる。

三　鐵道と銀行　吾々は以上で大多數の鐵道が極めて密接に銀行と結合し、この銀行が鐵道の金融業務の統制權を握つてゐるといふことを指摘した。問題は形式上の統制ばかりに限られてはゐない。なぜなら銀行が鐵道の監理上のすべての最重要問題と指導部の任命について決定權をもつてゐるからである。不況期、循環性景氣變動、及び或る程度まで季節的變動も、株式發行の方法による新たな金融や現金資本の擴張の問題について銀行組織の仲介が要求されるかぎり、それだけ鐵道の銀行への從屬性を增大させるところの要素であつた。吾々は鐵道金融界に於けるその獨占的地位をしつかりと固めてしまつたウォール・ストリートの諸銀行を見る。自己及び自己の得意先の所有權

を保護するために、銀行組織は鐵道の監理から生ずる責任の益々大なる部分を自ら負擔してゐる。

鐵道博士と稱せられてゐるヂョン・ピヤポント・モルガンはその評論のなかで次のやうに言つてゐる。即ち、大部分の鐵道が危機的狀態に陷つた一八九三年の有名な市場恐慌のとき以來、鐵道交通業への强度の銀行の進出と、鐵道會社の銀行への從屬性の增大と鐵道の政策及び監理に對する銀行の統制力の强化が始まつたと。それと同時に少數の人々の手中への鐵道株式資本の集積が生じてゐる。『聯邦商業委員會』は最近の報告のなかで二十人の大鐵道株主をあげてゐるが、この二十人の株主は事實上現存鐵道網の九七%を代表してゐる一流鐵道を支配してゐる。モルガン、クーン・ロエブ商會のやうな銀行家は合衆國の最重要鐵道組織の金融監理權をその手中に收めてゐる。

大多數の銀行は最初は重要な貨物運送人の資格で現はれたのだが、後には自分の資金を鐵道に供給し金融してやるその程度が進むにつれて次第に「鐵道の」監理上の統制權をその手のうちに取り込んだ。多數の鐵道の再組織はその鐵道組織に對する一定の銀行の影響力と統制力との擴大を助けた。かうしてモルガン銀行は先づエリオ鐵道に對する支配權を、次に再組織後はアッチソン鐵道に對する支配權を、更に後には南部鐵道會社に對する支配權を手に入れてゐる。

ニウヨーク・セントラル鐵道、ペンシルヴァニヤ鐵道のやうな若干の鐵道は、その中心的な地位からして、不況のために苦しむことは少かつた。だがその建設及び發展の初期にあつては銀行が最も重要な株主であつた。ニウヨーク・セントラル鐵道は永い間ヴァンダーベルトの所有に屬し、彼によつて監理されてゐたもので、最近初めてモルガンの手に移つたのである。ヴァンダーベルトは引續き大株主ではあるが、彼等は鐵道の積極的指導を避けた。二つのヴァンダーベルト家が、彼等の聲明を即時實行するまで、經營、指揮、管理の役割を果して、鐵道に對して事實上の獨裁權を持つてゐた。

合衆國の個々の鐵道のうちで、ペンシルヴァニヤ鐵道は或る一銀行の勢力の對象たる程度が少いこのことは最も强力な二銀行、フィラデルフィアのドレクセル會社とニウヨークのロエブ商會とが同鐵道の主要株主として控へてゐるといふ事實によつて說明される。かういふ狀態は鐵道の監理をこの二銀行からより獨立的にする。ニウヘーヴン鐵道はモルガン財團がこの鐵道の金融上の困難を利用してその株式の追加發行を引受け、技術的改造上の大計劃の遂行に助力して以來、モルガン財團の支配下にある。この鐵道はニウ・イングランドで獨占的地位を占めてゐて收入が多い。

モルガンの銀行は『ファースト・ナショナル銀行』と協同して、所謂無煙炭鐵道の支配權を握つてゐる。リーディング鐵道會社は再組織後はニウ・ジャーシーのリーハイ・ヴァレー鐵道が買收後

合併されたところの單一の組織である。モルガンはロックフェラーのナショナル・シティー銀行が支配的な役割を演じてゐるラックワナ鐵道の監査役會議で決定權を持つてゐる。ナショナル・シティー銀行はまたデラウエーア・ハドソン鐵道をも支配してゐるが、この鐵道は占有された資本の最後の大部分を次第に銷却しつつあつて、無煙炭鐵道のうちでは遙かにモルガンに從屬する程度の少い鐵道である。モルガンは南部の諸鐵道にもその勢力を擴げてゐるが、こゝでは彼は交通運輸上アトランティック・コースト・ラインと結びついてゐるルイスヴィル・ナッシュヴィル鐵道から堅固な鐵道組織を作り出してゐる。

西部では鐵道運輸業にその支配權を擴げてゐる三つの銀行組織、ヂエー・ヒル、イー・ハリマン及びジー・グールドをあげる必要がある。ヒルはグレート・ノーザン鐵道が一八九三年の破産の後第二流の幹線から强力な大陸横斷鐵道に變つたときその金融に參加した。ヒルはモルガン銀行と協力してノーザン・パシフィック鐵道とブリューリントン・クウインシー鐵道とに金融上の支配權を擴張するための廣汎な計畫を實行に移した。

ハリマンはユニオン・パシフィック鐵道の破産後該鐵道會社の頭取となつてそれを再組織し金融した。金融上ではこの鐵道は急速に復興されたが、ハリマンはそれで滿足しなかつた。彼はその上シカゴ・ブリューリントン・クウインシー鐵道を合併する爲に、サザーン・パシフィック鐵道を七千五百萬弗で買收した。だがそれ以前にブリューリングトン・クウインシー鐵道は、ヒルとモルガンとによつて支配されてゐるグレート・ノーザン鐵道とノーザン・パシフィック鐵道の組織に合併されてしまつた。そこでハリマンはノーザン・パシフィックの鐵道を手に入れやうとした。ノーザン・パシフィックの株式はモルガン銀行との競爭の結果一株百弗から一千弗に釣り上げられた。結局ヒルとモルガンが勝つて最重要な三幹線に對するその支配權を强めることゝなつた。ハリマンはユニオン・パシフィックを擔保物件として利用して自分の勢力を他の鐵道組織の上に伸ばすために競爭を續けた。かうして彼は大株主の資格でもつてバルティモア・オハイオ鐵道、ニウヨーク・セントラル鐵道、イリノイス・セントラル鐵道、シカゴ・ノースウエスターン鐵道等の鐵道に食ひ込んで行つた。

グールドの銀行には北部の諸鐵道の支配權が所屬してゐる。彼はミズリー・パシフィック鐵道に信用を與へることから鐵道金融業務に關係し始めた。彼は世界大戰中に北部の大多數の鐵道にその關係を擴げた、そしてクーン・ロエブ商會と共に北部の鐵道網をその手中に收めてゐる最も强力な銀行團である。次に掲げる一覽表は鐵道運輸界に於ける各銀行の勢力範圍を示すものであるが、こ

れは銀行の獨占の高度の段階を、一國の最重要な鐵道組織の支配權と運輸業のこれ以上の發展に關するあらゆる基本的な問題の決定權とが少數の最も强力な銀行の掌中に集つてゐることを一目瞭然に示してゐる。またこの表からは銀行が統制株束と新財産を獨占的に處分する權利とを得るために或る鐵道資本の一部を他の鐵道の株式に投ずることによつて銀行の發展の地盤を擴張するその方法が看取される。

合衆國東部諸鐵道

鐵道名	支配銀行
一、ペンシルヴァニヤ	クーン・ロエブ商會
二、ニウヨーク・セントラル	ドレクセル商會 ジェー・ピー・モルガン商會
三、バルティモア・オハイオ	ジェー・ピー・モルガン商會
ニウヨーク＝ニウヘーヴン＝ハートフォード・イーリー鐵道	クーン・ロエブ商會

註　殘餘の二十人の株主は總資本の四％を所有してゐるに過ぎない。古い飲友達のヴァンダーベルトは今では自分の名で六％そこ〳〵の資本を所有してゐる。殘りはモルガンの所有。この鐵道にはペンシルヴァニヤ鐵道の資本が約一〇％投下されてゐる。會計上では現在ヴァン・スヴェリンゲンの銀行も關係してゐる。

四、リーディング鐵道	ジェー・ピー・モルガン	五〇％以上の資本がニウヨーク・セントラルとバルティモア・オハイオに所屬してゐる。そこでモルガンにこの鐵道組織をも支配する能力を與へてゐる。
五、リーハイヴアレー・デラウエアラカワナ・ウエスクーン	ジェー・ピー・モルガン、ナショナル・シティー銀行	この鐵道の株式資本の四〇％以上はウォーボンとペンシルヴァニヤに所屬してゐる。ジョーヂ・ベーカーとヴァンダーベルトは一七％の株式を所有してゐるに過ぎない。
六、ニウジャーシーのセントラル鐵道、チェサピーク＝オハイオ	ジェー・ピー・モルガン	チェサピーク鐵道の株式の大部分を成してゐるリーディング鐵道の資本に支配されてゐる。またヴァン・スヴェリンゲンも自ら五〇％の資本を所有して支配してゐる。
七、ノーフォーク・ウエスタン	クーン・ロエブ商會	ペンシルヴァニヤ鐵道の資本を通じて支配されてゐる。

合衆國南部諸鐵道

鐵道名	支配銀行
一、サザーン鐵道	ジェー・ピー・モルガン

註　ポメロイ會社の所有部分と比較してモルガンの所有資本が壓倒的である結果モルガン

二、アトランティック・コースト・ライン、ルイスヴィル・ナッシュヴィル　ジェー・ピー・モルガン商會　財團の獨占的支配の下にある。資本の約半額は鐵道會社自身の所有に屬してゐる。

三、シーボード・エア・ライン　ディロン・リード商會　約十萬株がエス・デーヴィス・ウォーフィールドの所有するところである。

四、イリノイス・セントラル　クーン・ロエブ商會　クーン・ロエブ商會に所屬してゐる約三%の資本がユニオン・パシフィックとの關係上この鐵道を支配する完全な能力を與へてゐる。

合衆國西部諸鐵道

鐵道名	支配銀行	註
一、アッチソン・トピーカ・サンタフェ	ジェー・ピー・モルガン商會	モルガン銀行の獨占的支配。
二、ユニオン・パシフィック、サザーン・パシフィック	クーン・ロエブ商會	銀行が七〇%の株式を監理してゐる。だからまたこの最も强力な二大鐵道組織を完全に支配してゐる。
三、グレート・ノーザン、ノーザン・パシフィック	ジェー・ピー・モルガン商會	モルガンと並んでアーサー・カーティス・ジェームズが支配的な株主である。子會社設立の方法でクーン・ロエブはテキサス・パシフィック・ガルフ・ユーストライン、インタナショナル・ノーザーン、及びデンヴァー・リオグランデ鐵道の半分を手に入れた。資本の半分以上は銀行の所有である。
四、シカゴ・ノースウェスターン、キューン・ミズリー・パシフィック	クーン・ロエブ商會	
五、ウォーワン、シカゴ・ミルオーキ・セントポール	クーン・ロエブ商會、ナショナル・シティー銀行	
六、セントルイス・サンフランシスコ、シカゴ・ロックアイランド・パシフィック	W・セリグマン會社、スパイヤー會社	これらの鐵道の財產のうち、八二%は上記の銀行に所屬し、一八%は鐵道自身に所屬してゐる。
七、ミズリー＝カンサス・テキサス、テキサス・シテイー・サザーン、セントルイス・サウスウェスターン	クーン・ロエブ商會	クーン・ロエブの獨占的支配。
八、シカゴ・グレート・ウェスターン	クーン・ロエブ商會	六〇%の株式を所有してゐるモルガン財團の支配。

鐵道の金融業務の完全な支配權が銀行の手中に集められたゝめに、上院の委員會は鐵道の金融業務を監査しなければならないといふ一九二〇年の條例が一片の虚僞に過ぎなくなりつゝある。銀行は全く獨立獨歩で自分の支配圏内にある鐵道の金融信用取引を勝手氣儘にやつてゐる、かういふ事情は『聯邦商業委員會』自身にも分らないわけではない。委員會は、鐵道會社は最も重要な信用＝金融取引については前以つて委員會の正式の許可を受けなければならないといふ交通條例の條項に對する多數の違反を見て見ないふりをしてゐるのである。

最も強力な諸銀行は『子』會社を設けることによつて次から次へと新らしい鐵道を自分の支配下に集めて不斷の發展を遂げてゐる。子會社ではその資本を形成し、すでに他の鐵道に投下されてゐるところの株式の比數的少數で一聯の鐵道組織を確實に自由にすることができるのである。かういふ事實は全然委員會の許可を得ないで行はれてゐる。

委員會のあらゆる規準を超越した配當の支拂がどし〳〵行はれてゐる。ウエスターン・パシフィック鐵道會社は一九二四年には鐵道幹線に投下された資本に對して三三1/3%の配當をやつた。チェザピーク會社は所有鐵道資本を基礎として五分利附社債四千八百萬弗を上院の委員會の許可を求めずに賣出した。

すべてこれらの事實は鐵道に關係してゐる銀行が高い利潤を手に入れる典型的な方法を物語つてゐるに過ぎない。かういふ事實は、上院の委員會が右のやうな鐵道會社の資本合併方法を禁ずるといふ決議をした後も決して改善されなかつた。

四　〔鐵道資本の構成〕

一　合衆國に於ける運輸事業投下資本の性質　合衆國に於けるすべての大鐵道體系の資本金は貸付資本の代表ともいふべき多種多様の有價證券を包括してゐる。それがためにアメリカに於ける鐵道體系資本の構成を全般的に說明することは甚だ困難である。

アメリカの殆んどすべての大鐵道は、かりにそれを銀行資本の構成方面から研究するならば、起工の當初一定の鐵道幹線に投資した數百の株主とコーポレーションを包括してゐる。

鐵道及び銀行資本が如何なる過程を經て少數大株主の手に集中し、また如何なる過程を經て大多數の個々の株主と小さな地方的コーポレーションとが一定の鐵道の金融統制に對する自己の影響を全然驅逐されるかについては、本論文の最初の部分に於て述べた通りである。

鐵道株とその社債券に關する問題について具體的に觀察しやう。鐵道證券はこれを四種の型に大別することができる。

その第一の型に屬するものは〔普通の〕社債券であり、それは鐵道幹線の工事開始に先立つて發行される。この社債券の發行は建設さるべき鐵道の各部分に關聯する多數の個別的社債券を包含するのを常とする。社債券のこの型に屬するものの評價は最も困難である。なぜならば、鐵道の個々の部分と技術的仕組の多樣性が、この型の社債券に於てそれ〴〵異る評價を持つからである。これらの社債券が第二流の鐵道支線乃至は、その經濟的意義を失つたところの部分を包含するとき、この型の社債券は大銀行の代理者としての基礎會社の手中に集中するのが常である。

その第二の型に屬する證券は、抵當付社債券であつて、それは他の所有者に屬するが鐵道によつて利用されてゐるところの土地所有と結び付いてゐる。鐵道はその土地所有を長期社債券の發行手段と考へるのを常とし、資金に對する會社の當面の要求を滿すに足る額の證券の追加發行を時日を追ふて行ふのである。抵當付鐵道社債券の長期性は鐵道に對して多くの特典を與ふるものである。鐵道が個々の會社による短期社債券の發行よりも寧ろ長期のものを選ぶ所以はそこにある。

その第三の型に屬する證券は、以上二つの型のそれとは異り、銀行及び商工業機關から通常貸付金を取得することと關聯してゐる。アメリカの經濟學者は通常貸付をもつて債務者に對する信用に基く金融事務と解してゐる。銀行を仲介として發行される多數の株式、有價證券がこの種の型に屬する。それに對して鐵道會社は一定の配當をする義務を持つてゐる。

鐵道證券の第四の型に屬するものは、大〔物資〕供給地及び中心地に於ける終驛――『終點』――といふやうな特殊的な形態の財產の保證と關聯してゐる。これは最も安定した有價證券であり、それは前述の抵當付乃至は銀行信用證券と混同してはならない。

鐵道株券の價格は色々な要素に依存してゐるが、それは三つの基本的な群に歸着することができる。

（一） 貨幣市場の狀態と弗價　貨幣價値の低下は、一定の貨幣收入を得ることのできる債券の價格をも低下させる。一九二一年以後大部分の鐵道證券の價格は著しく下落したが、それは貨幣及び信用市場に於ける變動によるものである。

（二） 信用を求めてゐる鐵道會社自身の金融的及び經濟的地位　基礎的な要因――貨幣及び信用市場の狀態――が決定的なものではあるが、それにも拘らず、鐵道株價の部分的變動に於ては鐵道會社並にその背後に立つ銀行の信用上の能力と堅實性とが重要な役割を演ずる。

（三） 個々の鐵道會社によつて發行される各種の債券、證券の發行數量の相互關係　株式の市價は需要供給の相互關係、公開市場で需要供給がどう組合ふかによつて決定される。しかしながら需

要供給といふ要因の背後には、鐵道會社によつて發行された證券の價格を動搖させる市場的要素がある。これらの要素中の主要なものを考察しやう。

二　特殊的債券の存在とその性質　一定の鐵道會社によつて發行されたあらゆる種類の全債券の發行金額を、その鐵道會社の事實上の資本金額と對比すると、前者の金額は常に後者のそれよりも大である。この事實はあらゆる經濟的文獻の中に認められてゐる。しかも次の事實が示されてゐる、即ち、最近二ケ年間に行はれた少なからぬ數の鐵道會社の破產はこの喰ひ違ひと、鐵道會社が借入資本に對する利子を正確に支拂ふことができなかつたこととによつて惹き起されたこと。多くの場合小株主は、鐵道會社の全體としての金融活動上の効果を高める目的をもつて鐵道會社の金融活動を統制する權利を與へよと會社に要求してゐる。そこで、大株主によつて所謂『評價買』(Assessment) が行はれる。言ひかへれば、株式及び社債券が市價に關係なく額面よりも高價で買ひ占められるのである。鐵道會社は、若干の大株主（銀行）の手に移り、彼等によつて獨占的支配が實現される。

鐵道の實資本額が、各種の株式及び社債券の形をとつた擬制借入資本額に遙かに及ばぬといふ事實は鐵道會社の大多數を最大の難問題——鐵道會社の經營するあらゆる事業からの收入と資本利子支拂との關係——に當面させる、注意すべきことは、或る鐵道會社の發行する證券の數額が鐵道の一定部分、終點、乃至は主要線と關係するを常とすること、これである。運轉圖表に變化が生じた場合とか、例へば特殊な性質の社債（鐵道敷設と關聯して行はれた擔保、債務）を所持するフストーン鐵道の場合の如く幹線から支線になつたときかいふときには、鐵道會社はどうして利子を塡補するかといふ困難な問題に逢着する。それと同時に、全體としての鐵道收入高の決定に困難が發生する。なぜならば、どんな統計學者も運轉圖表の變化に於けるそれ等の特殊性を計算し得ないからである。既に述べたやうに短距離運送をやる自動車との競爭は、大多數の支線の收入を減少し、採算を取れなくする傾向を持つのである。

借入資本額の線路哩數に對する正確な割合を決定することは不可能である。幹線が鐵道收入の基礎的指數となつてゐない限り、そこには最も多樣の關係が存在する。そのことは個々の鐵道の活動を輸送量といふ一面で比較すると全く明かである。若干の數字を擧げやう。シカゴ・ミルウォーキー——プーヂエット・サウンド鐵道二千哩の幹線に對して發行された社債の金額は二億弗で、即ち一哩當り十萬弗である、ハーレム・リバー——ポスト・チエスター鐵道は一一・四一哩に對する一千五百萬弗、即ち一哩當り百三十萬弗であり、ナガトツク鐵道は一哩當り四萬一千四百三十二弗、フース

トーン鐵道は哩當り三萬二千八百七十弗である等々。一哩當り借入資本金の數字をもつて鐵道會社の債務を說明する場合に決定的なものであるとすることはできないにも拘らず、經濟學者の大多數は、平均して一哩當り少額のものはより多額のものに比してより良好な證據だと見てゐる。

三　貸付資本の方面に於ける鐵道會社の債務條件　以上で吾々は鐵道會社による證券及び各異る性質の社債券のそれぞれの發行は財產の同一部分を基礎としてゐることを見た。若しも鐵道會社の債務をその決濟時期の方面から見ると、次のやうな光景が展開される。即ち一つの債務の上にまた他の債務が成長するのだ。例へば第三第四の負債は種々な改革の形式をとつて分割され整理され得るだらう。だが早期の負債は鐵道收入に對して相當の要求權をもつてゐて分割するわけには行かない。改革が成功の場合は、一定鐵道會社は哩當りの債務をより輕減し得るが、鐵道の重要性に於ては等しいが、哩當り多額につく債務をもつところの部分は改造の金融的効果を低下させる恐れがある。

續く債務は當初の債務を償却するが、その間、僅かな程度で債務の累積が行はれる。例へば、イーリー鐵道會社（ペルモント――ドンキルク間）は十口以上に亘る各種の債務を償却したが、この場合最初の五つ口の債務は最後の社債が發行される直前には總額一千二百八十八萬三千五百弗に當つてをり、哩當り約三萬弗の減少を見た。ノーホーク・ウエスターン鐵道會社の主要線に對する二種の債務額は九千六百萬弗であつたが、同社は世界に於て最も收益多い有望な二千哩に亘る堅實な線を持つてゐるのであるから、哩當り債務額は比較的僅かであつた。

鐵道會社の大部分は、舊債務を完全に償却してゐない、寧ろ新債券の發行によつて債務を增加する傾向にある。

保證の性質は次の如くである。新社債の發行は、鐵道會社によつて或は全部、或は單にその一部が保證される。發行社債の單なる一部が保證されるのが通例である。この事實が、それらの證券の質に反映するのは勿論である。オレゴン・ショート・ライン鐵道會社によつて發行された二千三百七十五萬二千弗の社債には、一九二八年に利廻り四・二八％價格一一〇¼弗で賣れた一千六百四十二萬四千弗の保證された部分と、利廻り四・一五％價格一一〇¾弗で賣れた保證のない部分とがあつた。オレゴン・ショート・ライン會社の如き鐵道會社の實例は次の事實を物語る、即ち高率の收入を得てゐる鐵道會社では、債券の保證部分と無保證部分との間の賣却條件の差異は僅かであることこれである。

發行された各々の鐵道社債が約束する特典と利子とはまだそれだけでは取引市場で各債券の急速

な買氣を呼ぶことができない。鐵道會社のニウヨーク株式取引所への個々の進出は、それらの會社がウォール・ストリートでよく知られた大銀行の引受けと、保證を持たぬ限り、金融上の成績を收めることはできないだらう。

發行數の數量について言へば、證券、社債券の巨額の發行は、少額發行に比して、普通より高價に賣却される。社債の巨額な場合は常に債務關係銀行の莫大な保證をもつてゐる、從つて大きい取引所投機の機會を生む。餘りに特殊的な發行（支線の敷設、新設等に對する）並に擔保附債務は鐵道會社としては賣出しに際して大なる困難を持つのが通例であるが、さういふ意味で、證券自體の性質が一定の役割を演ずることは勿論である。

四　債務償却資金と買戻しの性質　鐵道會社は社債に對する一定の利子を定期的に債權者に支拂ふ。その利率については前に述べた。償却資金は毎年の積立金をもつてこれに當て、通常の支拂やまた手持證券の價格釣上げのための要素として利用されるのが普通である。

社債償却資金が社債の市價を決定する要素として一定の役割を演ずることができるためには、それが相當の額であること、そして健全な積立金によつて規則的に充實されなければならない。

次に掲げる表は主要鐵道會社に於ける前述した資金の構成を説明するものである。

證券發行	債務總額（單位弗）	毎年の控除資金	各證券の市價
セントラル・パシフィック（擔保付證券）…	四、三三六、五五〇	一年二五、〇〇〇弗	一〇〇—一五〇
チェザピーク・オハイオ（擔保付）……	四、〇三五、〇〇〇	總額の一％と決定	一〇五
コール・リバー……	二、四四一、〇〇〇	各發行の一％	一〇〇
グリーン・ブリヤー……	一、五九九、〇〇〇	同じ	一〇〇
シカゴ・ノースウェスターン……	九、二七三、〇〇〇	發行の一％	一〇五
ミルウォーキー・レーク・ショアー……	三、五七七、〇〇〇	同じ	一〇〇
ドルス・ミッサベ・ノーザーン（擔保付）……	七、三七、〇〇〇	發行の二％	一〇五
ペンシルバーニヤ・エソエ……	二三、二五六、〇〇〇	石炭一噸當り十セント	一〇五
ホッキング・ヴアレー（連帶）……	一五、八九五、〇〇〇	輸送石炭一噸當り二セント	一〇五
ノーフォーク・ウエスターン……	一三、二六九、〇〇〇	輸送石炭一噸當り二1/8セント	一〇五
ノーザン・パシフィック……	一〇八、一九八、〇〇〇	五十萬弗以上證券賣却收入の1/2	一一〇
ペンシルヴアニヤ（三1/2％は株券）……	三〇、三三五、〇〇〇	發行の一％	一〇〇

歐洲大戰の繼續年中、當時鐵道運賃は最高率に達し、鐵道會社は高利率新社債券の發行と繼續的償却によつて、有利な成績をもつて戰前の多くの諸債務を決濟することに成功した。

五　鐵道投資に關係をもつ銀行と主要金融機關　合衆國には現行法律によつて運輸事業に投資を許された若干群の金融機關が存在してゐる。同時にこれらのコーポレーションが全鐵道證券數額の

主要な所有者となつてゐる。

これらの機關は新社債の發行に際して、新らしい數額の株式を消化すべき市場の潜在能力を算定する、この能力は新債券の市場相場を決定するのである。鐵道會社の資本金の五〇%以上を所有する主要な金融機關に屬するものは(一)保險會社、(二)貯蓄銀行、(三)商業銀行、(四)信託會社(Trust Companies)である。

これらの機關は一九二八年及び一九二九年には市場で發行された各種の鐵道社債券及び證券の四割以上をその掌中に收めてゐた。

かりに、アメリカ鐵道會社の活動が最も有利であつた年、即ち一九二八年に於ける投資額百九億弗といふ數字を取つて見ると、次のやうに分類される。

コーポレーション名	鐵道有價證券額(單位千弗)
生命保險會社	二、四一三、三〇八
相互貯蓄銀行	六四六、八三六
國立銀行	六三一、三八七
火災、傷害、災害、福祉保險會社	三四一、〇〇〇
州立銀行	二七七、五二一
株式貯蓄銀行	九、九七七
個人銀行	三〇八
合計	四、三八〇、〇〇〇

一九二一年と一九二六年(最高景氣年度)との統計を比較し、アメリカの個々の金融機關の鐵道資本金市場に於ける經濟を見ると次の如くである。

コーポレーション名	鐵道有價證券額(單位千弗) 一九二一年	一九二六年
生命保險會社	一、七一八、八三三	二、五一七、七八九
貯蓄銀行	八八七、五〇七	六四六、八三六
國立銀行	四〇四、九三六	六一三、三八七
信託會社	三三六、〇三八	二七七、五二一
州立銀行	八二、三三五	六〇、一五一
株式貯蓄銀行	一三、一七一	九、九七七

個人銀行	一、六五八	三〇八	
火災傷害保險會社	二五六、〇〇〇		
計	三、六九、四五八	三四一、〇〇〇	四、四四、九六九

オハイオ州とネブラスカ州とを除き、全州を通じ北アメリカに於ては生命保險會社が鐵道有價證券を取り扱ふことを許されてゐる。短期間のうちにこれらのコーポレーションは鐵道證券の大所有者となつた。次のことを示せば充分だ、アメリカ合衆國に於ける十五の主要生命保險會社の投資を分析して見ると、鐵道證券はそれらの會社の管理下にある全證券額の五割を占めてゐることが判る

貯蓄銀行團は運輸事業投資のコーポレーション中で第二の地位を占めてゐる。その投資額は九十億弗に達する。これらの銀行事務はニウヨーク、ニウ・ジァーシー、ニウ・イングランド、及びペンシルヴァニヤ等の工業及び運輸の重要中心地で最も有力な地位を占めてゐる。これらの地方では貯蓄銀行の事務の九三%は鐵道證券に關する事務である。各州の法律は貯蓄銀行の鐵道運輸への投資を社債發行高と證券それ自身の性質との點で調節するを常とする。

社債による債務の償却問題に利害關係を持つてゐる貯蓄銀行はその投資政策では次の二つの要素から出發する。即ち(一)幹線の延長哩數(物理的技術的要素)(二)鐵道の收入(金融的要素)。

ヴァーモント乃至ロード・アイランド等の州は百哩を最少限度とし、ニウヨーク、マサチュセッツ、コネクテカット及びワシントンでは五百哩を最少限度と定められた。これらの州を通る鐵道の年收は百五十萬弗から二百萬弗の間を上下してゐる。

配當率は鐵道に投資されたすべての形態の資本に關する材料の算定に基いて計算されるのであるがいづれにしても四分を下らない。

擔保付證券に關する貸付は期間は十五ヶ年と定められ、この種の證券は六割から九割までの鐵道會社の財産によつて保證されなければならない。

擔保付社債券、株式、及び證券の外に鐵道會社財産及びその基礎的資本金の一定部分と關係を有する特殊なタイプに屬する數種の社債券がある。この種の社債券の有する意義を考察することの重要であるのは、それらの總額が二十億弗を超える點から見ても明かである。

社債乃至は增資株發行の形式で借入れた資金で不足の場合には鐵道會社は、その全財産によつてゞはなく、新たに融資を受ける資本の助けで維持される設備品或は敷設によつて保證された特別保證債券の發行手段をとる。鐵道會社は特殊な契約によつて、事業計劃遂行期間中の支拂額と支拂期日とを定め、事業完了後債務は悉く鐵道に繰り入れるのである。

各種の特別保證債券中最も有利であるとされてゐるのは、所謂『終點證券』であり、最後の連絡ステーションの完成に際して鐵道會社によつて交附さるべき債券である。主要株主によつて取得されるこの種の證券の利潤は平均率を遙かに超へ、それに匹敵するものは『鐵橋證券』(新らしい鐵橋の建造と關係した社債券)あるのみである。各種の證券からの收入は鐵道收入とその金融狀態とに應じて上下する。公式統計中にある統計は、投資の價額も、またそれによつて得られる生産的金融的成果をも正確に反映してゐない(しかし主としてこれを利用しなければならぬ)。それらの統計は取引所指數や市場指數に基いた概略的な評價に過ぎない。

我々は、經濟的見地から見たアメリカ鐵道の電化問題を特に言及する。なぜといふに、この領域では巨額の投資の結果と、長期間に亘るそれらの生産的金融的成果とを比較的容易に見究め得るからである。

六　鐵道事業の基礎資本の性質　鐵道事業の基礎資本はアメリカに於ける他の會社のそれとは若干異る。その原因は次の如くである。第一に、鐵道の總收入は、運賃率の決定を經て、一九二〇年發表の運輸條例に基き聯邦商業委員會によつて間接的に規制される。他方、鐵道基金に對する收入の水準は相對的に安定してゐる。鐵道會社によつて採用されてゐる配當金政策は最も保守的なとされてゐる。鐵道株式の新發行は、アメリカでは、それぞれ政府機關の正式の認可を要するから、それらの基金は比較的安定した高い價格を維持してをり、株式市場に於ける投機の目的物とされることが少ない。

我々は次に、株式市場に於ける鐵道株の地位を決定する二つの基礎的要因を簡單に考察する。

一、各債券に對するあらゆる財源から生ずる會社の收入　株券收入は、單に基礎的鐵道の純收入を含むばかりでなく、『親』鐵道會社によつて統制されてゐる鐵道の收入をも含む。かういふ事情は株式の收入水準を高め、基礎會社内の指導的グループに『親』會社の總利益をその手中に收めさせながら、常に被統制鐵道會社から上る利益を分配させるのである。鐵道會社の組織が大規模であればあるほど、鐵道會社の大きなサークルを獲得すればするほど、その會社の株式の分布地盤は益々擴大し、ウォール街に於けるその株式の地位は益々信用を高めるのである。

二、配當政策　聯邦商業委員會側からする鐵道會社の收入高の統制があるにも拘らず、配當資金として總收入からの控除額は、未だ曾つて五割を下つたことはない。鐵道會社の大部分が、鐵道の技術的改革をなすに必要な追加資本とそれによつて他會社との競爭を一層有利にするための追加資本とを必要とするから、會社は株主に對してその收入の大部分を餘儀なく支拂ふのである。

ハリマンは大金融業者とばかりでなく、鐵道會社の指導者の一人として考へられてゐたが、彼は現に所有されてゐる弗に『配當金』弗が對應するやうな狀態を理想的狀態と考へてゐた。

若しも基礎資本の償却に對する一定比率の制限がなかつたならば、鐵道會社はより積極的な配當政策を用ひるかも知れない。一九二〇年の運輸條例によると、鐵道會社は資本金の五・3/4%以上を毎年積立てる義務が課されてゐる。

最近數年間には鐵道體系の基礎資本への繰入は增加し、配當金として分配さるべき部分が相對的に減少する傾向が見える。主要鐵道會社（ペンシルヴァニヤ、ニウヨーク・セントラル、イーリー、バルティモア・オハイオ等）は配當金の部分を著しく超過する財源を資產に繰入れてゐる。すべてこれらの事實は相互關係——巨額の投資は他鐵道との競爭を有利にし、結局收入を增加する——の方面から觀察すべきことは言ふまでもない。

左に掲げる表は一九二九年に於ける主要鐵道會社の配當金政策を要約するものである。

鐵道名	一株當り總收入（單位弗）	一株に對して支拂はれる配當金（單位弗）	配當として支拂はれる部分の總收入に對する%
シカゴ——ブルーリングトン	一三・九八	一〇・〇〇	七一・五三
ニウヨーク——シカゴ——セント・ルイス	一六・一五	一一・〇〇	六八・一一
デラベル——ラカバナ	一〇・六一	七・〇〇	六五・九七
レーハイ——バーリー	八・二八	五・〇〇	六四・三四
ユニオン・パシフィック	一六・六四	一〇・〇〇	六〇・〇一
イリノイ・セントラル	一二・〇六	七・〇〇	五八・〇四
シカゴ・ノースウエスターン	六・九二	四・〇〇	五七・八〇
サウス・パシフィック	一一・二九	六・〇〇	五三・一四
ノース・パシフィック	九・八五	五・〇〇	五〇・七六
セント・ルイス——サンフランシスコ	一四・一三	七・〇〇	四九・五八
チェズピック——オハイオ	二四・六四	一二・〇〇	四八・七〇
ペンシルヴァニヤ	六・七三	三・一二	四六・三〇
リーディング	一一・二二	五・〇〇	四四・六〇
グレート・ノーザン	一一・七八	五・〇〇	四二・四四
ノーフォーク・ウエスターン	二五・七一	一〇・〇〇	三八・八九
サザーン	一九・八一	七・〇〇	三五・二八
ニウヨーク・セントラル	二〇・七一	七・〇〇	三三・八〇
バルティモア——オハイオ	一六・九二	五・二五	四一・〇三
アッチソン——トペーカ——サンタヘエ	二三・五一	七・〇〇	二九・七七
アトランティック・コースト・ライン	二六・七二	一〇・〇〇	二七・二三

巨額な投下資本を有する鐵道は、一株當りの配當が比較的少ないにも拘らず、株式市場ではより

安定した地位を持つのを普通とすることについては既に述べた通りである。最近數年間に配當率は相對的比率から見れば殆んど安定してゐるが、實際數字から見れば增加してゐる。一九二〇年の『運輸條例』は鐵道會社に對して投下資本の六%を超過する收入額はその中の五割を準備積立金に他の五割を法定積立金に繰入れることを規定してゐる。現在の基礎資本から五%づゝ蓄積された準備金は配當金の支拂に、資本の利拂ひに、或は他の社債のために、或はまた他の鐵道の借款のための財源として利用することができる。

七　資本化の性質と鐵道基金の價格運動　普通鐵道會社は比較的小額の債券發行を選ぶ。かういふ政策は大量の債券發行の場合に生ずる破壞的結果、即ち取引所投機の對象となり、鐵道の金融的地位の確實性を破壞することを、未然に防ぐのである。他面、節度ある債券發行は各株式當り取得配當金を多くし、金融狀態の惡化が配當基金を收縮する時は、過激な低下が起ることを防ぐ。

一方では鐵道の總收入、他方では借入社債に要する支拂（この中には定期の配當金支拂も含まれる）、この相互關係は個々の鐵道によつてちがふ。平均それは二〇%、即ち一〇〇對八〇を超えない。かくて一九二九年にセント・ルイス――サンフランシスコ鐵道では租稅を差引いた鐵道總收入は二千四百萬弗であり、追加資本と配當金との利拂ひは二千萬弗であつた――かくて保證の限度は約一七を上下してゐた。

次のことを指摘しなければならない、即ち鐵道基金中には株券とか證券とか社債券とかまた證明書とかその他種々な工業會社の債券とかの形で多額の資本的基金がある、それは鐵道に『不活動收入』(non operating income) 即ち直接運輸活動以外からの收入を與へてゐる。鐵道會社は多くの古いコーポレーションの中で數多くの種々な變更や改造を經てゐるが、勿論他の工業部門と關係をもつてゐたし、これらの工業組織、殊に石炭會社や石油會社、金屬工業や森林工業の資本中に取り上げられたのである。だが今日は鐵道會社は鐵道會社でまた工業及び農業の基金中から追加的收入を取得してゐる。一九二九年に次の諸鐵道は運輸に要する財產以外の財產を利潤の源泉としてもつてゐた。

鐵道	所有の性質	收入額の狀態
アッチソン・トペーカ・サンタヘェ	石油工業	鐵道は一九二〇―一九二八年に配當として二千八百萬弗以上を取得した
デラベル・ハドソン	石炭坑と土地所有	一九二六―一九二八年の間に石炭鑛山から六百萬以上の利子を受取つた
エリオー	石炭工業	一九二六年前即ち聯邦商業委員會によつて統制される前に八千五百萬弗以上所得した
ニウヨーク・ニウーヘヴェン・カ	土地所有	收入不詳

ルトフォード		
ノーフォーク・ウエスクーン	石炭坑	一九二八年に約千八百萬噸の石炭を賣つた。多額の準備金をもつてゐる
ノーザーン・パシフィック	工業（北西修繕會社）と土地所有	毎年百五十萬弗の配當金を所得してゐる、炭山及び石油坑を含む九百萬エーカーの土地を所有してゐる
サザーン・パシフィック	土地所有	合衆國に一千萬エーカーの土地を所有してゐる
ユニオン・パシフィック	炭坑と金屬鑛山	石炭會社は一九二四―一九二八年の間に七百萬弗の配當金を支拂つた。工業會社（金屬）からの收入は含まれてゐない

鐵道有價證券の價格曲線は一九一〇―一九二一年の期間に一一八ポイントから七五ポイントへ下落し、一九二一―一九二九年には七五ポイントから一三〇ポイントに暴騰したことを示してゐる。この曲線は熱狂的『繁榮』、工業資本の價格曲線と比べて波瀾が少ない。同期間の鐵道資本の價格曲線は次のやうな數字の工業曲線に對應してゐるのである。即ち工業曲線では一九一〇―一九二四年に九〇から七〇へ低下、一九一四―一九一六年に七〇から九五に上昇、一九一六―一九二一年に九五から八二に低落、一九二一―二四年には曲線が八四から二〇〇以上に激騰してゐる。有名な一九二九年のウォール街の十月大動亂はこの熱狂的投機的昂騰に代るに破局的瓦落と、たつた一週間のうちに百六十億といふ資金減價とをもつてしてゐる。この大動亂はその價格低落となつて鐵道資本に反映してゐる、尤も幾分緩和された形ではあるが。

八　特殊な保證付社債　吾々は前に金融逼迫時期の特殊な借入が鐵道に對してもつ意義を明かにした。これらの債券の特權と收益性とは普通のものより高いのが常である。屢々特殊な條件で信用を與へる銀行や金融機關はこれから莫大な收入を得る。たとへば生命保險會社は一九二八年に同樣な條件で一千萬弗以上の信用を與へたことを述べれば充分である。保證附發行は普通長期であつて各株券に對する利廻りはその敷設に資本が投下されたところの鐵道の收益性の增加と共に增大してゐる。

ニウヨーク――ハーレム鐵道の債券は一株十弗で一千萬弗發行されたが、一割の配當金を與へ、しかも株價は一九二八年に百七十五弗まで騰貴した、同樣にアーバン――サスクベヘナの債券はその株券の利廻りが三½%から一一%に增加した。これらの債券は主として鐵道築堤が貫通してゐる大中心都市に於ける土地や建物の所有と關聯してゐることを注意しなければならない。鐵道がこれらの地面を獲取することは莫大な收入をあげる最後の源泉なのだ。

……

現在の合衆國の工業及び金融恐慌はアメリカの基金及び配當金政策の傳統的確實性を震撼した。資本的運輸基金の構成とその基礎的部分の比重とには著しい改變が行はれてゐるのである。

三　アメリカ合衆國の資本輸出

メカニーク

〔ゲー・メカニーク『アメリカ合衆國の資本輸出』世界經濟と世界政治一九三〇年第七、八、九號〕

一　戰前の投資

アメリカの資本輸出は比較的新らしい現象である。まだ二十世紀の初頭にはアメリカの外國投資は約五億弗に等しく(1)、今世紀の最初の全十年間に於けるアメリカの投資の增加は吾々が最近二十年間に見るものと比較することは困難である。しかしこの增加は充分急速なテムポで行はれてゐる。一九〇九年にはアメリカの外國投資は二十億弗を數へた、しかるに戰爭直前の投資は、同一統計によると(2)、合計二十六億五百萬弗をもつて言ひ現され、これは種々の國に次のやうに分配されてゐた。

國名	金額（百萬弗）
カナダ	七五〇

三　アメリカ合衆國の資本輸出

キューバ	一〇〇
メキシコ	一、〇五〇
中央アメリカ	五〇
南アメリカ	一〇〇
ヨーロッパ	三五〇
支那及び日本	一〇〇
ヒリッピン	七五
ポルトリコ	三〇
合計	二、六〇五

(1) ダン『アメリカの對外投資』(American Foreign Investment) 二頁。
(2) フィスク『ヨーロッパ及びアメリカの金融狀態』〔露文〕『經濟生活』出版。

この金額に合衆國の巨額の負債が對立してゐた、これはまたヨーロッパ人をして資本輸出發展可能性の見地から見て合衆國の力を過少評價させるに至つたのである。合衆國に輸入された外國資本額は種々に計算されてゐるが、多くの計算は四五乃至五〇億の限界内を上下してゐる(3)。なほサルトリウス・フォン・ワルテルスハウゼン (Sartorius von Waltershausen) は外國の對アメリカ投資をやゝもつと高い數字で評價してゐる(4)。

(3) ダン『アメリカの對外投資』、ウィンクレル『アメリカ——世界の銀行家』〔英文〕。
(4) サルトリウス・フォン・ワルテルスハウゼン『世界戰爭中の外國資本』〔獨文〕二三頁。

合衆國はほゞ前世紀の九十年代に世界資本市場に現れてゐる。好景氣は一八九七年から一九〇二年まで續き、その結果多額の貿易差額受取超過をもたらしたが、これはアメリカの最初の登場のために有利な前提を作り出した。ワルテルスハウゼンの計算によると、合衆國の總負債はこの期間に約十三億五千萬弗減少した(5)。成程彼の數字はやゝ過大に計算されてゐるかも知れない。彼は一般にこの期間に於けるアメリカ投資額を過大に評價しやうとする傾があるやうに見える。そこで彼の計算によると、アメリカの投資額は一九〇二年に約十三億弗から十五億弗に等しかつた。これはダンの當該數字より殆んど三倍も大きい。しかしウィリアムズの掲げてゐる表は正にアメリカ鐵道の外國負債がこれらの年に如何に減少したかを物語る絶好の指標として役立つことができる。アメリカ鐵道がヨーロッパ資本の主たる投下領域であることは忘れてはならない。次表は外國人所有株數の運動を示してゐる。

	外國人の手許にある株の比率	
	一八九〇—一八九六年	一九〇五年
イリノイ・セントラル	六五	二
ペンシルヴァニヤ	五二	一九
ユースヴィル・ナッシヴィル	七五	七
ニウヨーク・オントリオ及びウエスターン	五八	一三
ニウヨーク・セントラル及びハドソン	三七	九
リーディング	五二	三
グレート・ノーザーン	三三	二
バルティモア・オハイオ	二二	一七
シカゴ・ミルウォーキー・セント・ポール	二一	六

（5）サルトリウス・フオン・ワルテルスハウゼン『外國投資の國民經濟的體系』〔獨文〕二四五頁。

アメリカ人は自國貨債券を買ふと同時に非常に勢力的に外國貨で自己の資本を投下してゐる。これらの年の間にニウヨーク取引所では種々な大貸付が行はれた。イギリスの戰時負債の一部が三月合衆國で發行されてゐるが、この事實はニウヨーク取引所の世界的意義を非常に適切に説明するものだ(6)。

（6）サルトリウス・フオン・ワルテルスハウゼン『アメリカ合衆國の貿易差額』〔獨文〕一五二頁。

この事實は當時の人々に混亂した印象を與へた。この場合勿論過大評價がないわけではなかつた當時初めてヨーロッパの諸新聞にアメリカの脅威に關する諸論説が現れ、最後に『アメリカのヨーロッパ侵入』(The american invasion of Europe) といふ非常に特色ある名稱をもつたバンダーリップの著書が現れてゐる。しかし眞面目な經濟文獻はこのアメリカ資本の最初の登場をもつてヨーロッパとアメリカとの金融關係の新時代の開始と評價する傾きを持つてゐた。一九〇七年に、即ち相互負債のバランスの變化が新にヨーロッパにとつて有利となつた後、ワルテルスハウゼンは資本輸出に關するその大著の中でこの期間（一八九七—一九〇二年）について次のやうに書いた(7)。『この六年はかくて合衆國の世界經濟的地位を完全に變化した。殘餘の世界に對する負債は存在してゐる、しかし疑もなく消滅しつゝある。たとへ一九〇三——一九〇八年の貿易差額受取超過が前六年間の平均水準に達しないとしても、やはりその期間に支拂超過は十二乃至十五億弗以上も減少してゐるし、殘額が消滅するまでには僅か數年とかゝらないだらうことは確かである。若しヨーロッパ

諸國が何かの形で大國際戰爭に加はるならば時期の到來がもつと早いことは自明である。』

（7）サルトリウス『國民經濟體系云々』（前揭書參照）二四六頁。

現在戰爭の歷史に照して見るとこの言葉は豫言のやうに響き得る。しかしこの文章を書いた一九〇七年にはかゝる主張は少しばかり過大評價の主張であつた。貿易差額が有利であるにも拘らず合衆國の支拂差額はその特殊な構成のために支拂超過であることを示した(8)。吾々はこの支拂差額の中で運賃とか移民の送金とか旅行者の支拂とかいふ項目が演じた役割を忘れてはならない、況んや毎年の利子及び償還金はいふまでもない。合衆國の貿易＝及び支拂差額の構成を說明するために、吾々は支拂差額の目に見える項目と目に見えぬ項目の運動を示す二つの表を揭げる(9)。

〔支拂差額〕　單位百萬弗

〔貿易差額〕

目に見える貸方	一九一一—一九一三年	目に見えぬ借方	
商品	五五五・三	金	二一・四
銀	三・三	平均輸入超過	二一・四
平均輸出超過額	五九七・六		

目に見える貸方の平均超過額……五八六・二

〔貿易外收支〕

目に見える貸方		目に見えぬ借方	
平均數	二〇	外國へ支拂ふ純利子	二〇〇
		旅行者の支拂	一七五
		移民の送金	一七五
		純運賃支拂	三五
		雜	二〇
	二〇		六一五

目に見えぬ借方の純超過額……五九五

（8）同書二四八頁。

（9）ボックス『國際貿易差額の理論と實際』（The international trade ballance in theory and Practice）五三及び六四頁。

見る通り、數千萬弗の純資本輸入があるといふ條件の下で初めて支拂差額は均衡に達したのだ。ボックスはこの輸入額を二千萬弗と評價してゐるが、サルトリウスは七千五百萬弗にも等しいとさ

へ考へてゐる(10)。輸入額の評價はまちまちであるが、それにも拘らず文献中ではあらゆる場合に戰前合衆國の負債が增加してゐることについては少しの意見の不統一はない。そして事實合衆國が國際貨幣市場に初めて嵐の如く登場したその翌年の資本輸入は合衆國自身の輸出を凌駕してゐた。嵐の如く發展した國民經濟の需要は多額の外資を吸收し、同時に外國に投下し得る資本額を減少さしたのである。しかしサルトリウスはたゞ發達のテムポを測定する場合に誤謬を犯した(11)。これらの年にアメリカは將來世界の銀行家に變化するための諸條件を準備したのだ。アメリカ人は輸入すると共にその資本を輸出したし、この方向に益々積極的な政策が向けられたのだ。しかもそれに有利な事情が結び付いてゐた、即ちアメリカは貸付資本を輸入し、工業資本を輸出した。利子額と工業利潤との差額がアメリカ資本の利用するところとなつたのである(12)。

(10) サルトリウス『世界戰爭中の外國資本』二四頁。

(11) なほ戰時に書いた前掲著書中でサルトリウスは別な見解を披瀝してゐる。彼は戰前のアメリカの資本不足について述べてゐる。またバリーの論文集『外國信用』〔獨文〕二三〇頁中の合衆國の支拂差額を參照。彼の言葉によると一八九五年から一九一〇年に至る十五年間の負債は四十億（二十五億から六十五億）弗增加した。尤もこの期間の最後の全年には負債增加のテムポは減少したが。一九一二年にはアメリカの外資輸入は彼の統計によると一――一・五億弗に等しかつた、だが國際金融業の上昇が著しく僅かだつた一八八九年にはそれが二億弗といふ額に達した。

(12) ブリウス『外國投資』〔獨文〕、またステルンベルグ『帝國主義』〔獨文〕五五四頁參照。

このやうな種々なる方向への資本移動は少なからずその地理的分布と關聯してゐた。アメリカの輸入する資本はその大部分がヨーロッパ系のものであり、アメリカの資本輸出についていへば、第一にそれはアメリカ大陸諸國に向けられた。在外〔資本〕總額二十六億五百萬弗のうち二十億五千萬弗は北アメリカ及びラテン・アメリカに分配されてゐた。

アメリカの投下資本額の點で第一位を占めてゐたのはメキシコであつた。既に一九〇四―五年にはこの國に於けるアメリカ資本總額は五億弗に等しかつた、しかもこの半額は今世紀の最初の五ケ年間に投下されたのである(13)。一九一一年にはアメリカ資本は巨額（十億弗）に達し、最後に一九一三年にはその金額十億五千八百萬弗と評價された。メキシコの全國民財産の約半分はアメリカ人の掌中にあつた、これにイギリスの投資額三億二千百萬弗が對立してゐた。なほアメリカの銀行家はメキシコに於けるアメリカ資本額をやゝ少さい數字で、即ち七億弗と評價する傾きがあることを注意しなければならない。彼等は多くのイギリス投資がアメリカ銀行の手を經て行はれ、從つて資本輸出として登記されてゐると考へてゐた(14)。アメリカ資本の多くの部分は鐵道に注ぎ込まれ（六億四千四百萬弗）、鐵道の七〇％はアメリカ人に屬してゐた。次位を占めてゐたのは鑛山業でア

メリカ資本を二億二千三百萬弗もつてゐた。

(13) チェスター・ロイド・ジョーンズ『メキシコとその再建』(Mexico and its reconstruction) 九四四頁。

(14) ダン前掲書。

既にこの時期にカナダはアメリカ資本投下領域として充分大きな役割を演じてゐる。カナダに輸入されたアメリカ資本の總額は、フィスクの統計によると、七億五千萬弗に等しかつた、この額にイギリス資本約二十億弗（十八億六千萬弗）が對立してゐた。

アメリカの資本輸出中全く獨特の地位を占めてゐたのは北アメリカ及びカライブ海中央諸州である。こゝには合衆國の非常に重要な政治的經濟的利益が集中されてゐた。しかもこれらの諸國にあるアメリカ資本の總量が比較的多くないにも拘らずさうなのである。吾々が見た通り、フィスクはこの額を五千萬弗プラス玖瑪に投資された一億弗と評價した(15)。

(15) フィスクの數字はこの地方に投下されたアメリカ資本額をやゝ過少に評價してゐるかも知れない。それはジョーンズに引用されてゐるイギリス領事の統計と甚だ食ひ違つてゐる。イギリス領事の統計はキューバのみでもアメリカの投資は約二億二千二百萬弗乃至四億弗に等しかつたと計算してゐる。ジョーンズ『アメリカのカライブ利益』二七頁參照。

中央アメリカ諸國の特殊な地理的地位はずつと昔から同國をアメリカ合衆國の帝國主義的方向の對象たらしめた(16)。どこでも、地球のどの部分でも、こゝほどアメリカ帝國主義の政策が侵略的であつたところはなかつた(17)。既に前世紀の末葉アメリカ人はこの地方を專ら自己の勢力範圍と考へ始めてゐる、この場合この地方に存在する共和國の領土全體に對するヨーロッパ人の計劃や、またこの地方で認可を得やうとするヨーロッパ資本の企圖やは國務省によつてモンロー主義の『神聖』に對する侵犯として宣告されてゐる。この共和國政府によつてヨーロッパ人と締結された認可契約がワシントンの横槍から取消されてしまつた幾多の場合があることは周知のところである。たとへばイギリス及びドイツ資本家へのデチーク鐵道認可は、この認可が合衆國々務省の決定的反對にぶつかつたといふたつたそれだけの理由で一九一二年にパナマ政府によつて取消されてしまつた(18)これと全く同じくアメリカの反對から一九一九年にイギリス人はコロムビアで正當な認可が得られなかつた(19)。

(16) ジョーンズ、前掲書。

(17) スコット・ニアリング『弗外交』參照。こゝにはこの地方に於けるアメリカ帝國主義の政策の種々樣々の形態について、非常に詳しい敍述が與へられてゐる。

(18) ウィリアムズ、前掲書五六頁。

(19) ウィリアムズ、同書七三及び七四頁。

アメリカの政策はこの地方にヨーロッパ資本が新たに侵入することを許さなかつたばかりか、ヨーロッパ資本によつてずつと昔から占められて來た經濟的地位から彼等を驅逐したといふことを述べなければならない。國務省の壓迫によつてこれらすべての共和國には、ヨーロッパ債權者の地位はアメリカ人が占める、といつたやうな國債の定式が作り出されてゐる。それは經濟的壓迫を彼等の國内行動に對するおゝぴらな武裝的干渉と結び付けてゐる。その上こゝでは認可の直接的利益と國務省によつて代表されたヨリ廣汎な諸利益との非常に密接な結合が行はれてゐる。屢々これらの國に對する資本輸出がアメリカ政府の直接のイニシアティーヴによつてなされてゐる。例へば一九一七年にアメリカ人はハイト國立銀行のヨーロッパ資本部分を買取つてゐる。これについては吾々が前に引用した著者（ウィリアムズ）が次のやうに書いてゐる。『世界戰爭に參加した後、合衆國政府はアメリカ人が全所有を獲取することに利益をもつやうになつた、そして一九一七年に銀行はニウヨーク・ナショナル・シティー銀行の所有となつた。銀行家の證言によると、政府はハイトに於けるフランスの金融統制をアメリカ人に代らせやうとして買取つたのである』(20)。また合衆國々務省の證言によると、銀行はニカラガヤの五十萬の借金を示してをり、これに對する交換條件として、ニカラガヤ政府は運河建設に對する三百萬弗の認可をアメリカ人に與へる義務を負つた。

（20）ウィリアムズ、同書。

キューバはこれらの國々に輸出されたアメリカ資本の最高額を吸收してゐた。こゝでは戰爭までアメリカ資本投下の主要領域は、現在と同じやうに、砂糖工業であつた。たとへば吾々はイギリス領事の計算(21)中に次のやうなことを讀むのである。『工場の大部分はアメリカ人の掌中にある、そして恐らく工場の三分の一より多くなり一部分がキューバ土着民の掌中にある。』當時既にアメリカの資本が幾分でも參加しないやうな工業部門は一つもなかつたのだ。

（21）ジョーンズ、前揭書二七頁。

フィスクはこの地方の他の共和國にアメリカ投資がどう分配されてゐるかについて吾々に何も報告してゐない。しかし吾々は他の資料によつてこれについて若干の觀念を得ることができる。かくてたとへば合衆國々務省は次のやうな一九一二年の報告をもたらしてゐる。

その上これらの諸國に投下されたアメリカ資本の總額の算定についてフィスクと殆んど少しの差異もないから容易にこれが利用される。

一九一二年に於ける中央アメリカの種々なる共和國間に於ける

アメリカ資本の分配（22）

	單位百萬弗
コスタリカ	七
ホンヂュラス	三
グワテマラ	二〇
サン・サルヴァドル	三
パナマ	五
サン・ドミンゴ	四
ニカラガヤ	三
	四九

（22）『經濟ディーンスト』十卷八號によつて引用。マックス博士『ラテン・アメリカに於ける弗投資』〔獨文〕。

これらの資本の絶對額は大きくないにも拘らず、その比重は甚だ重かつた。アメリカ人はこれらの諸國の最も種々な國民經濟部門にその資本を投下してゐるが、何よりも先づ指導的至上權を把握

することに努めてゐる。彼等は銀行や鐵道、その上栽培園農場をも自己に從屬させてゐる。後者はこれらの純農業國にとつては特に重要なものである。少くとも彼等の經濟生活で個々の植物性生産物（珈琲、ココア、バナナ）が如何なる役割を演じてゐるかを想起せよ。

これらの共和國でアメリカ企業家と土着政府と國民との間に結ばれてゐる組互關係は甚だ特徴的である。『アメリカ熱帶地方の工業の發達は普通國家權力または州權力が果してゐる義務を自ら背負ひ込むことゝ關聯してゐる。事實カライブ地方に於ける大輸出會社は國家中の國家をなしてゐる。屢々獲取した領土には何らの政府も存在しない。貨幣手段も勞働者も都市も衛生制度もない。會社は秩序を維持し、都市を建設しなければならない、それは新聞を發刊し、維持し、都會を基礎付け建設し、衛生制度を採用しなければならず、一般に普通のあらゆるデモクラシーには危險であらうやうな權力を占有しなければならない』（23）。

（23）ジョーンズ、前掲書二七頁。

戰前南アメリカに存在してゐた資本額を評價する場合に非常な不統一が存在してゐる。フィスクはこれを一億弗と評價してゐるし、合衆國商務省の數字はやゝ大きく、一九一二年には一億七千九百萬弗に等しいとしてゐる（24）。しかしこれらの數字はルフトが南アメリカに於けるアメリカの利

益に關する彼の非常に興味ある眞面目な著書中で述べた諸前提と決定的に矛盾してゐる。いかにもどうして彼がこの數字を得たのだか詳かでない。その上彼はこの五億弗が事實上のアメリカ投資額をやゝ過小に評價してゐるのだと考へる傾きがある。彼は言つてゐる『最近のイギリスの南アメリカ投資の僅かな部分はアメリカ系のものである』と(25)。この五億弗はイギリス資本の四十億、フランス＝ベルギー資本の二十五億、ドイツ資本の十億に〔比べると〕著しく劣つてゐる。

(24)『經濟ディーンスト』同頁。

(25) ルフト『戰前の南アメリカに於ける北アメリカの利益』二頁。エーレンブルグは反對の見解を持つてゐる。彼は考へてゐる、反對にヨーロッパ資本こそ非常に屢々アメリカ諸會社の背後にあるのだと。エーレンブルグ『戰後の國際資本形成』、『世界經濟雜誌』〔獨文〕一九二三年六月三八九頁。

合衆國商務省の統計によると、アメリカ資本は種々な共和國に次のやうに分配されてゐる(26)。

單位百萬弗

チリー	一五	ベネズエラ	三
アルゼンチン	四〇	コロムビア	二
ブラジル	五〇	ボリビア	一〇
ペルー	三五	ウルグワイ	五
エクアドル	一〇	ギアナ	五
パラグワイ	四	合計	一九九

(26)『經濟ディーンスト』同頁。

見る通り、こゝでは五千萬弗を持つブラジルが第一位を占めてゐる。ルフトの意見もこれと矛盾しない。彼も同じくブラジルをアメリカ資本投下の主要な領域と考へてゐる。だが一般にアメリカ人はすでに戰前南アメリカの殆んど全共和國に侵入することができたが、それにも拘らずアメリカ人は東部よりも北部、西部及び大陸の內部により關係が深かつた。しかもその投資の絕對額の點から見るとアメリカ人はイギリスばかりでなく、ヨーロッパ資本の殘餘の代表者にもとても敵はないのだが、それにも拘らず彼等は幾多の場合に當該國の基礎的工業を自らの掌中に收めることができた。アルゼンチンの肉類工業に於ける資本の分配がこの點を立證してゐる。この國に於けるアメリカ人の地位が比較的あまり有利でなかつたことは忘れてはならない。吾々の目的のためにダンがその著書中に揭げてゐる次の表を利用する(27)。

アルゼンチン肉類工業に於ける各國の割合

	一九〇九年	一九一一年	一九一二年
イギリス會社	三七・〇	三〇・二	二四・四
アルゼンチン會社	二七・〇	三五・一	一七・六
アメリカ會社	三五・三	四四・七	五八・〇

(27) ダン、前掲書六二頁。

アメリカの南アメリカ侵略上甚だ大きい役割を演じてゐるのは後者の鑛山資源である。アメリカ人はその資本を投下し、石油工業や銅工業の會社を設立してゐる。彼等はコロムビアやエクアドルの金銀鑛山を自己の掌中に收め、ボリビアに錫採掘會社を設立してゐる。その上數次の場合に彼等はかなり暴力的にイギリス人をその地位から驅逐してゐる。例へば以前はペルー鑛產物の著しい部分がロンドンに輸出されてゐたのに、戰爭直前には七二・二%がアメリカに輸送され、イギリスに行くのは僅かに二%を少し超えるだけであつた。アメリカ資本が南アメリカの巨富を占取する上に積極的に參加してゐるのはスタンダード石油會社とユー・エス・スティール會社等である。

アメリカ人がこの大陸に對して固執してゐた戰術は甚だ面白い。成程最初それは鑛山業に對して適用された、だがそれと共に一般にアメリカ資本の擴張のためといふ特質をもつてゐた。アメリカ資本が『金屬的財寶を獲取する場合には何よりも先づ交通路を獲取するやうに取計らう。既にこの場合常に同國の地質學の一定智識が要求されてゐる。だから金屬的富源の採掘問題が經濟的可能性の領域に移されてゐる限り、すべての國は、計劃通りアメリカの技師と設計者とを要求するのである。……今日價値あるものも直ちに値打ちがなくなり、他のものはその時代が來た時取り上げられるものだ。この制度の實施が本質的には鑛業生產の一層の全發展に對するアメリの統制を意味してゐることを證明するためにはこれ以上何らの證據も必要でない』(28)。この大陸に於けるアメリカ投資の特殊性は彼等の企業がヨーロッパの企業とは反對に當該國の國民經濟と同化しないといふ點にある。アメリカのトラストによつて組織されてゐるすべてこれらの部門はそれ自身合衆國の經濟の直接的延長である。非常に屢々アメリカ企業はこゝでたゞ原料の最も初步的な精製に從事してゐる。より高い生產段階は合衆國で繼續されるのである。

(28) ルフト、前掲書二四頁。

アメリカの鐵道投資はかなり繁榮してゐる。七萬五千百十四粁に等しい南アメリカ鐵道網の全延長のうち、マイスネルの統計によると約二萬粁はアメリカ人を主班とするファークハー・トラスト(Farquhar trust)の統制下にあつた。同トラストに所屬してゐたのはブラジルの鐵道の約半分(彼の